

直轄診断 古川橋

報告書

令和元年 11 月



目 次

1. 概要.....	1-1
1.1 橋梁の概要と直轄診断の経緯.....	1-1
1.2 「道路メンテナンス技術集団」隊員及び主な活動報告.....	1-3
1.2.1 道路メンテナンス技術集団の構成.....	1-3
1.2.2 主な活動内容.....	1-3
2. 道路管理者による定期点検結果.....	2-1
3. 古川橋の特徴.....	3-1
3.1 現況.....	3-1
3.2 安全性の観点.....	3-3
3.3 耐久性の観点(予防保全).....	3-4
4. 技術的助言.....	4-1
4.1 総論.....	4-1
4.2 上部構造の状況.....	4-4
4.3 下部構造の状況.....	4-9
5. 調査結果.....	5-1
5.1 調査結果の概要.....	5-1
5.1.1 実施日.....	5-1
5.1.2 調査状況.....	5-1
5.2 上部構造.....	5-2
5.2.1 主桁の状況.....	5-2
5.2.2 横桁の状況.....	5-42
5.2.3 床版の状況.....	5-44
5.2.4 支承の状況.....	5-55
5.3 下部構造.....	5-58
5.3.1 橋台の状況.....	5-58
5.3.2 橋脚の状況.....	5-64
5.4 橋梁周辺.....	5-72
5.4.1 洗掘の調査(測量).....	5-72
5.4.2 護岸の状況(近接目視).....	5-75
6. 参考資料.....	6-1
6.1 測量成果簿.....	6-1
6.2 点検調書.....	6-33

1. 概要

1.1 橋梁の概要と直轄診断の経緯

古川橋は、静岡県榛原郡吉田町住吉に昭和 44 年に建設され、現在までに 49 年経過している橋梁で、町道吉川川尻線上の橋長 54.6m の鋼製の橋梁である。町道吉川川尻線は、湯日川を跨ぐ東西の住宅地域を結び、吉田港や近隣の工場からの運搬車両などが利用する、地域の生活を支える重要な路線である。

本橋は、単純非合成 H 型鋼橋（3 径間）の橋梁であり、海岸から約 100m に位置している。平成 28 年度に吉田町において点検が実施され、塩害による主桁の腐食や支承の重篤な損傷などが確認されたが、吉田町ではその対応が課題となっていた。

このため、平成 31 年 3 月に吉田町より、静岡県道路メンテナンス会議会長に対し直轄診断の要請がされたものである。

国土交通省は、本橋が維持管理に高度な技術が必要であること、地域にとって重要な路線であること等を勘案の上、直轄診断により、今後検討される修繕・措置等について、所要の調査・作業を行い、技術的な助言が必要と判断したものである。

中部地方整備局等による「道路メンテナンス技術集団」は、令和元年 7 月 9 日より現地調査を開始し調査を進めてきたが、その調査結果がまとまったので、技術的助言として以下の通り報告する。



図 1.1 古川橋の位置図と現況写真

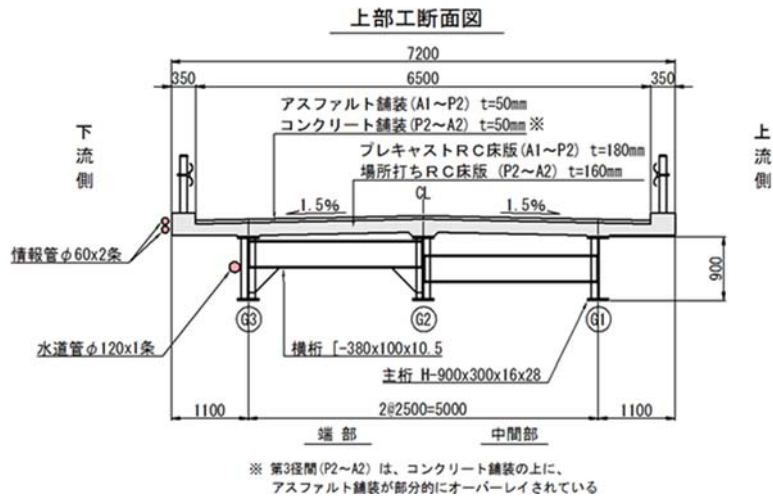
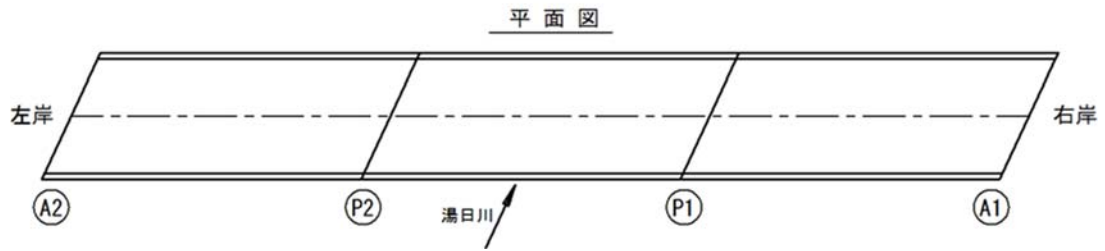
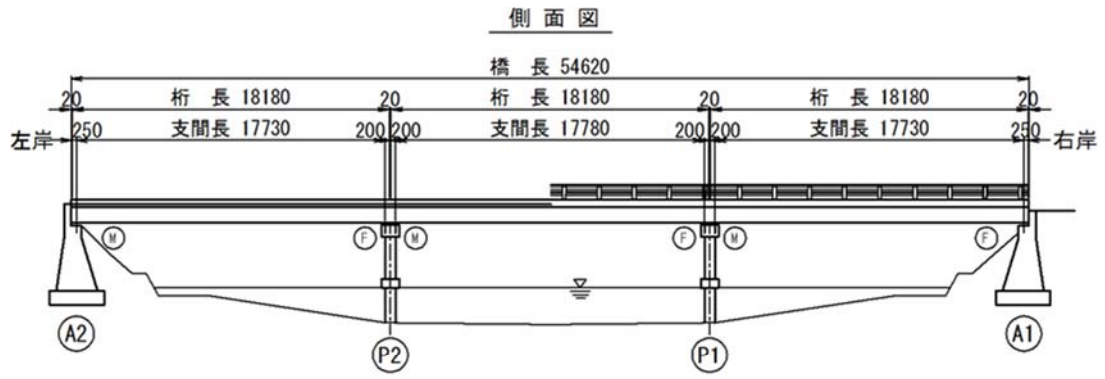


図 1.2 古川橋 一般図

1.2 「道路メンテナンス技術集団」 隊員及び主な活動報告

1.2.1 道路メンテナンス技術集団の構成

道路メンテナンス技術集団の構成を表 1.1 に示す。

表 1.1 道路メンテナンス技術集団の構成

	氏 名	所属・役職
リーダー	加 藤 豊	中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター センター長
	石 垣 政 彦	中部地方整備局 道路部 道路保全企画官
	竹 内 秋 広	中部地方整備局 道路部 道路構造保全官
	眞 弓 英 大	中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター 保全対策官
	太 田 聡	中部地方整備局 静岡国道事務所 総括保全対策官
	木 村 嘉 富	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 部長
	白 戸 真 大	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室 室長
	上 仙 靖	国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ 上席研究員

1.2.2 主な活動内容

道路メンテナンス技術集団の主な活動日と活動内容を表 1.2 に示す。

表 1.2 主な活動日と活動内容

活動日	活動内容
令和元年 7 月 9 日（火）～ 令和元年 10 月 3 日（木）	古川橋直轄診断着手 現地調査

2. 道路管理者による定期点検結果

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 45' 22"
古川橋 (フリガナ)フルカワハシ	町道古川川尻線	静岡県榛原郡吉田町住吉		経度	138° 16' 03"
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
静岡県榛原郡吉田町役場	2017.1.17	湯日川	有	一般道	その他
占用物件(名称)					

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)			点検者	仲東測量設計(株)	点検責任者	湯川 博忠
点検時に記録			措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真No.01 主桁G2		
	横桁	II	腐食	写真No.01 横桁0102		
	床版	III	ひびわれ・鉄筋露出	写真No.01 床版		
下部構造	III	遊離石灰・鉄筋露出	写真No.01 P2橋脚			
支承部	III	変形・欠損・腐食	写真No.01 P1橋脚支承0302			
その他	II	腐食	写真No.01 防護柵0201			

道路橋等の健全性の診断(判定区分I~IV)			措置後に記録
(判定区分)	(所見等)	橋梁鋼材全体に塩害による腐食等や支承部の損傷が著しい。 次回点検までに補修等の措置が必要。	(再判定区分) (再判定実施年月日)
III			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)





架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
昭和44年	54m	6.5m		
			下流より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がII、III又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

様式(その2)

<p>写真No.01 主桁G2</p> <p>上部構造(主桁)【判定区分: II】</p> 	<p>写真No.01 横桁0102</p> <p>上部構造(横桁)【判定区分: II】</p> 
<p>写真No.01 床版</p> <p>支承部【判定区分: III】</p> 	<p>写真No.01 P1橋脚支承0302</p> <p>支承部【判定区分: III】</p> 

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造【判定区分：Ⅲ】	その他【判定区分：Ⅱ】
<p>写真No.01 P2橋脚</p>  <p>【判定区分：】</p>	<p>写真No.01 防護柵</p>  <p>【判定区分：】</p>
<p> </p>	<p> </p>

3. 古川橋の特徴

3.1 現況

本橋は湯日川を渡河しており、昭和 39 年鋼道路橋設計示方書に準拠し設計された、橋長 54.62m の鋼製の橋梁である。昭和 44 年に供用開始し、診断着手時で 49 年経過する。架橋位置は、海岸からおよそ 100m 内陸に位置する場所であり、橋梁から下流へ約 50m の位置に水門、橋梁から上流へ約 100m のところに親水公園がある。橋台と橋脚の支持層は、昭和 42 年竣工図によると、砂礫層又は砂礫・砂層である。

本線は 3 種 4 級で、幅員は 2 車線（対面通行）、を有する全幅 7.2m で構成される。平面線形は斜橋（62°）であり、アプローチ部となる前後の町道は、西側（A1 側）は直線、東側（A2 側）は S 字を描いているが見通しは良い。橋梁の縦断勾配は放物線（14%）であり、横断勾配は拌み勾配（1.5%）である。

上部構造形式は、単純非合成 H 型鋼橋（支間長 17.73m+17.78m+17.73m）である。

下部構造と基礎形式は、橋台（A1、A2）は重力式の直接基礎、橋脚（P1、P2）はパイルベント式（既製 RC 杭・φ600mm）である。パイルベント杭はそれぞれの橋脚で 4 本設置され 2 カ所を梁で繋がれている。上梁は杭の上端部に厚さ 700mm の梁で、下梁は上端の梁下から 2.4m 下で厚さ 500mm の梁で繋がれている。

これまでに 2 度の補修が記録されている。平成 8 年に A1 橋台～P1 橋脚の床版打ち換え工事、平成元年度に P1 橋脚～P2 橋脚の床版打ち換え工事が実施されている。

補修記録にないが、過去の写真から、支承部に沓座モルタルの設置、添加物の撤去（塩ビ管）・設置（情報ケーブル）が行われていることが確認できた。

表 3.1 古川橋 橋梁諸元

項目	内容
橋梁名	古川橋（ふるかわはし）
架設年次	昭和 44 年 3 月
適用示方書	昭和 39 年 鋼道路橋設計示方書
道路区分	第 3 種第 4 級
活荷重	TL-20
交通量	500 台/日
橋長	L=54.62m
構造形式	単純非合成 H 型鋼橋
幅員構成	350mm（地覆）+6500mm（車道）+350mm（地覆）
交差条件	2 級河川 湯日川
下部構造形式	A1：重力式（直接基礎）
	P1：パイルベント式（既製 RC 杭 φ600mm）
	P2：パイルベント式（既製 RC 杭 φ600mm）
	A2：重力式（直接基礎）



写真 3.1 古川橋写真（左：昭和 63 年撮影 右：平成 31 年撮影）



写真 3.2 古川橋支承写真（左：昭和 63 年撮影 A2-G1 右：平成 31 年撮影 A2-G3）

3.2 安全性の観点

- (1) 斜橋であり湯日川に対して斜角は 62 度で渡河している。斜橋は直線橋と比べて力学的挙動が複雑であり、地震時に回転に伴う落橋の恐れがある。



写真 3.3 古川橋周辺航空写真（平成 21 年撮影）

- (2) 床版は、架設当時は全て RC 床版であったが、第 1 径間は平成 8 年に、第 2 径間は平成元年にプレキャスト床版に架け替えられているため、同じ橋梁で剛性の違う床版が混在している状態である。
- (3) 古川橋に採用されているパイルベント橋脚は剛性が低く、一般的に地震時や地盤の流動により変形を起こしやすいとされており、地震等が発生した際には下部構造の沈下や傾倒により落橋にいたる可能性がある。



写真 3.4 パイルベント橋脚・基礎の落橋事例
(昭和大橋・1964 年 新潟地震)
出典：土木研究所(CAESAR)技術資料



写真 3.5 橋脚の沈下事例
(法雲寺橋・2019 年台風 19 号)
出典：関東地方整備局 記者発表資料

- (4) 古川橋は、昭和 39 年鋼道路橋設計示方書で設計された橋梁で、3 連の単純桁で構成されている。設計年次も古く、地震時の落橋を防ぐための桁かかり長が不足している。また、耐震補強も施されていないため、地震時に主桁が支承から逸脱した場合は、落橋に至りやすい構造である。
- (5) 左岸側上流に湯日川親水公園があり、そこからの支川が湯日川に合流している。過去と現在の航空写真を比較すると、昭和 56 年頃は湯日川の滯筋が現在よりも右岸側よりであり、湯日川と支川の合流位置は現在よりも上流側にあることがわかる。平成 21 年以降は、湯日川の川幅も広がり滯筋が昭和 56 年頃よりも左岸側よりになっていること、湯日川親水公園が整備され湯日川と支川との合流位置が、古川橋から 10m 程度上流の位置に変わっている。このことから、古川橋架設当時と現在では、河川の状態が変わっており、現在は橋梁が支川との合流地点に近いことから、出水時等の際には洗掘を受けやすくなっていると考えられる。

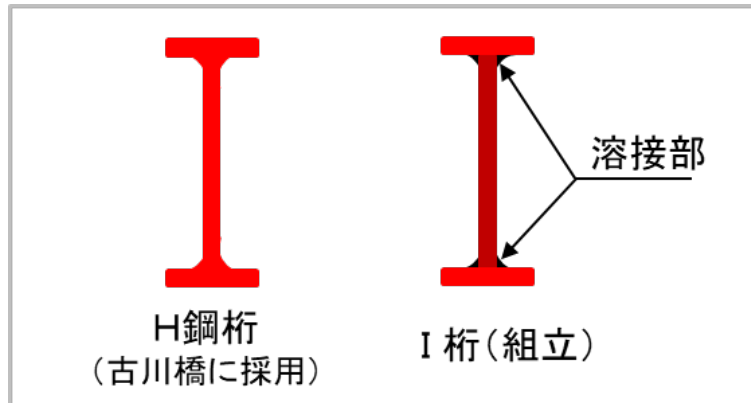


写真 3.6 古川橋周辺航空写真（左：昭和 58 年撮影 右：平成 21 年撮影）

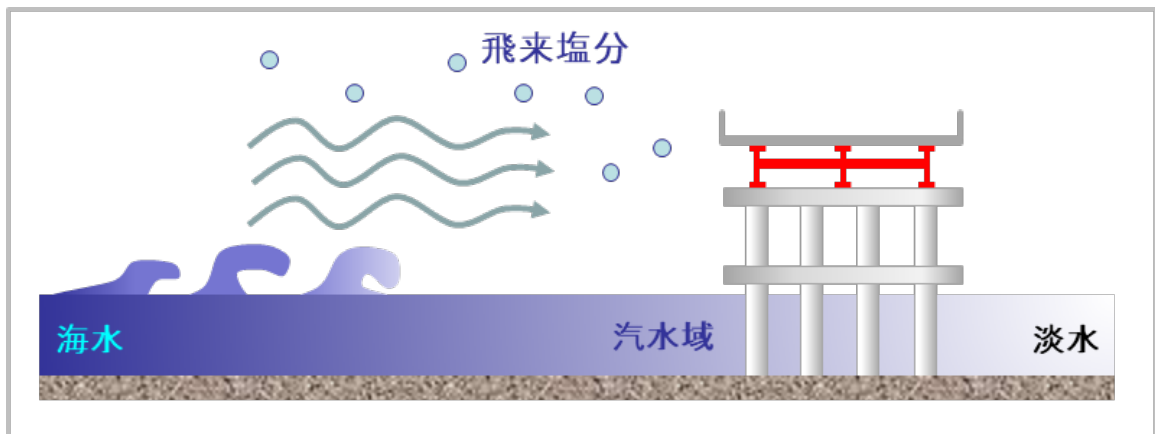
（国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス）

3.3 耐久性（予防保全）の観点

- (1) 主桁には H 形鋼が使用されている。H 形鋼とは、製造工程においてあらかじめ H 型に形成された鋼材であるため溶接部がなく、亀裂等の損傷発生リスクは低い。



- (2) 海岸から約 100m に位置するため、海からの飛来塩分による影響を受けやすい。
- (3) 架橋位置が湯日川の河口に位置するため、海水と川水（淡水）が入り交じる位置（汽水域）に架設されている。このため、海水や潮の干満の影響を受けやすい。



4. 技術的助言

4.1 総論

古川橋に関する既存資料（設計図書、定期点検結果、補修履歴）や構造特性、周辺環境等に着目し、近接目視、並びに、測量や挙動の計測を行った。その結果に基づき、古川橋の健全性及び今後の維持管理方法に関して、技術的観点から以下のとおり助言する。

(1) 古川橋の現状

古川橋の特徴として、H型鋼を主桁・横桁とした上部構造を有すること、支承は過去に補修している痕跡が認められること、パイルベント橋脚という剛性が低く地震や出水時に変状を受けやすい下部構造を有することが挙げられる。

上部構造の主桁、横桁について、下部構造上で隣接する径間の主桁同士が接触しているが、近接目視及び触診の範囲では、桁断面に変形等は認められなかった。一方、第3径間のA2橋台側では、上流側のG1桁において床版と主桁の間に剥離が見られたり、橋台と主桁の接触が見られた。

防食機能の劣化の進行が全体に認められるが、鋼材の断面減少を伴う腐食は主桁、横桁の下フランジや桁端部など部分的で、かつ減肉量もわずかであった。また、近接目視の範囲からは、亀裂が疑われる変状は見られなかった。

防食機能の劣化については、架設当時の塗装系は不明のため設計値との比較はできないが、現行基準における一般外面塗装仕様相当の塗膜厚は概ね確保されている状態であった。

床版については、第1径間と第2径間は、それぞれ平成8年度と平成元年度にプレキャスト床版に交換されている。測量の結果、橋梁の形状が当初とは変わっているものの、今のところ、床版本体及び床版と主桁の接合部にはひび割れ、変形、亀裂などは見られなかった。ただし、第2径間で床版と主桁の締結金具については腐食が見られた。また、第3径間の場所打ちコンクリート床版は架橋直後から変更されておらず、舗装の変状とともに、床版下面には一部で格子状のひび割れや鉄筋の露出が見られたが、遊離石灰や水の析出の痕跡は見られなかった。ひびわれの間隔が床版鉄筋配置と概ね一致していたため、かぶり及び鉄筋の状態を調査したが、鉄筋露出していない箇所でのかぶりは設計値以上確保されており、鉄筋に腐食は見られなかった。一部の舗装にひび割れが認められるが、床版下面に入ったひび割れ位置との相関はないため貫通はしていないと考えられる。また、橋梁点検車（車両重量23t、後輪軸重17t）を載荷・除荷するのに併せてひび割れの動きをクラックスケールにて計測したが、ひび割れの動きは検知できなかった。交通状況や環境条件も含めて考えると、ひび割れは床版の強度不足または疲労が主な要因とは考えにくく、経年のコンクリートの劣化が主な要因と考えられる。

支承については、1基に破断を伴う変状があり機能不全となっている。桁の遊間異常など橋の形状のバランスが崩れているのに併せて、支承アンカーボルトや台座コンクリートに変状が生じ、支承が傾斜している状態である。

下部構造では、P2 パイルベント橋脚周辺の河床に一部洗掘の兆候が確認された。また、A2 橋台前面では護岸の破損が見られる。架橋直後とは流入している河川の付け替えが行われており合流部が移動したため、P2 橋脚、A2 橋脚は出水や洗掘の影響を受けやすくなっている兆候が認められる。

パイルベント橋脚には軸方向のひび割れが見られたが、昭和 63 年に撮影された写真と同位置に発生しているひび割れを比較すると、進行は小さいと考えられた。

上部構造の形状、下部構造の高さや傾斜について今回測量を行った結果と建設当時の架設図とを比較すると、その差は小さいと確認出来た。

(2) 構造安全性について

上部構造、支承、下部構造について、変状は見られるものの、鋼部材の断面の減少や変形などはなく、強度が建設当初に比べて大幅に減少しているとは考えにくい。

一方で、上部構造の形状の異常、それに付随する隣接径間の桁の接触や支承の変状の発生、第 3 径間での床版の桁定着部の不全が生じていることから、応力状態は設計の想定とは異なっていると考えられ、今後上部構造の状態が悪化する可能性が考えられる。一方で、橋梁点検車を橋面上で移動させるのに併せて、桁の挙動を計測した結果からは、単純桁橋であるにも関わらず、連続桁のような動きをすることが裏付けられたが、その応答は許容できる範囲内であった。したがって、これ以上の支承の圧壊や応力状態の悪化を招かないように措置するのがよいと考えられる。

このとき、本橋はパイルベント橋脚であり、剛性が低いことから地震時には変位が出やすく、かつ、その形状から出水時には洗掘が生じやすいのに対して、現状は桁かかり長が小さいこと、並びにパイルベントは横方向鉄筋が少なく、偏心荷重を受けた際のせん断強度が現在のコンクリート杭に比べても小さく、脆性的であることも考慮して、措置方法を検討するのがよい。実際に、P2 橋脚では洗掘の兆候が認められたこと、A2 橋台でも護岸の破損が見られることから、それぞれの下部構造では洗掘の危険性が認められていることにも留意すべきである。例えば、いずれの下部構造の変位に対しても上部構造ができるだけ脱落しにくく、かつ、下部構造の形状の変化に対して上部構造が鈍感であるようにするという観点でも措置方法を検討するのがよいと考えられる。

また上部構造の測量結果から考えると、支承分担荷重は設計時点とは異なり、かつ設計に沿った構造への再現も限界がある。単純に支承の交換や桁の形状や接触を是正すること

が、最も合理的又は経済的でない可能性も、措置方法の検討にあたっては考慮すべきと考えられる。

なお、上部構造の形状の変化については、架設当時または補修時の橋の施工手順や施工ステップ毎の形状管理に関する情報がないが、今回の測量結果と、架設当時の図面とを比較しても下部構造の移動が原因とは考えがたいことが分かっている。しかし、桁の接触や、第3径間に見られる主桁と床版の剥離などから、架設当時とは応力状態が異なると考えられる。

(3) 耐久性について

主桁、横桁、また、第3径間の床版張り出し部の鉄筋については、防食機能が劣化していたり、かぶりの不足が見られるが、約50年という供用年数との関係からすると劣化は軽微と考えられる。古川橋は全般的に風通しが良い等、腐食に関しては良好な環境であることが挙げられるため、状態の急激な変化は想定されないものの、今後の維持管理計画に応じて、長寿命化のためには防食機能の回復を考えるとよい。また、防食機能の回復を図る場合であっても、全面的な塗り替えでなく、部分塗り替えなども検討すると良い。

なお、今回、桁への塩分付着量を計測しており、海からの飛来塩分の影響を受けやすい桁の下面や橋梁中央部では、桁への付着塩分量が塗膜に対する許容付着塩分量50mg/m²を大きく超える部分があること、これに対応するように、防食機能の劣化にばらつきがあることも確認出来たので、部位毎の防食計画を立てることも有効と考えられる。

さらに今回、上部構造で使用されているH型鋼桁には亀裂が確認されなかった。圧延加工で製造されるため溶接部がないことから亀裂の発生リスクは小さいと考えられる。また、第3径間のRC床版やパイルベント橋脚も、供用年に比べて塩分浸透が軽微であることが分かった。

以上の調査結果、並びにこれらの部材は形状も単純で死角もないことを考えると、点検支援機器等を活用し、定期点検要領を満足する品質を確保しつつ状態把握の作業を省力化出来る可能性が高い

(4) その他

地震や洗掘についての管理レベルは、今後の措置の実施方法によっても変わると考えられる。本橋の構造特性からは単純橋かつパイルベント橋脚であること、かつ、現状では支承も損傷し、機能を喪失していること、左岸側については現時点でも護岸の変状や洗掘にも発展しそうな部分的な河床の低下も見られることから、異常時点検又は監視の実施項目と方法、及び付随する措置方針について検討を行うのがよい。また、措置の方法によっては、異常時点検又は監視の実施項目と方法が省力化できると考えられ、構造安全性に対する措置を検討するときには、同時に考慮するとよい。

4.2 上部構造の状況

本橋は鋼単純非合成 H 型鋼・3 連である。上部構造では、主に以下の 4 つの損傷を確認した。

- ・ 鋼部材（主桁、横桁、支承など）の腐食
- ・ 主桁端部の遊間異常
- ・ RC 床版（第 3 径間）のひびわれ、剥離・鉄筋露出
- ・ 支承本体の破断、台座コンクリートの欠損

(1) 鋼部材の腐食

1) 近接目視

主桁、横桁、支承、排水管、および添架管に腐食が発生している。腐食は主桁下フランジやウェブの下方で著しい傾向である。

2) 詳細調査

静的載荷試験により計測した主桁のたわみは、主桁を健全な状態であると仮定した構造解析により算出したたわみの理論値よりも小さい。板厚の減少は下フランジ端部など局部的であり、板厚減少率は最大で 20%程度であった。塗膜厚は G2 桁下フランジの上面を除くと 306 μm ~ 627 μm (平均値) であり、現在では一般的に使用されている一般外面塗装仕様 (C-5 系) の塗膜厚程度 (265 μm) は確保できている。ただし、塗膜への塩分付着量は G3 桁ウェブ下流側の 1 か所を除き、許容付着塩分量 (50mg/m²) を超えており (最大 206mg/m²)、飛来塩分の影響を受けていると考えられる。

表 4.1 主桁下フランジ板厚計測結果

		計測した板厚 (支間中央)			残存率 (計測した板厚/設計板厚)			設計板厚
		A2-P2	P2-P1	P1-A1	A2-P2	P2-P1	P1-A1	
主桁	G3	29.5mm	29.0mm	29.0mm	1.05	1.04	1.04	28mm
	G2	27.5mm	25.0mm	28.0mm	0.98	0.89	1.00	
	G1	27.0mm	28.0mm	27.0mm	0.96	1.00	0.96	
	最小値	22.5mm	23.9mm	24.4mm	0.80	0.85	0.87	

注 H 型鋼 (JIS 材) のフランジ厚の許容誤差は $\pm 1.7\text{mm}$ ($25 \leq t < 40$) である。
 $t=28$ の場合は +6%、-5% が許容誤差である。



第3径間 主桁下フランジ



第2径間 横桁



A1橋台 G3桁 (海側の桁)



排水管

写真 4.1 代表的損傷写真 上部構造全体：腐食、防食機能の劣化

(2) 主桁の遊間異常

1) 近接目視

主桁端部において、桁遊間が竣工図に対して狭い箇所が多く、遊間量が無い箇所も確認された。また、桁の上端と下端で遊間量が異なる箇所もあった。

2) 詳細調査

桁長を計測した結果、竣工図の桁長に対して長い箇所が確認された。静的載荷試験により、載荷時の桁遊間の変化を確認したところ、計測箇所や載荷状態により -1mm ～ $+1\text{mm}$ の変化見られた。橋梁点検車を橋面上で移動させるのみ併せて、桁の挙動を計測した結果からは、単純桁であるにも関わらず連続桁のような動きが確認された。

表 4.2 桁遊間計測結果

ハッチングは計測した桁遊間<竣工図の桁遊間-設計伸縮量の箇所

			下部工				桁遊間 ^{※1} - 設計伸縮量 ^{※2}
			A2	P2	P1	A1	
主桁	G3	上端	0mm	5mm	16mm	0mm	9mm
		下端	0mm	0mm	0mm	3mm	
	G2	上端	25mm	20mm	7mm	14mm	
		下端	12mm	0mm	13mm	14mm	
	G1	上端	42mm	1mm	20mm	26mm	
		下端	27mm	0mm	2mm	22mm	

※1：竣工図の桁遊間=20mm

※2：設計伸縮量 $\Delta l_t = \Delta T \cdot \alpha \cdot l = 50 \times 12 \times 10^{-6} \times 18180 \approx 10.9\text{mm}$



A2 橋台：G1



P2 橋脚：G1



P1 橋脚：G1



A1 橋台：G1

写真 4.1 代表的損傷写真 主桁：遊間の異常

表 4.3 桁長計測結果

ハッチングは計測した桁長-竣工図の桁長の絶対値>許容誤差の箇所

			計測した桁長			計測した桁長-竣工図の桁長			許容誤差 ^{※1}
			A2-P2	P2-P1	P1-A1	A2-P2	P2-P1	P1-A1	
主桁	G3	上端	18,187mm	18,183mm	18,178mm	+7mm	+3mm	-2mm	4mm
		下端	18,170mm	18,199mm	18,192mm	-10mm	+19mm	+12mm	
	G2	上端	18,177mm	18,187mm	18,181mm	-3mm	+7mm	+1mm	
		下端	18,190mm	18,184mm	18,178mm	+10mm	+4mm	-2mm	
	G1	上端	18,184mm	18,174mm	18,170mm	+4mm	-6mm	-10mm	
		下端	18,189mm	18,182mm	18,188mm	+9mm	+2mm	+8mm	

※1：「道路橋示方書・同解説 II 鋼橋・鋼部材編（平成 29 年 11 月） 20.7.2 部材精度」参照

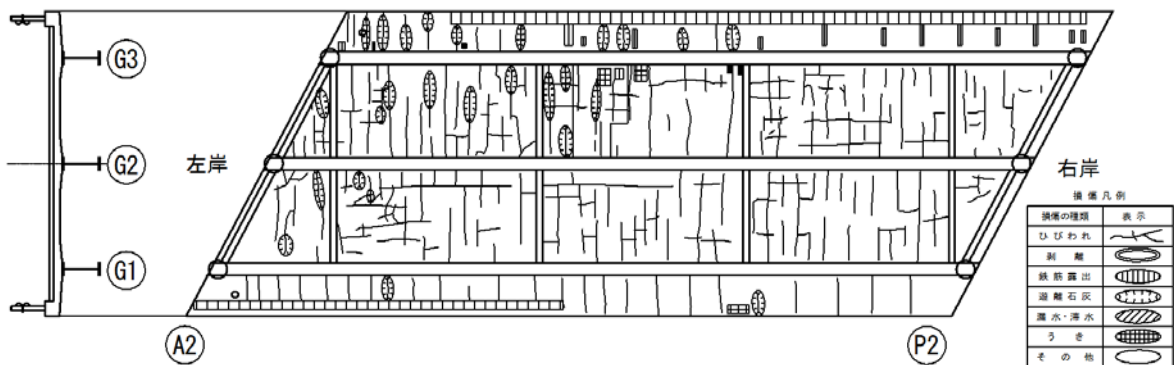
(3) 床版のひびわれ、剥離・鉄筋露出

1) 近接目視

プレキャスト床版に取替え済みの第1・2径間では、幅0.1mm以下のひびわれが確認された。また、床版と主桁の間のシール材の剥がれと床版固定の板バネの腐食も確認された。架設当時のままのRC床版が残る第3径間では、一部でひびわれが2方向に進展し、剥離・鉄筋露出、うきが確認された。また、G1桁のA2橋台付近で床版と桁の間に隙間が見られた。

2) 詳細調査

詳細調査は最も損傷が進行している第3径間を対象とした。鉄筋探査結果では、床版主鉄筋のかぶりが32mmであり設計上の最小かぶりを満足している。塩化物イオン含有量試験では、鉄筋位置の塩化物イオン量は0.2kg/m³以下と鋼材腐食限界濃度(1.2kg/m³)を下回っている。シュミットハンマー試験による圧縮強度試験結果も53.6N/mm²であり、コンクリートの品質も問題ないとする。また、ひびわれ幅が広い箇所を対象にひびわれ深さを計測した結果、貫通するひびわれ深さは確認されなかった。また、点検車を載荷させる前後でひび割れの状態を確認したが、ひび割れに動きはなかった。



損傷図 第3径間



ひびわれ発生状況



ひびわれ部拡大写真 d

図 4.1 代表的損傷図・損傷写真 床版：床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき

表 4.4 詳細調査結果概要：床版

調査項目	調査箇所	結果
かぶり厚さ	第 3 径間 G2-G3 間	32mm (主鉄筋)
塩化物イオン含有量	第 3 径間 G2-G3 間	0.11kg/m ³ (鉄筋位置)
圧縮強度 (シュミットハンマー)	第 3 径間 G2-G3 間	53.6N/mm ²
ひびわれ深さ	第 3 径間 G1-G2 間	43.3mm～95.3mm

(4) 支承本体の破断、台座コンクリートの欠損

1) 近接目視

P1 橋脚 G3 桁の支承 1 基に下沓の破断が確認され、主桁下フランジに約 20mm、路面に約 10mm の段差が生じている。それ以外の支承でも台座コンクリートの欠損が発生している。

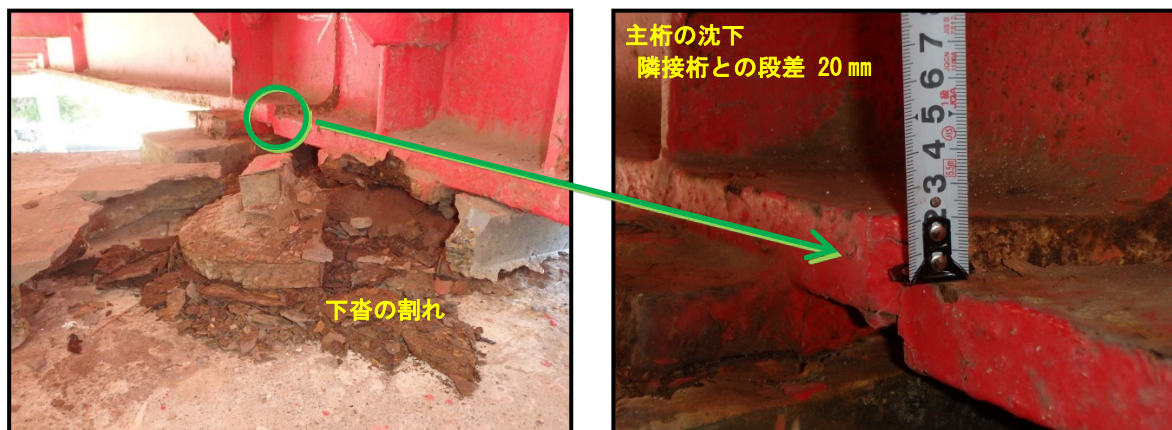


写真 4.3 代表的損傷写真 支承本体：支承部の機能障害 (P1 橋脚 G3 桁)

4.3 下部構造の状況

本橋の下部構造では、主に以下の損傷を確認した。

- ・ 下部構造躯体のひびわれ、剥離・鉄筋露出

(1) 下部構造躯体のひびわれ、剥離・鉄筋露出

1) 近接目視

橋台・橋脚の躯体には、局所的なひびわれ、剥離・鉄筋露出、うきが発生し、橋脚横梁下面では最外縁の鉄筋が腐食している。また、パイルベント式橋脚の柱部には遊離石灰を伴う鉛直方向のひびわれが発生している。

2) 詳細調査

鉄筋探査試験により、A2 橋台胸壁の主鉄筋のかぶりが 27mm（設計値 50mm）、P2 橋脚横梁下面のかぶりが 40mm（設計値 50mm）であり、かぶりが不足が確認された。塩化物イオン含有量試験から、鉄筋位置の塩化物イオン含有量は鋼材腐食限界濃度（1.2kg/m³）を下回っており、塩害により鉄筋腐食が進行している可能性は低い。また、シュミットハンマーによる圧縮強度試験では、A2 橋台胸壁で 41.9N/mm²、P2 橋脚で 45.9N/mm² を記録しており、コンクリートの品質には問題ないと考えられる。測量結果と竣工図を比較すると、橋台・橋脚ともに建設当時との差は小さいことが確認された。



橋脚柱部



橋脚横梁



橋台胸壁



橋台胸壁

写真 4.2 代表的損傷写真 下部構造全体：ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき

表 4.5 詳細調査結果概要：下部構造

調査項目	調査箇所	結果
かぶり厚さ	A2 橋台胸壁	21mm (主鉄筋)
	P2 橋脚横梁	40mm (主鉄筋)
塩化物イオン含有量	A2 橋台胸壁	0.25kg/m ³ (鉄筋位置)
	P2 橋脚横梁	0.86kg/m ³ (鉄筋位置)
圧縮強度 (シュミットハンマー)	A2 橋台胸壁	41.9N/mm ²
	P2 橋脚横梁	45.9N/mm ²

4.4 橋梁周辺

本橋の周辺では、主に以下の損傷を確認した。

- ・ パイルベント式橋脚の洗掘
- ・ 橋台前面護岸の変形・欠損

(1)パイルベント式橋脚の洗掘

1)近接目視

水中の透明度が低く、目視による確認は出来なかった。

2)詳細調査

河床を測量した結果、現時点では著しい洗屈は発生していないが、P2 橋脚上流側では下流側よりも上流側の河床高が低く、洗掘の兆候が確認された。親水公園の整備に伴い支流の合流位置が古川橋の近くなった影響が考えられる。

(2) 橋台前面護岸の変形・欠損

1) 近接目視

A2 橋台前面の護岸（ふとんかご+コンクリート矢板）において、護岸の損傷（ふとんかごからの詰石流出）とコンクリート矢板の欠損が確認された。A2 橋台に傾き等は確認されないため、出水によるものと考えられる。

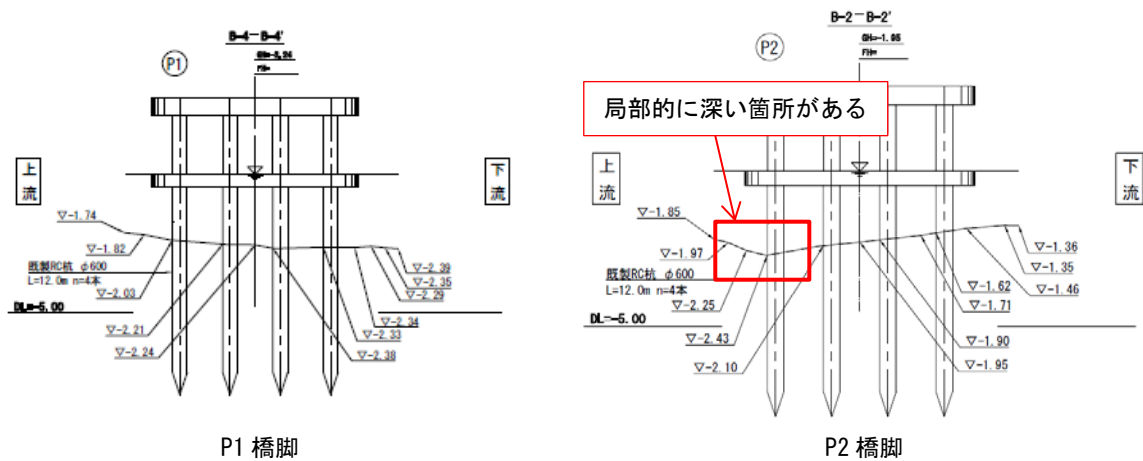


図 4.2 代表的損傷状況 基礎：洗掘



写真 4.3 代表的損傷状況 護岸：変形・欠損（A2 橋台）

5. 調査結果

5.1 現地調査の概要

現地調査では、近接目視調査により橋梁全体の状況を把握するとともに、上部構造については、各部材の腐食状況、主桁の接触状況、下部構造については、変状状況や支承の破損状況等について調査を実施した。また、橋梁点検車が載荷されたときの変状状況を静的載荷試験で確認した。

表 5.1 直轄診断で実施した主な調査内容

調査箇所	主な調査項目
橋梁全体	近接目視による腐食、亀裂、ひびわれ等
	静的載荷試験
	測量
主桁・横桁	塩分付着量測定
	板厚測定
	塗膜厚測定
橋脚・橋台	圧縮強度試験
	かぶり・鉄筋位置測定
	塩分付着量測定
床版	圧縮強度試験
	かぶり・鉄筋位置測定
	塩分付着量測定
	ひびわれ深さ測定
河川内	河床状況調査（測量）

5.1.1 実施日

着手時 : 令和元年 7 月 9 日（火）
本調査 : 令和元年 7 月 9 日（火）～令和元年 10 月 3 日（木）

5.1.2 調査状況



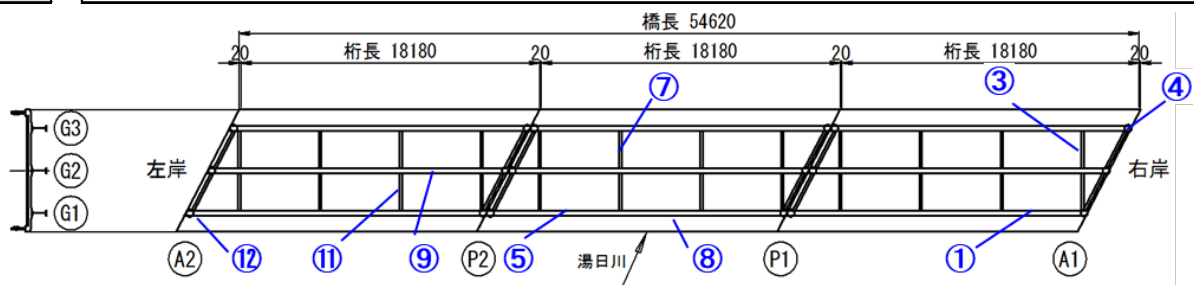
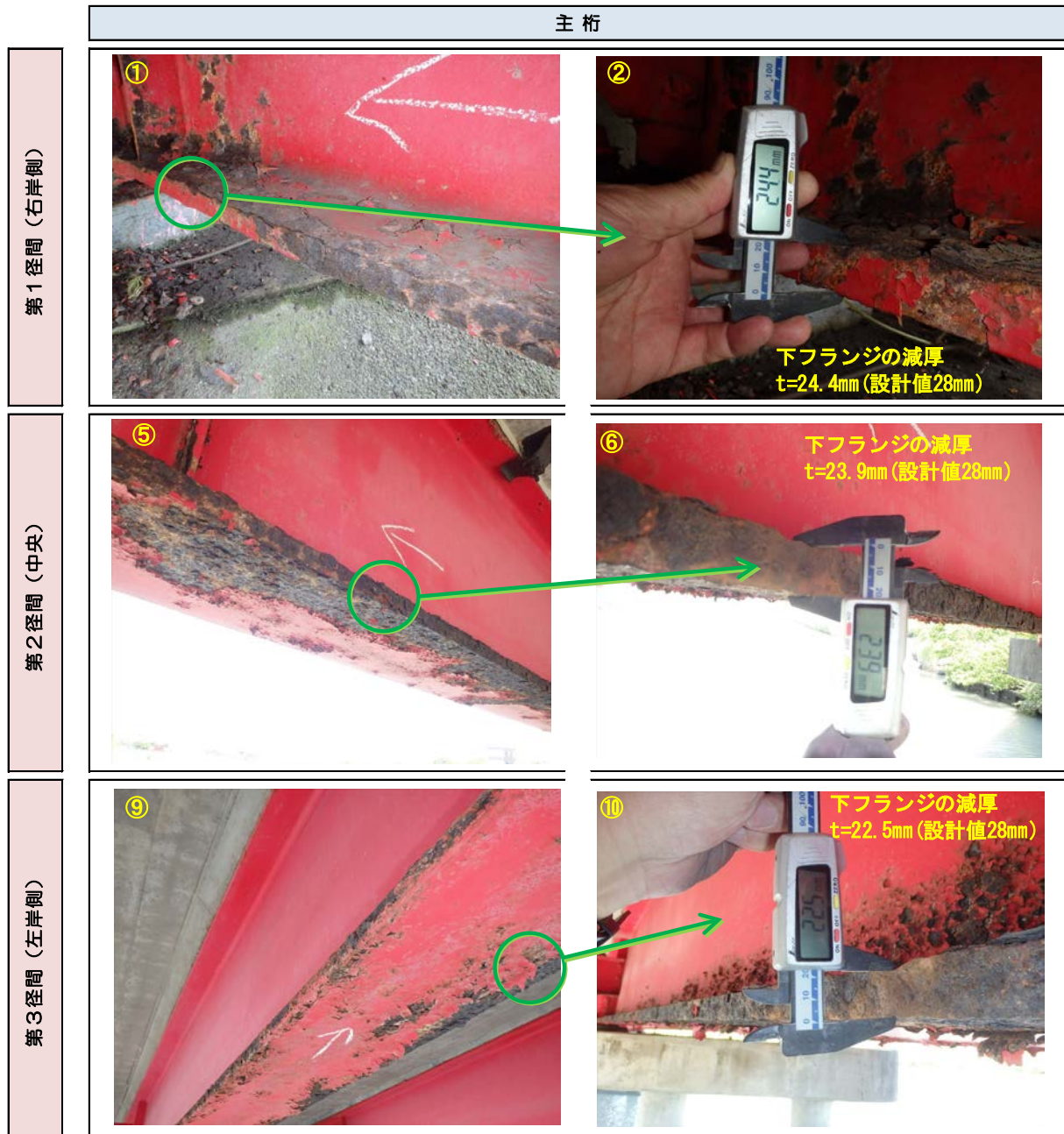
写真 5.1 調査実施状況写真

5.2 上部構造の状況









5.2.1 主桁の状況

(1) 近接目視

1) 腐食



2) 遊間の異常

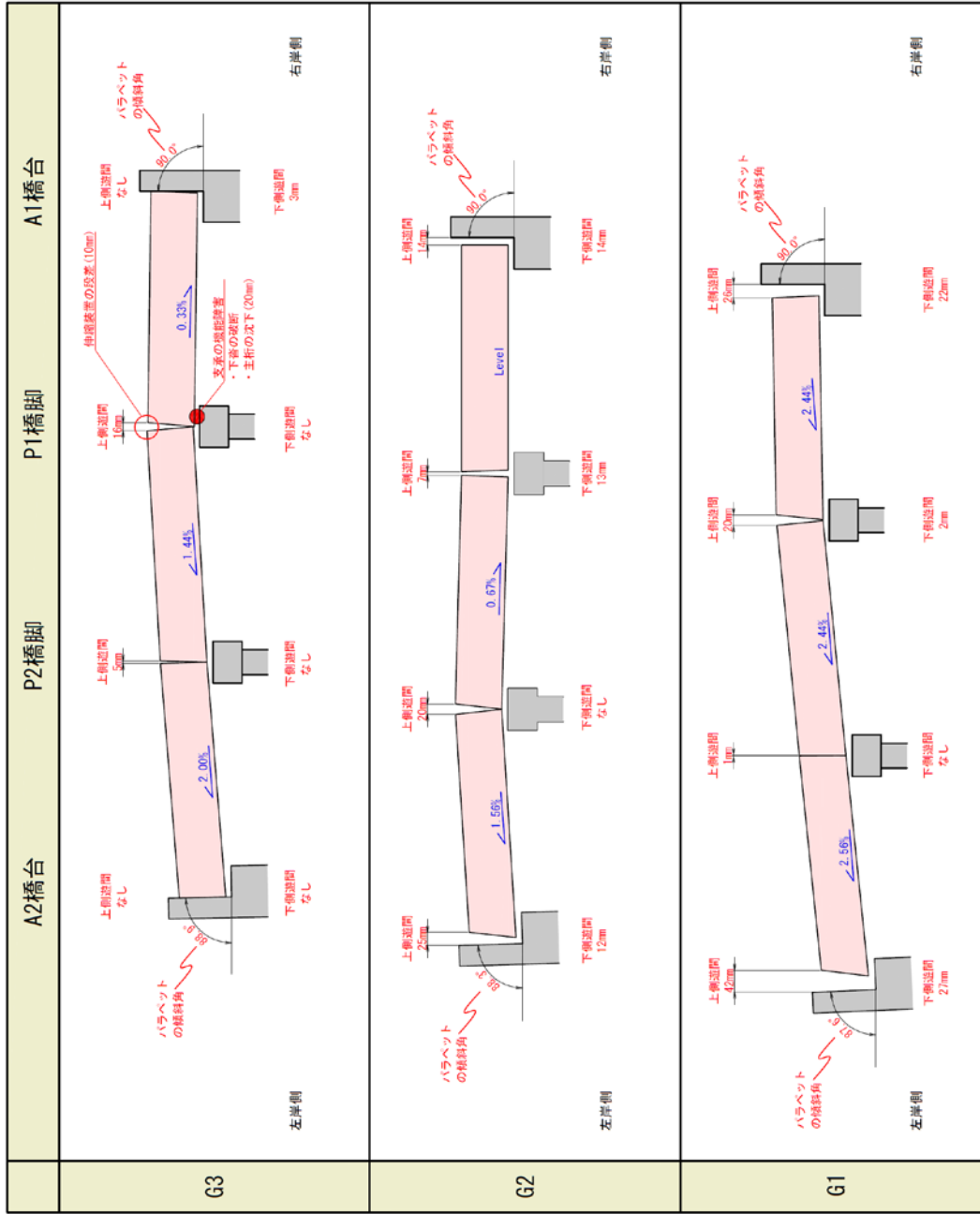
G3	A2橋台	P2橋脚	P1橋脚	A1橋台
G2	 <p>上側：遊間 25mm 下側：遊間 12mm</p>	 <p>上側：遊間 20mm 下側：遊間なし</p>	 <p>上側：遊間 7mm 下側：遊間 13mm</p>	 <p>上側：遊間 14mm 下側：遊間 14mm</p>
G1	 <p>上側：遊間 42mm 下側：遊間 27mm</p>	 <p>上側：遊間 1mm 下側：遊間なし</p> <p>接触</p>	 <p>上側：遊間 20mm 下側：遊間 2mm</p>	 <p>上側：遊間 26mm 下側：遊間 22mm</p>



遊間量は、いずれの箇所も20mmで計画されている

●：桁と栱、栱とハラヘッドの接触箇所

遊間量の計測結果図



作図の前提条件：① 傾斜計測結果より、A1橋台のハラベットの鉛直とした。
 ② 主桁の上下フランジは平行で、且つ、桁端面は上下フランジに直角と仮定した。

【第3径間(主桁・横桁)】



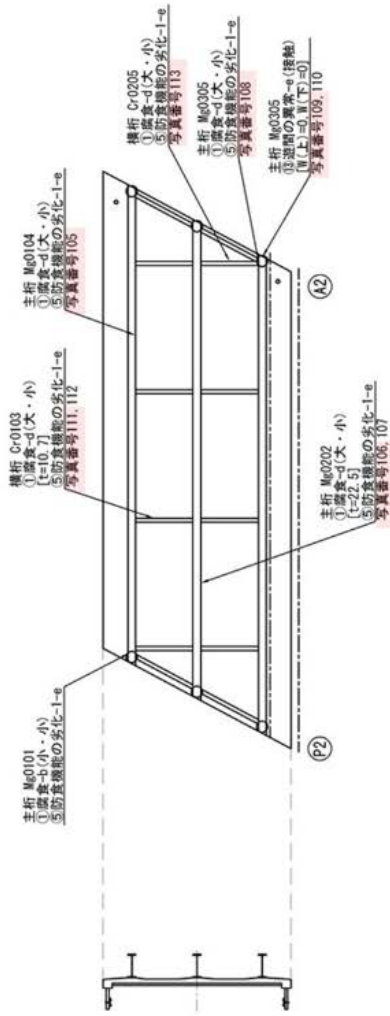
← 至 牧之原
(起点側)

桁下面
(Mg・Cr)

← 至 橋 津
(終点側)

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剝離	
鉄筋露出	
逆巻石灰	
潮水・滲水	
うき	
その他	

(単位: mm)



※特記なき損傷は以下のとおり
主桁 Mは全て:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
横桁 Crは全て:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e



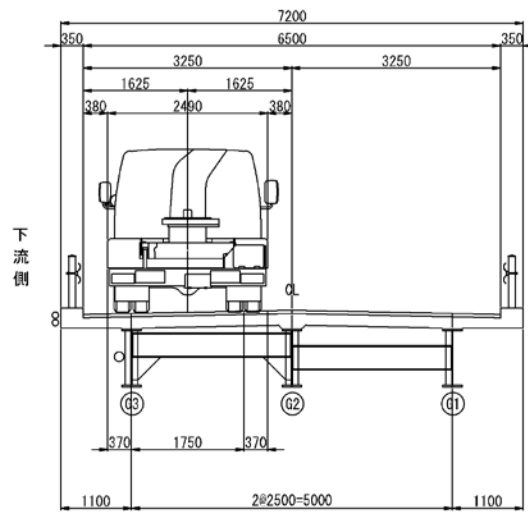
(2) 静的載荷試験

1) 載荷条件

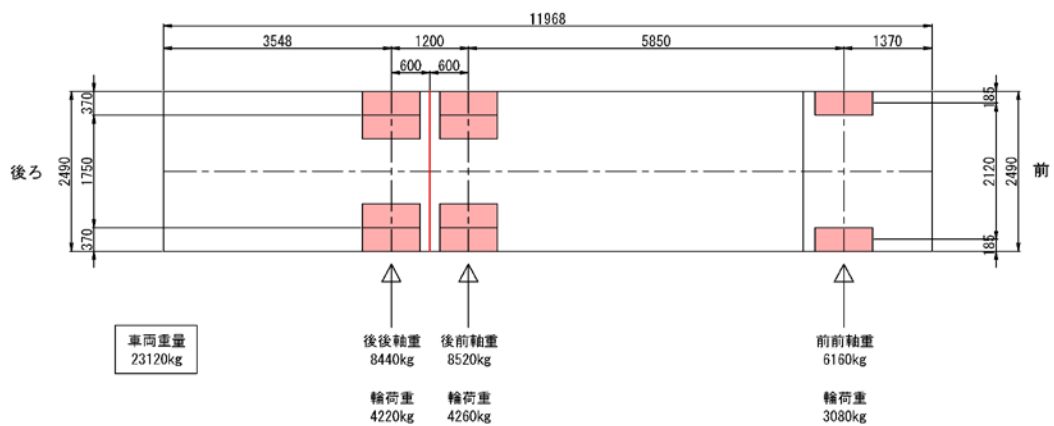
載荷車両

(中部技術事務所点検車：步廊式 (BT400))

横断図
(下流側走行時)



車両平面図
(中技点検車：步廊式)



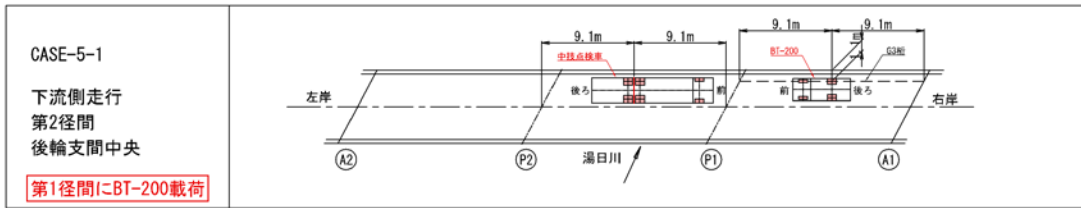
載荷ケース CASE-1 ~ CASE-9 (下流側走行)

<p>CASE-1 下流側走行 第3径間 後輪ポイントを超え2.5m</p>	
<p>CASE-2 下流側走行 第3径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-3 下流側走行 第3径間 後輪ポイント手前1.0m</p>	
<p>CASE-4 下流側走行 第2径間 後輪ポイントを超え2.5m</p>	
<p>CASE-5 下流側走行 第2径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-6 下流側走行 第2径間 後輪ポイント手前1.0m</p>	
<p>CASE-7 下流側走行 第1径間 後輪ポイントを超え2.5m</p>	
<p>CASE-8 下流側走行 第1径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-9 下流側走行 第1径間 後輪ポイント手前1.0m</p>	

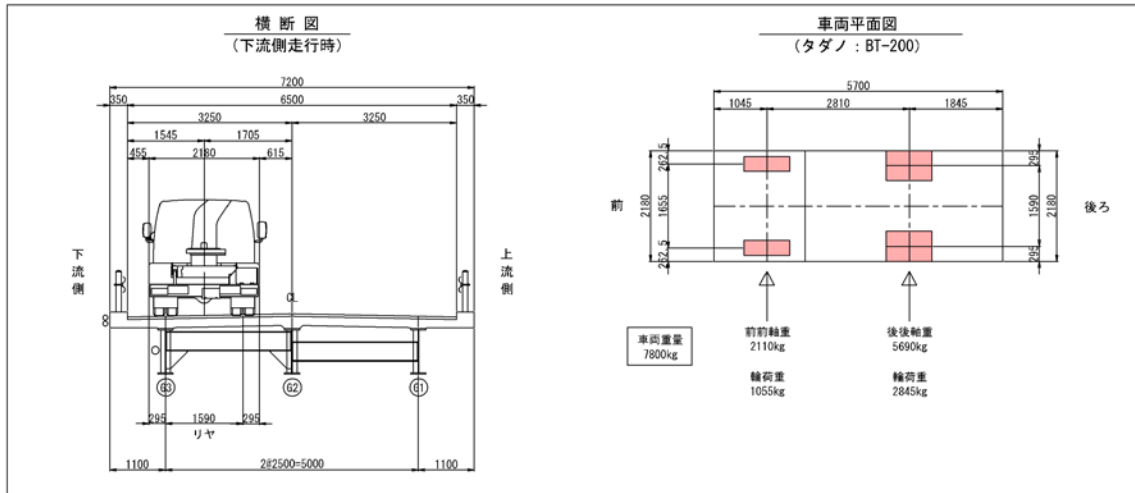
載荷ケース CASE-10 ~ CASE-18 (上流側走行)

<p>CASE-10 上流側走行 第1径間 後輪ジョイント超え2.5m</p>	
<p>CASE-11 上流側走行 第1径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-12 上流側走行 第1径間 後輪ジョイント手前1.0m</p>	
<p>CASE-13 上流側走行 第2径間 後輪ジョイント超え2.5m</p>	
<p>CASE-14 上流側走行 第2径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-15 上流側走行 第2径間 後輪ジョイント手前1.0m</p>	
<p>CASE-16 上流側走行 第3径間 後輪ジョイント超え2.5m</p>	
<p>CASE-17 上流側走行 第3径間 後輪支間中央</p>	
<p>CASE-18 上流側走行 第3径間 後輪ジョイント手前1.0m</p>	

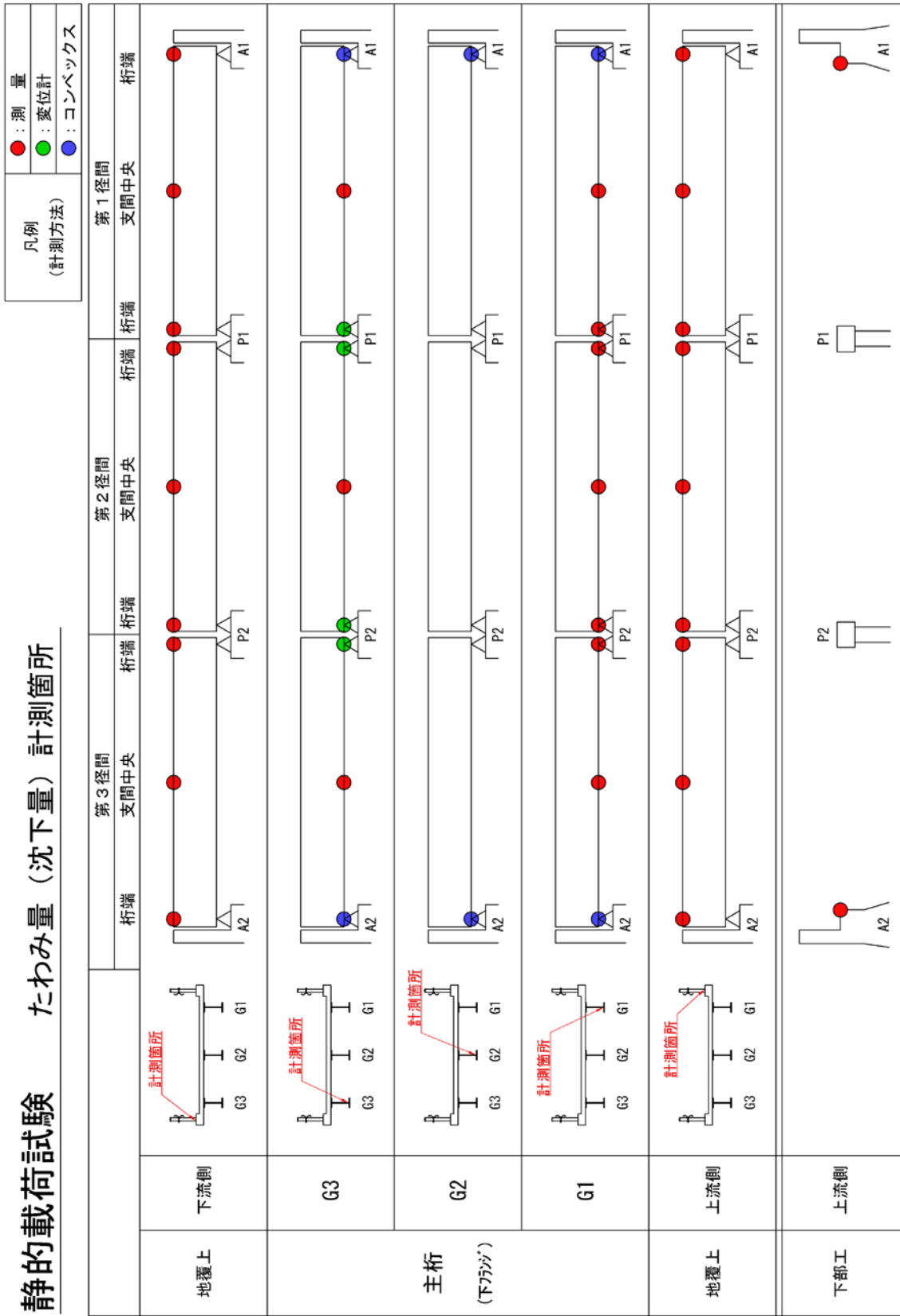
【追加】 載荷ケース CASE-5-1 (下流側走行)



載荷車両 (橋梁点検車 : BT-200)



2) たわみ量（沈下量）計測結果

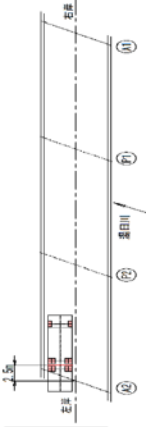


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-1
下流側走行
第3径間
後輪ジョイント超え2.5m

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	-7.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-5.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

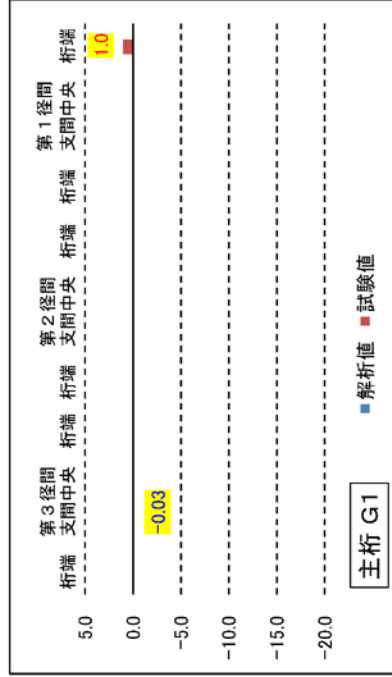
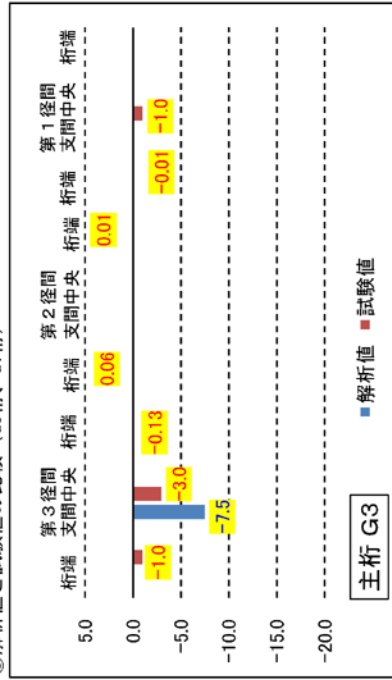
単位	mm
上昇：プラス	
下降：マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	下流側	1.00	-3.00	-1.00	0.00	1.00	2.00	-2.00	3.00
	G 3	-1.00	-3.00	-0.13	0.00	0.01	-0.01	-1.00	0.00
	G 2	-1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
地覆上	上流側	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 沓底面
A 2 橋台	0.0
A 1 橋台	-1.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-2
下流側走行
第3径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下アランジ)	G 3	0.00	-17.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-9.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

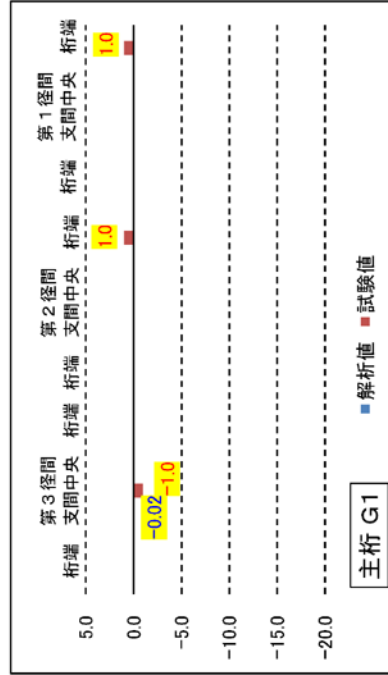
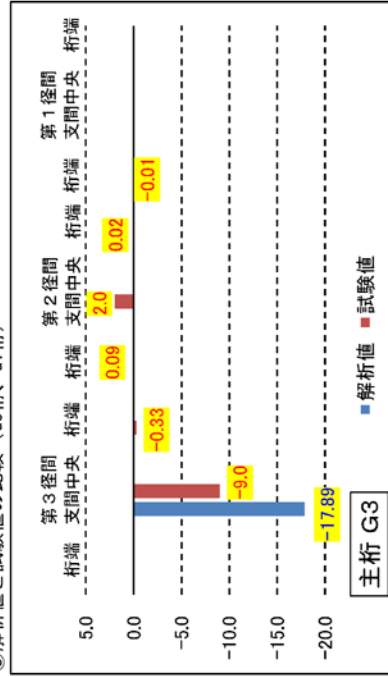
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下アランジ)	下流側	0.00	-10.00	-1.00	0.00	0.00	2.00	-1.00	2.00
	G 3	0.00	-9.00	-0.33	0.09	0.02	-0.01	0.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	1.00
地覆上	G 1	0.00	-1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
	上流側	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 管座面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

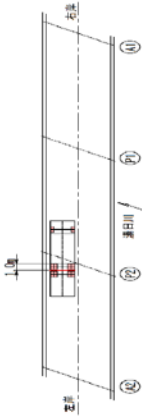


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-3
下流側走行
第3径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G3	0.00	-5.26	0.00	-3.42	0.00	0.00	0.00	0.00
	G2	0.00	-1.36	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00
	G1	0.00	0.01	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.00

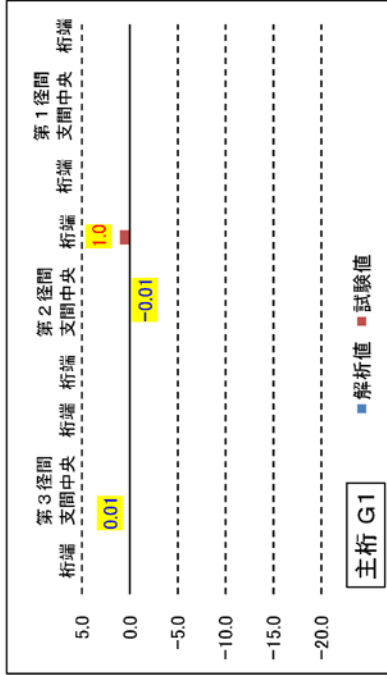
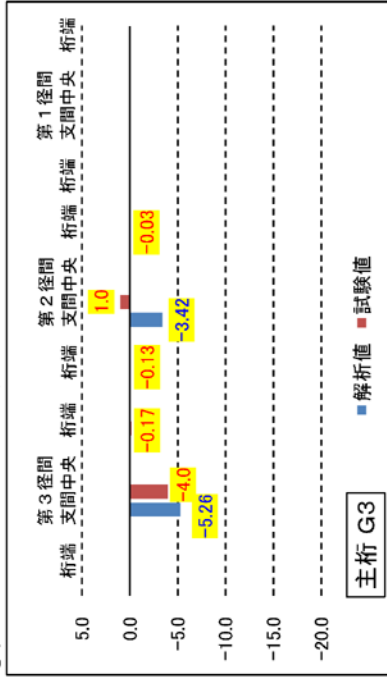
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	-3.00	0.00	-1.00	0.00	3.00	-2.00	5.00
	G3	0.00	-4.00	-0.17	1.00	-0.03	0.00	0.00	0.00
	G2	0.00	-	-	-	-	-	-	1.00
G1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
地覆上	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

下部工	上流側 管座面
A2橋台	0.0
A1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

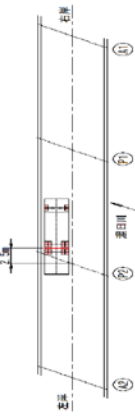


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-4
下流側走行
第2径間
後輪ジョイント超え2.5m

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G3	0.00	0.00	0.00	-7.69	0.00	0.00	0.00	0.00
	G2	0.00	0.00	0.00	-6.09	0.00	0.00	0.00	0.00
	G1	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00

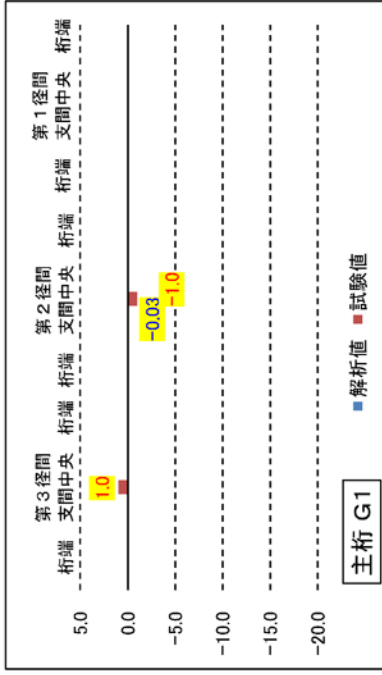
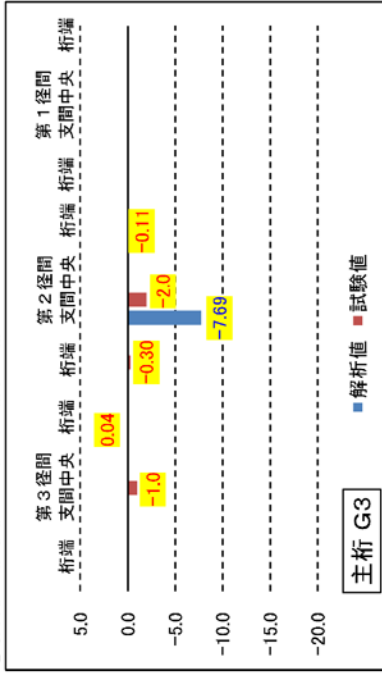
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	-1.00	0.00	-1.00	1.00	1.00	1.00
	G3	0.00	-1.00	0.04	-0.30	-2.00	0.00	0.00	0.00
	G2	0.00	-	-	-	-	-	-	1.00
地覆上	G1	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 沓座面
A2橋台	0.0
A1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

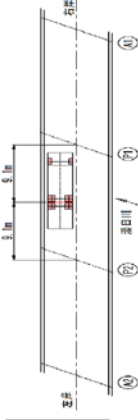


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-5
下流側走行
第2径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	0.00	0.00	-18.07	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	-9.56	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00

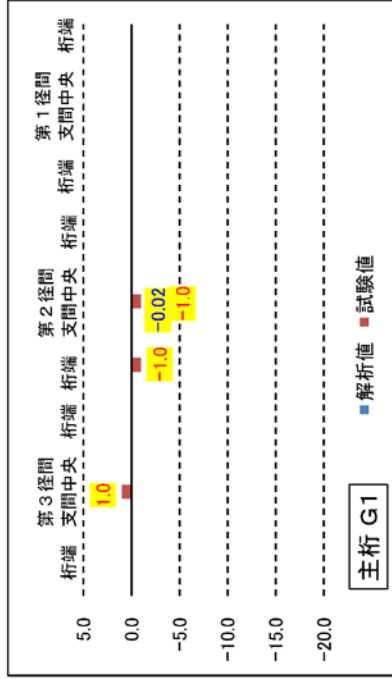
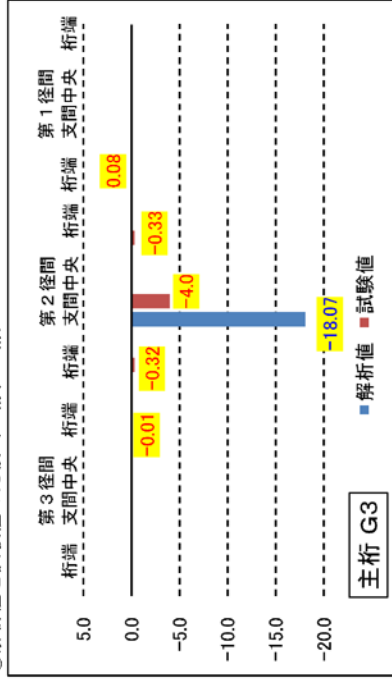
単位	mm
上昇	プラス
下降	マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	0.00	-6.00	0.00	2.00	0.00	0.00
	G 3	0.00	0.00	-0.01	-4.00	-0.33	0.08	0.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	1.00
地覆上	G 1	0.00	1.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 倉座面
A 2 橋台	0.0
A 1 橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-5-1
下流側走行
<CASE-5>に対して
第1径間にBT-200載荷

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	0.00	0.00	-18.07	0.00	0.00	-7.27	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	-9.56	0.00	0.00	-3.38	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00

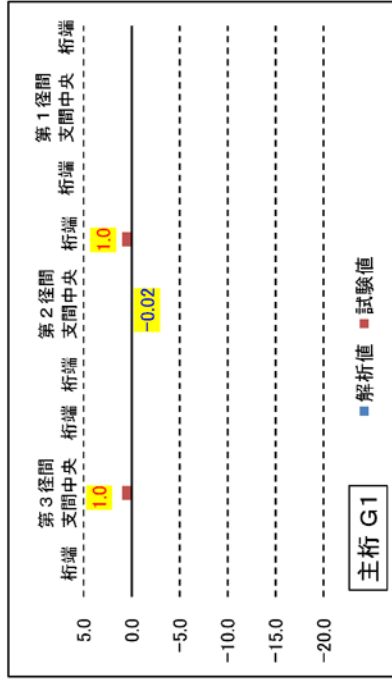
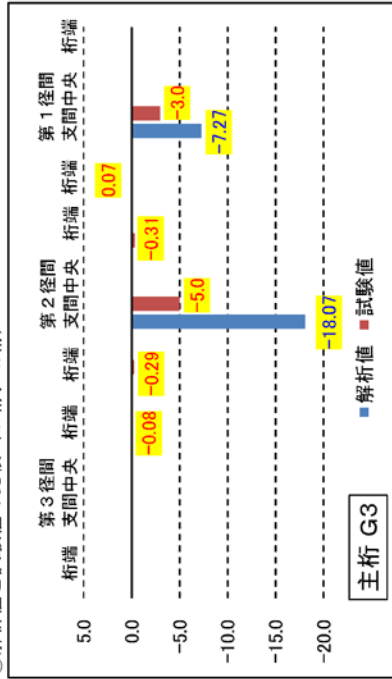
単位	mm
上昇	プラス
下降	マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	-1.00	-6.00	0.00	0.00	-4.00	3.00
	G 3	0.00	0.00	-0.08	-5.00	-0.29	0.07	-3.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00
地覆上	G 1	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00

下部工	上流側 沓座面
A 2 橋台	0.0
A 1 橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



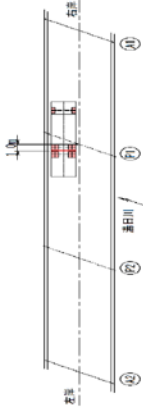
静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-6
下流側走行
第2径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①複元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	0.00	0.00	-5.28	0.00	0.00	-3.42	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	-1.38	0.00	0.00	-2.30	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-0.01	0.00

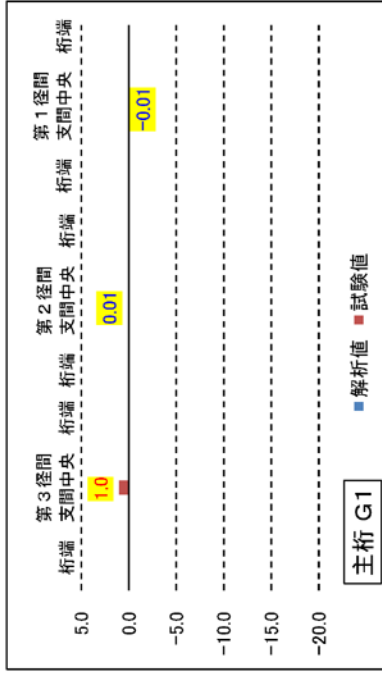
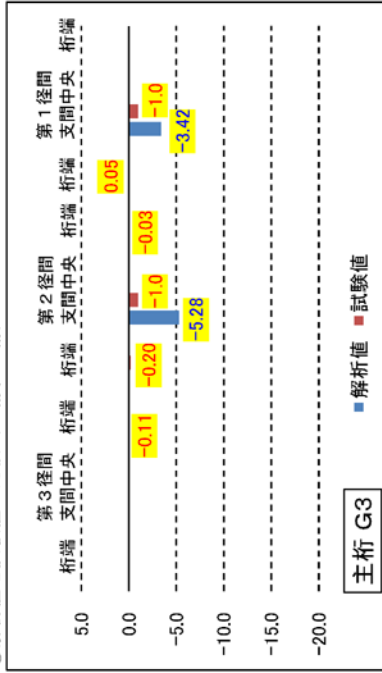
単位	mm
上昇：プラス	
下降：マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	0.00	-2.00	-1.00	2.00	0.00	3.00
	G 3	0.00	0.00	-0.11	-1.00	-0.03	0.05	-1.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	1.00
地覆上	G 1	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 沓座面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-7
 下流側走行
 第1径間
 後輪ジョイント超え2.5m

凡例
 (計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-7.69	0.00
	G2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-6.09	0.00
	G1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00

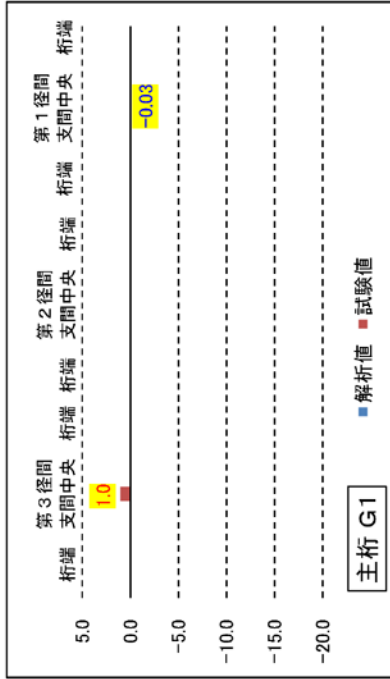
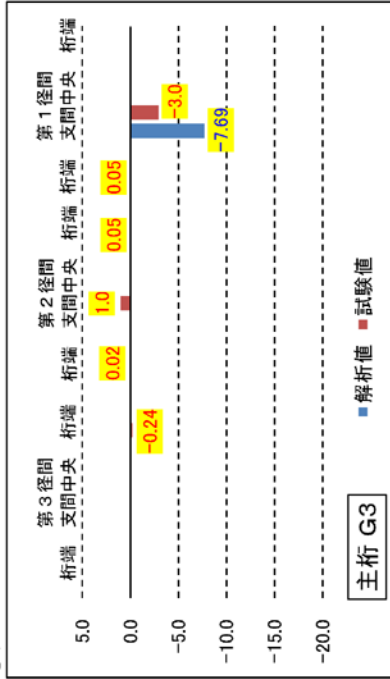
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	-2.00	3.00
	G3	0.00	0.00	-0.24	0.02	1.00	0.05	-3.00	0.00
	G2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	1.00
G1	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地覆上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 脊座面
A2橋台	0.0
A1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



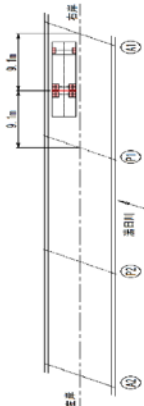
静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-8
下流側走行
第1径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



単位	mm
	上昇：プラス
	下降：マイナス

①復元設計 解析値

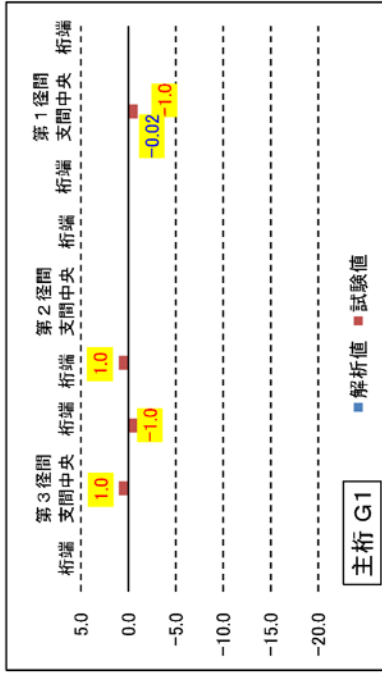
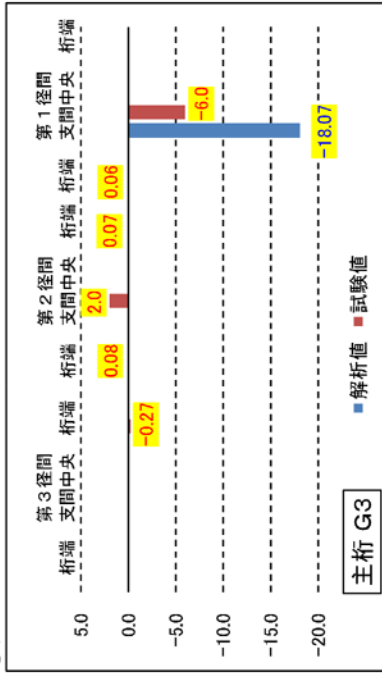
上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下アライツ)	G 3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-18.07	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-9.56	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	下流側	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	-8.00	2.00
主桁 (下アライツ)	G 3	0.00	0.00	-0.27	0.08	0.07	0.06	-6.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	1.00
	G 1	0.00	0.00	-1.00	1.00	0.00	0.00	-1.00	0.00
地覆上	上流側	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 管産面	0.0
	A 2橋台	0.0
	A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

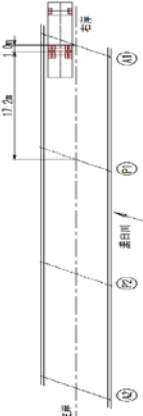


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-9
下流側走行
第1径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

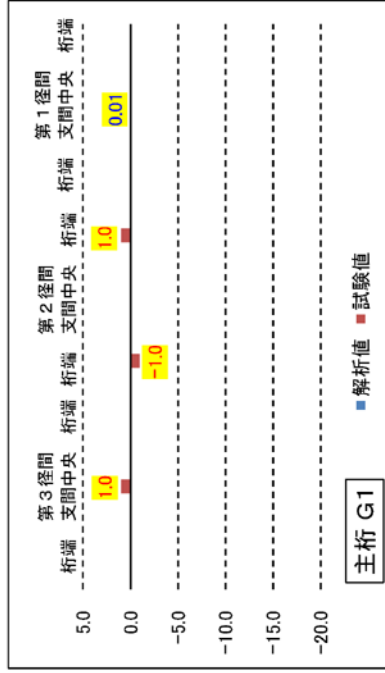
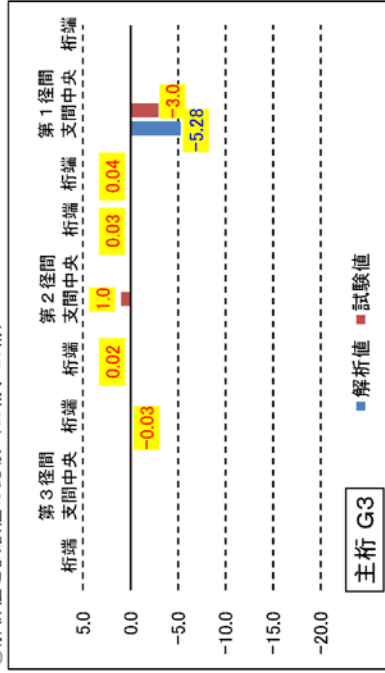
上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-5.28	0.00
	G2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.38	0.00
	G1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	-3.00	1.00
	G3	0.00	0.00	-0.03	0.02	1.00	0.03	-3.00	0.00
	G2	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00
地覆上	G1	0.00	1.00	0.00	-1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 倉壁面
A2橋台	0.0
A1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-10
上流側走行
第1径間
後輪ジョイント超え2.5m

凡例
(計測方法)
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00
	G2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-6.09	0.00
	G1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-7.69	0.00

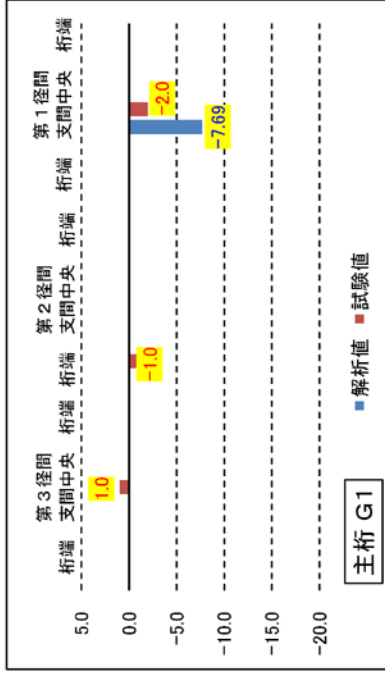
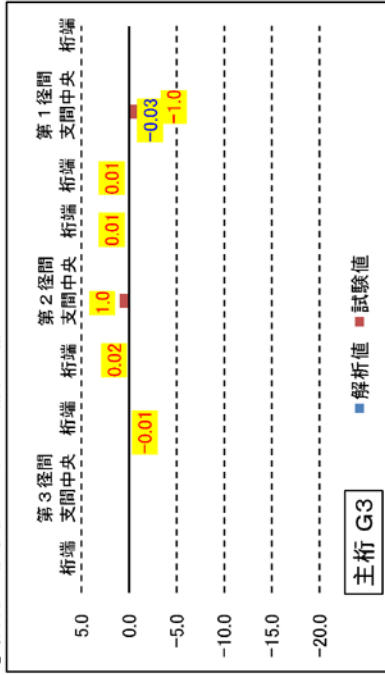
単位	mm
	上昇：プラス
	下降：マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フランジ)	下流側	1.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	1.00	-3.00	2.00
	G3	0.00	0.00	-0.01	0.02	1.00	0.01	-1.00	0.00
	G2	0.00	0.00	—	—	—	—	—	1.00
地覆上	G1	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-2.00	0.00
	上流側	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-2.00	0.00

下部工	上流側 桁座面	0.0
A2橋台		0.0
A1橋台		0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

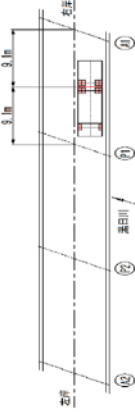


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-11
上流側走行
第1径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)
測量
変位計
コンベックス



単位	mm
	上昇: プラス
	下降: マイナス

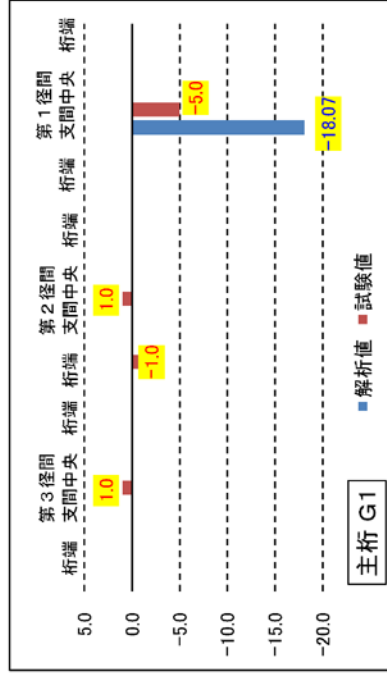
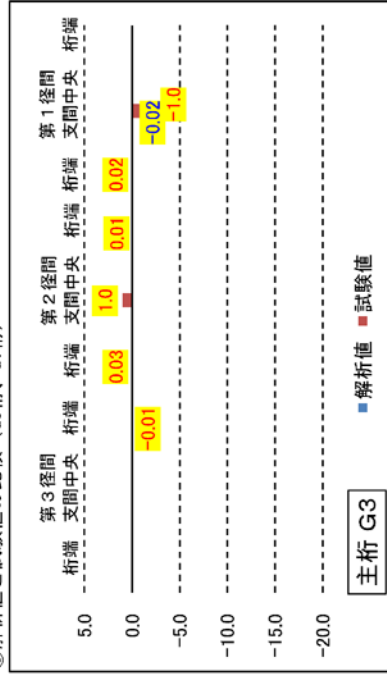
①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-9.56	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-18.07	0.00

②静的載荷 試験値

下部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	2.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	-3.00	2.00
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	-0.01	0.03	1.00	0.01	0.02	-1.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00
	G 1	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	-5.00	0.00
地覆上	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	-1.00	-6.00	-1.00

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



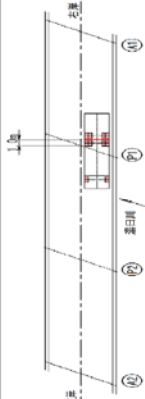
静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-12
上流側走行
第1径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下ワラジ)	G 3	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.01	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	-1.38	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	-3.42	0.00	0.00	-5.28	0.00

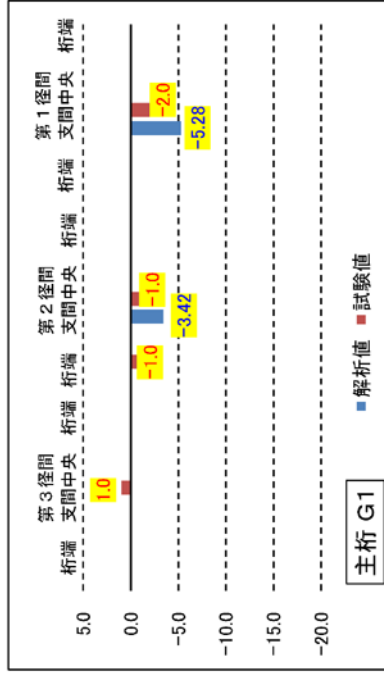
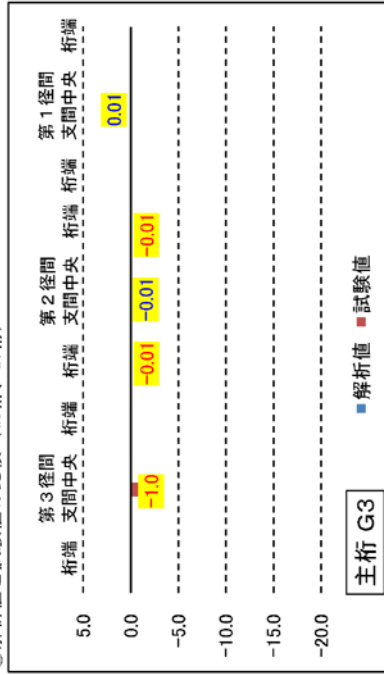
単位	mm
上昇	プラス
下降	マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	1.00	-1.00	2.00
主桁 (下ワラジ)	G 3	0.00	-1.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00
	G 1	0.00	1.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	-2.00	0.00
地覆上	0.00	1.00	0.00	0.00	-1.00	-1.00	-1.00	-2.00	0.00

下部工	上流側 側面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

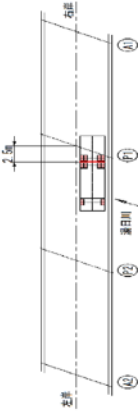


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-13
上流側走行
第2径間
後輪ジョイント超え2.5m

凡例
(計測方法)



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フラッグ)	G3	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
	G2	0.00	0.00	0.00	-6.09	0.00	0.00	0.00	0.00
	G1	0.00	0.00	0.00	-7.69	0.00	0.00	0.00	0.00

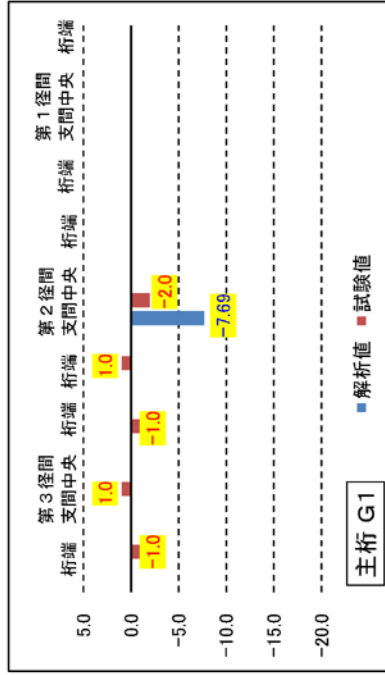
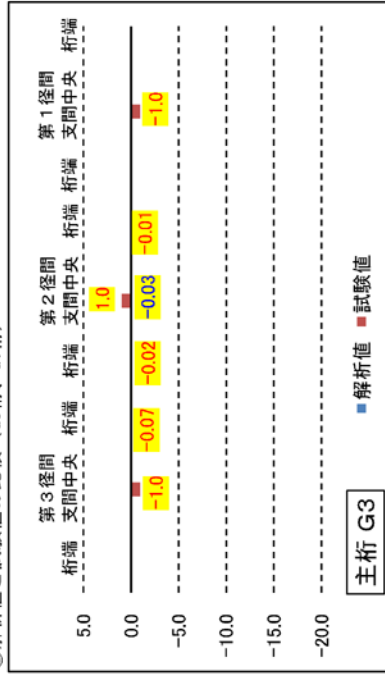
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	-2.00	1.00
主桁 (下フラッグ)	G3	0.00	-1.00	-0.07	1.00	-0.01	0.00	-1.00	0.00
	G2	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00
	G1	-1.00	1.00	-1.00	1.00	-2.00	0.00	0.00	0.00
地覆上	0.00	1.00	0.00	-1.00	-3.00	-1.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 各断面
A2橋台	0.0
A1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-14
上流側走行
第2径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フラッグ)	G 3	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	0.00	0.00	-9.56	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	0.00	0.00	-18.07	0.00	0.00	0.00	0.00

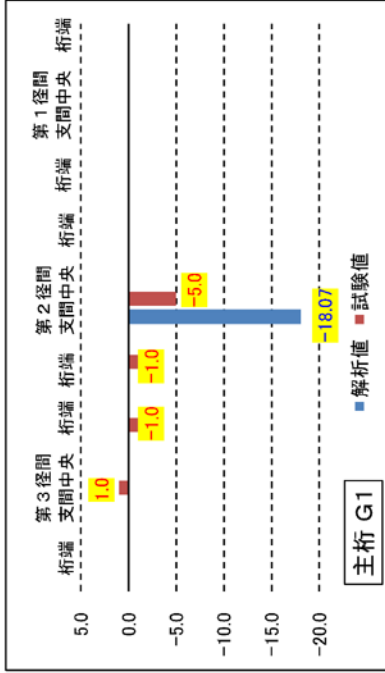
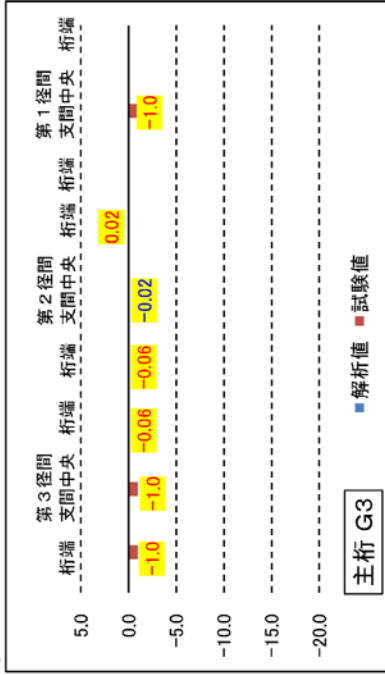
単位	mm
	上昇：プラス
	下降：マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フラッグ)	下流側	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
	G 3	-1.00	-1.00	-0.06	0.00	0.02	0.00	-1.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00
地覆上	G 1	0.00	1.00	-1.00	-5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	1.00	0.00	-5.00	-1.00	-1.00	1.00	0.00

下部工	上流側 各座面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-15
上流側走行
第2径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)
測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フラッグ)	G 3	0.00	-0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-2.30	0.00	-1.38	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-3.42	0.00	-5.28	0.00	0.00	0.00	0.00

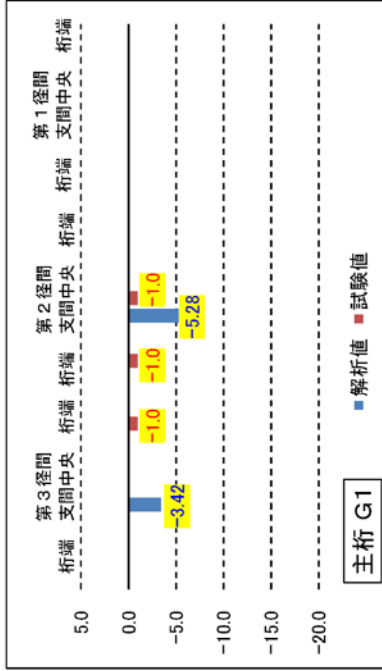
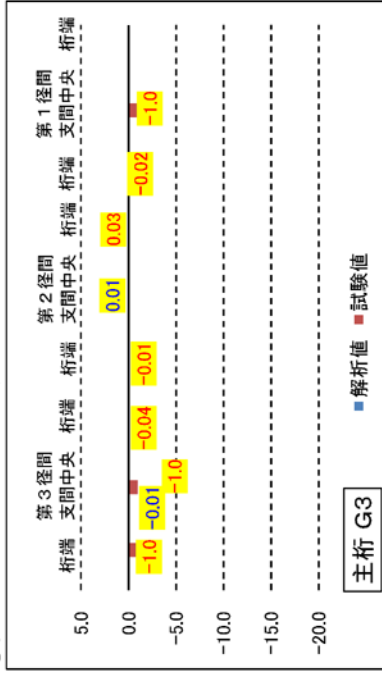
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上 主桁 (下フラッグ)	下流側	1.00	0.00	0.00	-1.00	-1.00	0.00	-2.00	0.00
	G 3	-1.00	-1.00	-0.04	0.00	0.03	-0.02	-1.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	1.00
地覆上	G 1	0.00	0.00	-1.00	-1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	上流側	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	1.00	0.00

下部工	上流側 各断面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-16
上流側走行
第1径間
後輪ジョイント超え2.5m

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-5.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-7.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

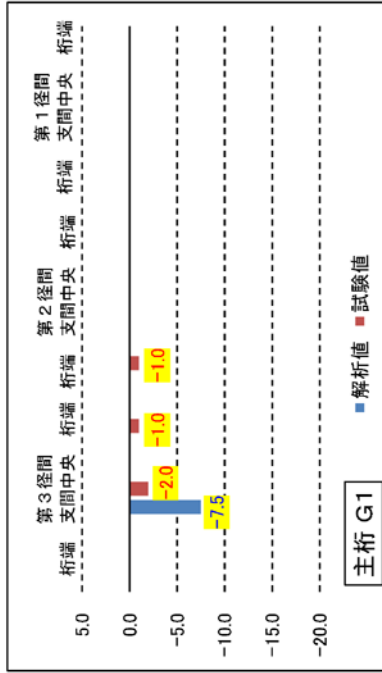
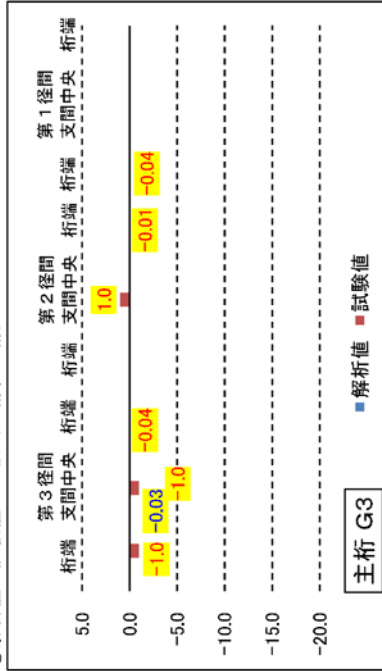
単位	mm
	上昇：プラス
	下降：マイナス

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	下流側	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00	-1.00	2.00
	G 3	-1.00	-1.00	-0.04	1.00	-0.01	-0.04	0.00	0.00
	G 2	0.00	-	-	-	-	-	-	1.00
	G 1	0.00	-2.00	-1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地覆上	上流側	-1.00	-3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00

下部工	上流側 岩露面
	A 2橋台
	A 1橋台

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)



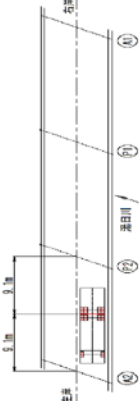
静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-17
上流側走行
第1径間
後輪支間中央

凡例
(計測方法)

測量
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-9.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-17.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

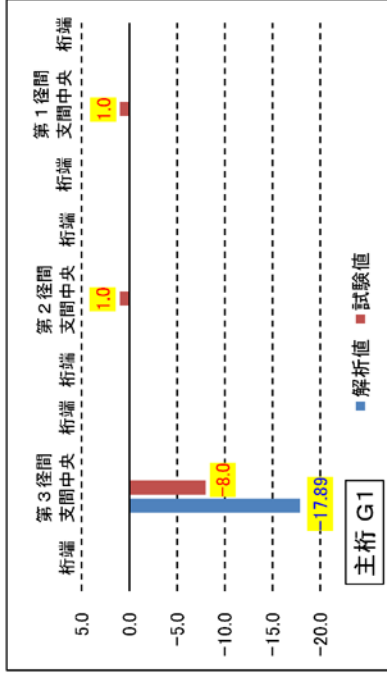
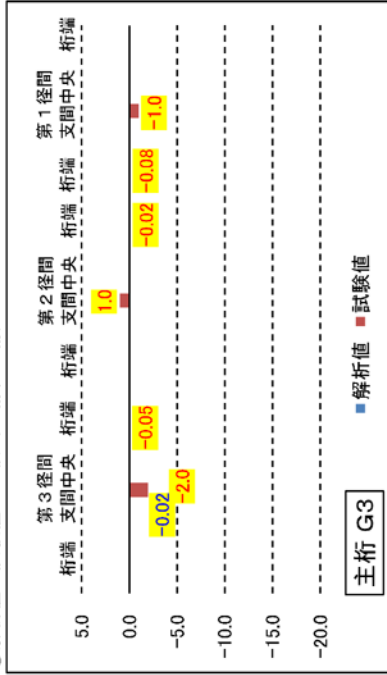
単位	mm
上昇：プラス	
下降：マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	2.00	0.00	0.00	1.00	-1.00	0.00	1.00	0.00	2.00
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	-2.00	0.00	1.00	-0.02	-0.08	-1.00	0.00
	G 2	-1.00	-	-	-	-	-	-	0.00
	G 1	0.00	-8.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
地覆上	0.00	-8.00	-1.00	-1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00

下部工	上流側 側断面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

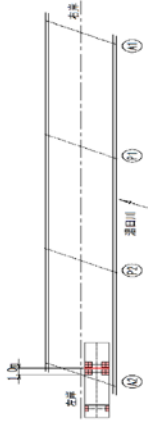


静的載荷試験結果

たわみ量 (沈下量)

CASE-18
上流側走行
第1径間
後輪ジョイント手前1.0m

凡例
(計測方法)
変位計
コンベックス



①復元設計 解析値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
主桁 (下フランジ)	G 3	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 2	0.00	-1.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	G 1	0.00	-5.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

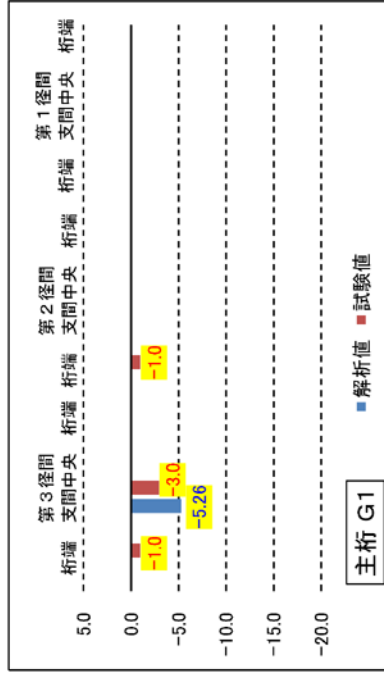
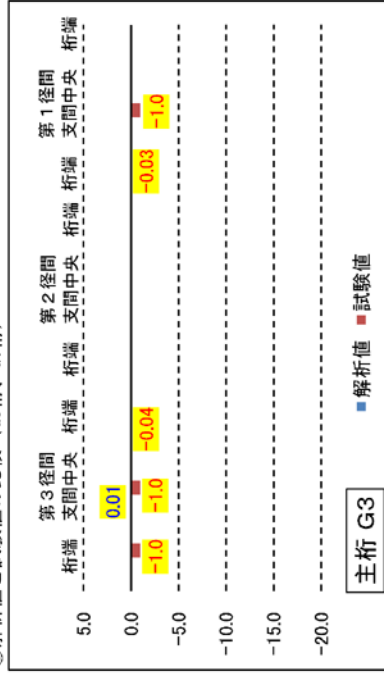
単位	mm
上昇: プラス	
下降: マイナス	

②静的載荷 試験値

上部工	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
地覆上	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00	-3.00	2.00
主桁 (下フランジ)	G 3	-1.00	-1.00	-0.04	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00
	G 2	-1.00	-	-	-	-	-	-	0.00
	G 1	-1.00	-3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地覆上	0.00	-4.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00

下部工	上流側 管端面
A 2橋台	0.0
A 1橋台	0.0

③解析値と試験値の比較 (G3桁、G1桁)

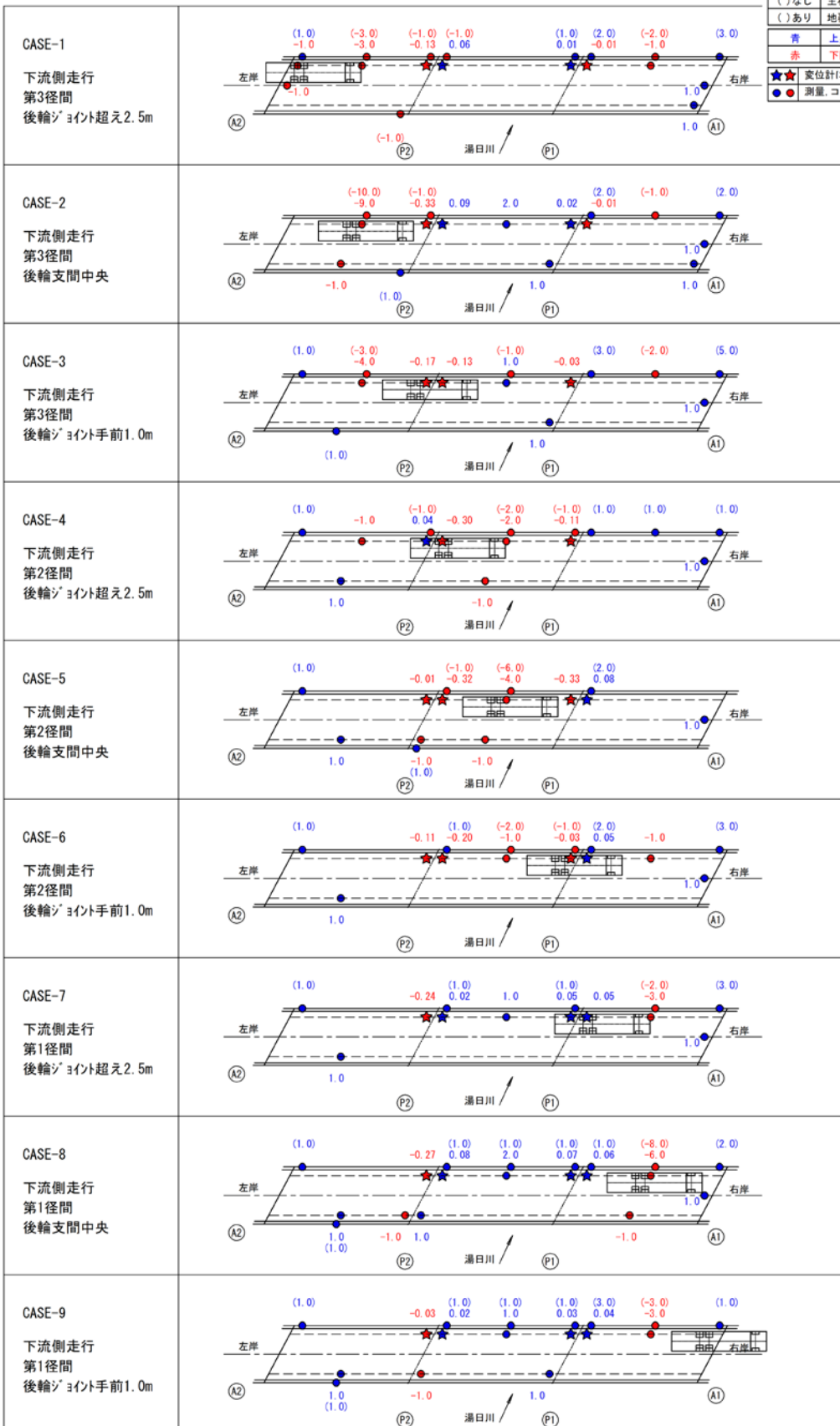


静的載荷試験結果 主桁と地覆のたわみ量（沈下量）

載荷ケース CASE-1 ~ CASE-9（下流側走行）

凡例

単位	mm
()なし	主桁（下フランジ）
()あり	地覆上面
青	上昇（プラス）
赤	下降（マイナス）
★	実位計による計測
●	測量、コンベックスによる計測

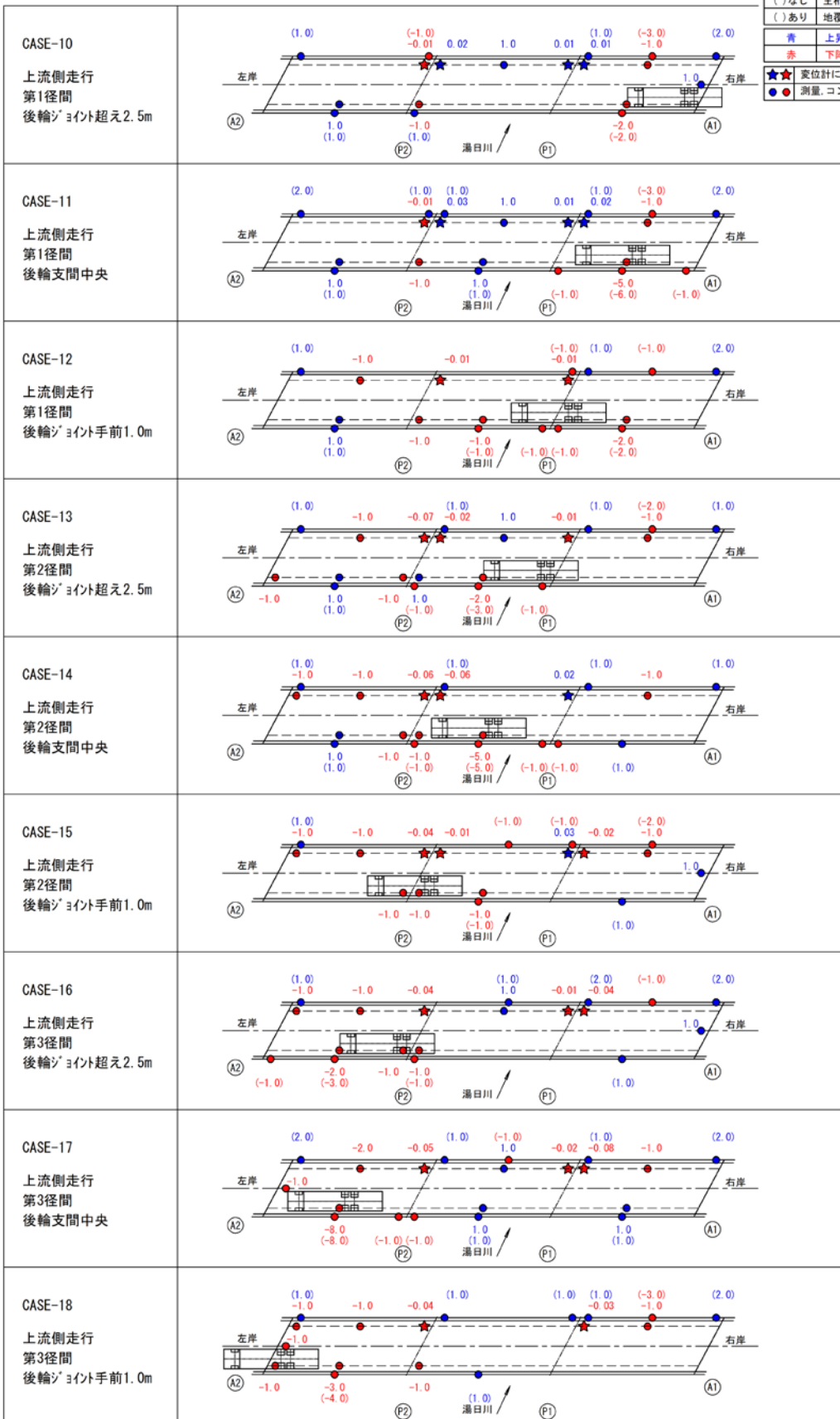


静的載荷試験結果 主桁と地覆のたわみ量（沈下量）

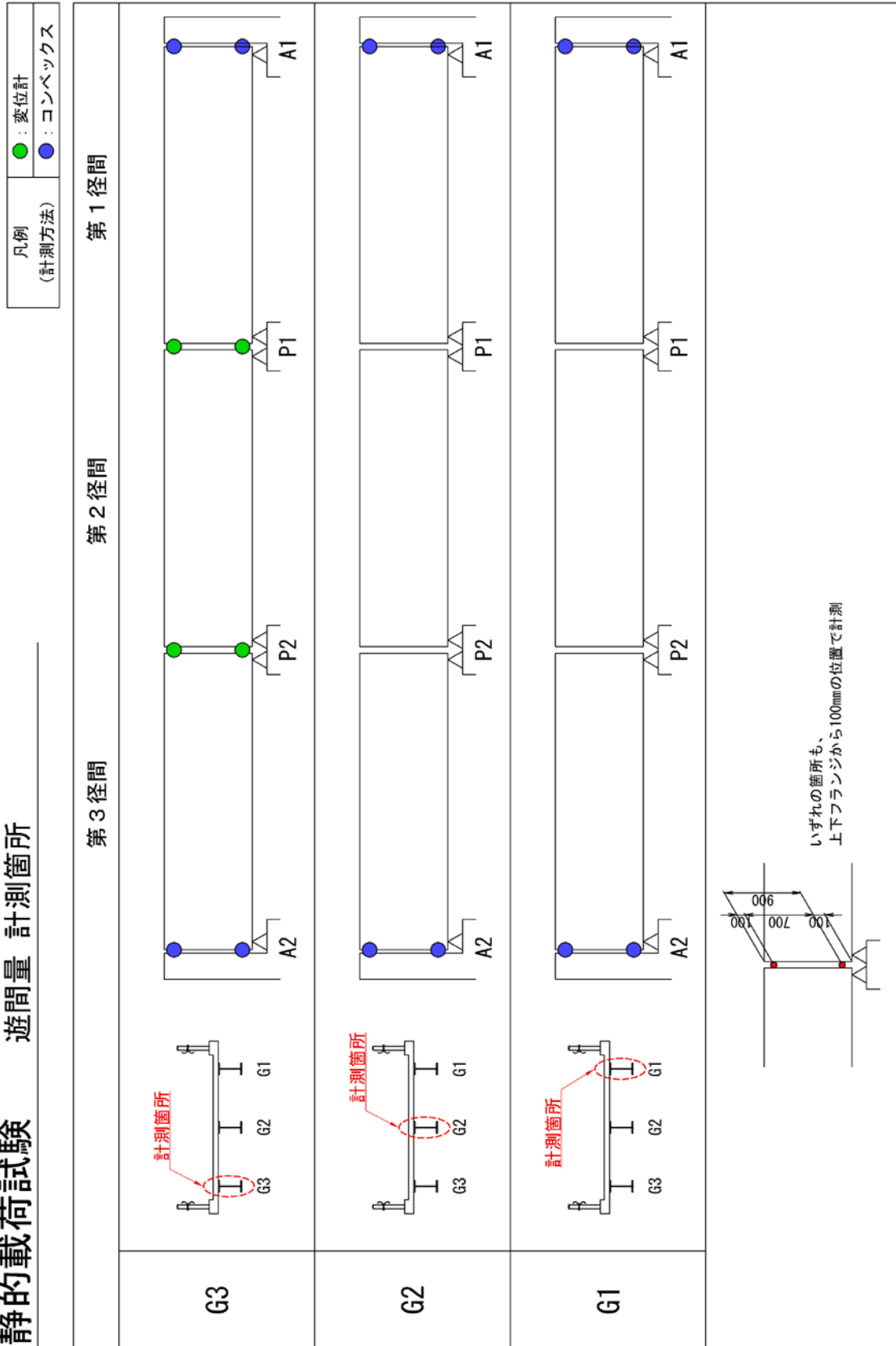
載荷ケース CASE-10 ~ CASE-18（上流側走行）

凡例

単位	mm
()なし	主桁（下フランジ）
()あり	地覆上面
青	上昇（プラス）
赤	下降（マイナス）
★	変位計による計測
●	測量、コンベックスによる計測



静的載荷試験 遊間量 計測箇所



静的載荷試験結果

遊間量

単位	拡大：プラス
mm	縮小：マイナス

凡例 (計測方法)	変位計		
	コンベックス		

CASE	無載荷時に対する遊間の変化量	上側	G 3桁			G 2桁		G 1桁		
			A 2	P 2	P 1	A 1	A 2	A 1	A 2	A 1
CASE-1	第3径間 後輪ポイント超え2.5m	上側	0.00	0.04	-0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.04	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
CASE-2	第3径間 後輪支間中央	上側	0.00	0.36	-0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.07	-0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
CASE-3	第3径間 後輪ポイント手前1.0m	上側	0.00	0.36	-0.13	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.02	-0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
CASE-4	第2径間	上側	0.00	0.15	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.05	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-5	第2径間 後輪支間中央	上側	0.00	0.29	0.26	0.00	1.00	-1.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.07	-0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
CASE-5-1	<CASE-5>に対して 第3径間にBT-200載荷	上側	0.00	0.19	0.38	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.11	-0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-6	第2径間 後輪ポイント手前1.0m	上側	0.00	0.01	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-7	第1径間 後輪ポイント超え2.5m	上側	0.00	-0.12	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.08	-0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-8	第1径間 後輪支間中央	上側	0.00	-0.27	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.15	-0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-9	第1径間 後輪ポイント手前1.0m	上側	0.00	-0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.05	-0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無載荷時の遊間量		上側	0.0	5.0	16.0	0.0	25.0	14.0	42.0	26.0
		下側	0.0	0.0	0.0	3.0	12.0	14.0	27.0	22.0

下流側走行

静的載荷試験結果

遊間量

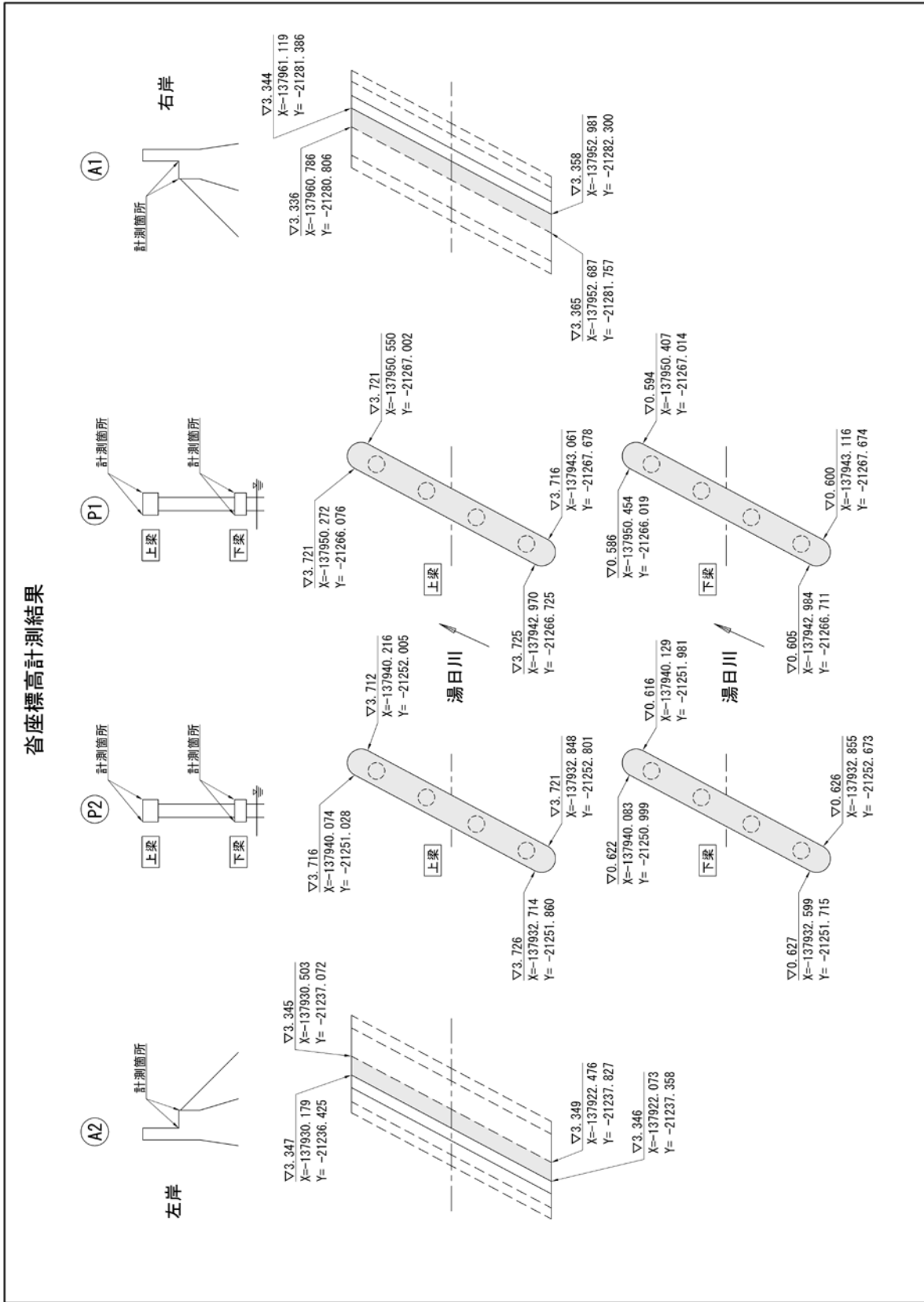
単位	拡大：プラス
mm	縮小：マイナス

凡例 (計測方法)	変位計		
	コンベックス		

無載荷時に対する遊間の変化量	G 3 桁										G 2 桁		G 1 桁	
	CASE	位置	方向	A 2	P 2	P 1	A 1	A 1	A 2	A 1	A 2	A 1	A 2	A 1
CASE-10	第1径間 後輪ジョイント超え2.5m	上側	0.00	-0.07	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	-0.04	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	-1.00
CASE-11	第1径間 後輪支間中央	上側	0.00	-0.14	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	-1.00
		下側	0.00	-0.07	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-12	第1径間 後輪ジョイント手前1.0m	上側	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	-1.00
		下側	0.00	-0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-13	第2径間 後輪ジョイント超え2.5m	上側	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CASE-14	第2径間 後輪支間中央	上側	0.00	0.13	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-15	第2径間 後輪ジョイント手前1.0m	上側	0.00	0.04	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	0.02	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-16	第3径間 後輪ジョイント超え2.5m	上側	0.00	0.06	-0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	0.02	-0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-17	第3径間 後輪支間中央	上側	0.00	0.15	-0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	0.00	0.00
		下側	0.00	0.06	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
CASE-18	第3径間 後輪ジョイント手前1.0m	上側	0.00	0.05	-0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	0.00	1.00	0.00
		下側	1.00	0.02	-0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00
無載荷時の遊間量		上側	0.0	5.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	14.0	42.0	26.0
		下側	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	12.0	14.0	27.0	22.0

上流側走行

(3) 沓座計測結果



(4) 鋼部材調査

1) 板厚測定

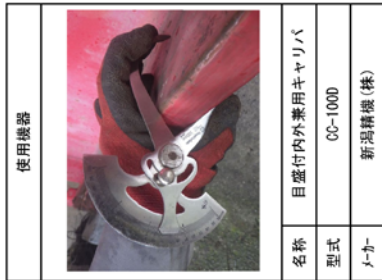
板厚測定結果

■主桁 下フランジ厚 設計板厚 t = 28mm

	第3径間			第2径間			第1径間		
	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端	桁端	支間中央	桁端
G3	29.0	29.5	29.5	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0
G2	28.0	27.5	26.0	26.0	25.0	26.0	28.0	28.0	29.5
G1	29.0	27.0	29.0	27.0	28.0	29.0	28.0	27.0	28.0
減厚箇所 (各径間で最も薄い箇所を抽出して計測)	フランジ先端 先端から50mm	22.5 (5/20計測) 28.0 (7/10計測)	フランジ先端 先端から50mm	フランジ先端 先端から50mm	23.9 (5/20計測) 27.0 (7/10計測)	フランジ先端 先端から50mm	フランジ先端 先端から50mm	24.4 (5/20計測) 28.0 (7/10計測)	

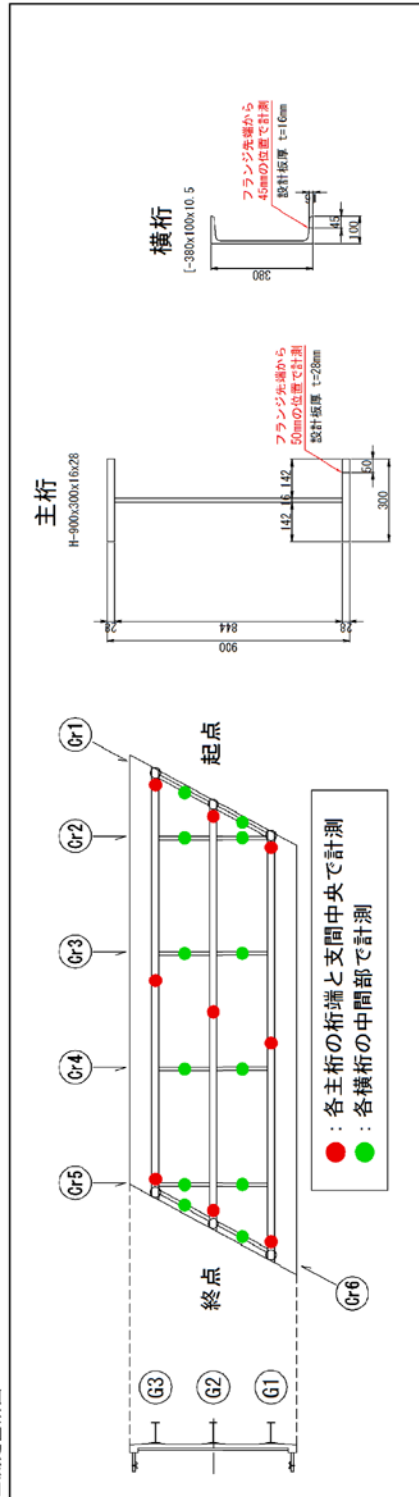
■横桁 下フランジ厚 設計板厚 t = 16mm

	第3径間						第2径間						第1径間					
	Cr6	Cr5	Cr4	Cr3	Cr2	Cr1	Cr6	Cr5	Cr4	Cr3	Cr2	Cr1	Cr6	Cr5	Cr4	Cr3	Cr2	Cr1
G3-G2間	16.0	15.5	14.0	14.5	15.0	16.0	16.0	14.0	14.0	13.0	15.0	14.5	16.0	15.5	15.5	14.0	16.0	16.0
G2-G1間	15.5	15.5	12.0	14.0	15.0	15.5	14.0	12.5	13.5	14.0	14.0	13.0	13.0	14.0	14.5	13.5	15.5	16.0
減厚箇所 (各径間で最も薄い箇所を抽出して計測)	フランジ先端 先端から45mm	10.7 (5/20計測) 14.0 (7/10計測)	フランジ先端 先端から45mm	フランジ先端 先端から45mm	8.9 (5/20計測) 14.0 (7/10計測)	フランジ先端 先端から45mm	フランジ先端 先端から45mm	9.7 (5/20計測) 16.0 (7/10計測)										



名称	目盛付内外兼用キヤリバ
型式	CC-1000
メーカー	新潟精機(株)

■測定箇所図

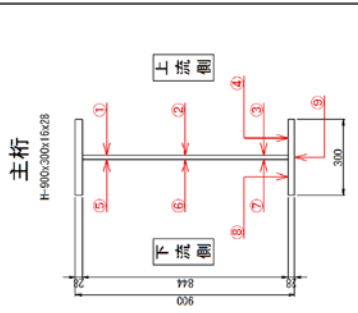


2) 塗膜厚測定

塗膜厚測定結果

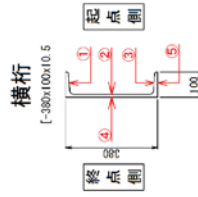
単位：μm

主桁	番号	G 3			G 2			G 1			平均値	
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目		
下流側	上	374.9	362.5	349.1	362.2	384.2	398.1	391.8	401.0	419.5	403.0	407.8
	中	366.8	355.0	353.0	358.3	373.3	374.3	370.0	396.9	386.2	388.6	390.6
	下	302.2	314.1	302.2	306.2	436.0	441.0	438.3	347.4	353.1	361.9	354.1
上流側	上	410.5	431.5	434.0	425.3	385.3	388.4	387.3	381.7	363.6	374.8	373.4
	中	444.5	413.0	432.5	430.0	388.4	381.9	391.1	348.6	348.3	352.0	349.6
	下	543.0	515.0	546.0	534.7	389.5	382.7	371.8	391.1	389.9	376.8	385.9
下フランジ	下流側	419.0	424.0	414.5	419.2	212.1	200.4	203.3	405.5	427.5	413.5	415.5
	上流側	614.0	628.0	641.0	627.7	475.5	470.5	466.5	424.0	422.5	417.5	421.3
	下面	437.0	436.0	479.5	450.8	371.9	392.2	366.3	376.8	398.0	428.0	419.0



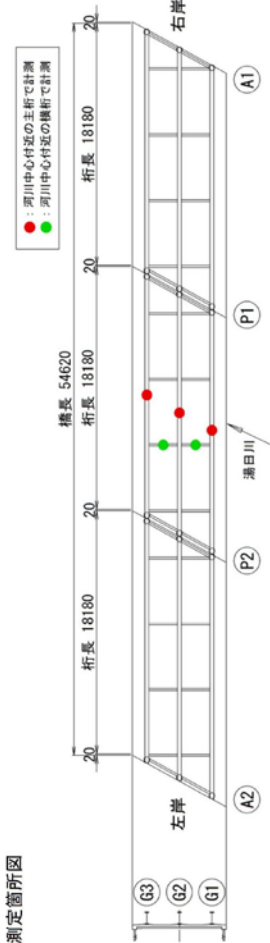
単位：μm

横桁	番号	G 3 - G 2間			G 2 - G 1間			平均値
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	
上フランジ	①	483.5	475.5	461.5	473.5	454.0	444.5	445.3
	②	454.0	446.5	475.0	458.5	433.5	423.5	440.5
ウェブ	④	566.0	541.0	562.0	556.3	479.5	479.0	490.5
	③	-	-	-	-	-	-	-
下フランジ	⑤	550.0	533.0	533.0	538.7	451.0	454.5	460.0
	⑤	550.0	533.0	533.0	538.7	451.0	454.5	460.0

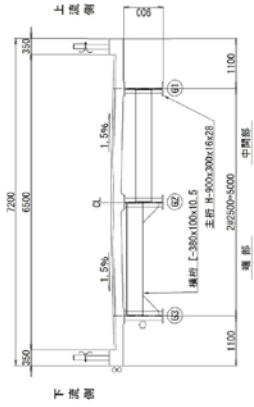


※③は腐食が著しく測定不可

測定箇所図



上部工断面図

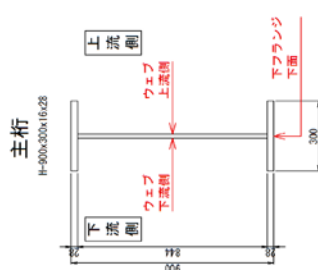


3) 塩化物イオン付着量測定

付着塩分量測定

■主桁

記号	項目	単位	G 3				G 2				G 1			
			ウェブ		下フランジ		ウェブ		下フランジ		ウェブ		下フランジ	
			下流側	上流側	下	上	下流側	上流側	下	上	下流側	上流側	下	上
C	塩化物イオン濃度	ppm	25	85	50	120	130	120	70	100				
V	脱イオン水量	L	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15				
NaCl	NaClの式量	-	58.5	58.5	58.5	58.5	58.5	58.5	58.5	58.5				
Cl	Clの原子量	-	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5				
A	塩分採取面積	m ²	0.25	0.25	0.10	0.25	0.25	0.25	0.25	0.12				
N	塩分量	mg/m ²	25	84	124	119	129	119	69	206				

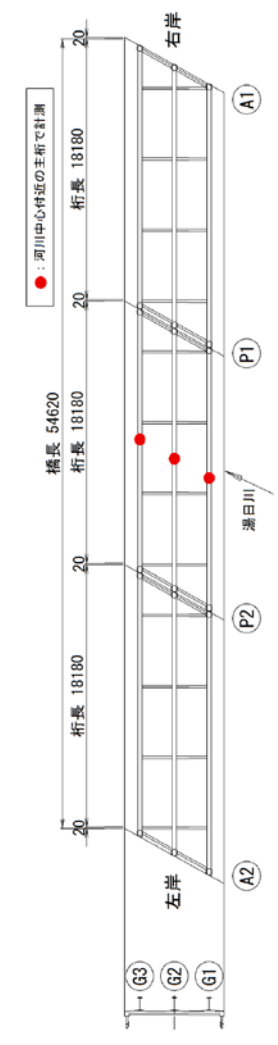


- 1) 試験方法は「鋼道橋構造便覧 H26.3 ガーゼ拭き取り法」にて実施
- 2) G 2桁の下フランジ下面は、塗膜の大部分が剝離しており塗膜の採取不可
- 3) 脱イオン水の密度は1000kg/m³として計算
- 4) 塩分量 (N) は右式で算出

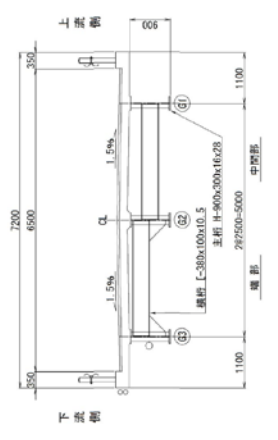
$$N = C \times V \times \frac{\text{NaCl}}{\text{Cl}} \div A$$

備考

■測定箇所図



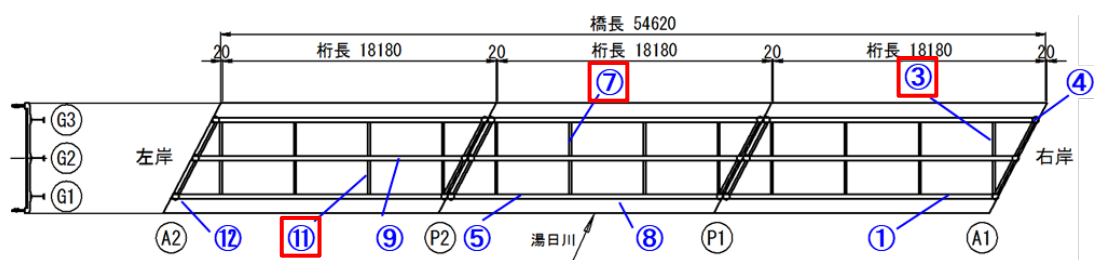
■上部工断面図



5.2.2 横桁の状況

(1) 近接目視

1) 腐食



2) 損傷図

5.2.1 (1) 4) を参照。

(2) 鋼部材調査

1) 板厚測定

5.2.1 (4) 1) を参照。

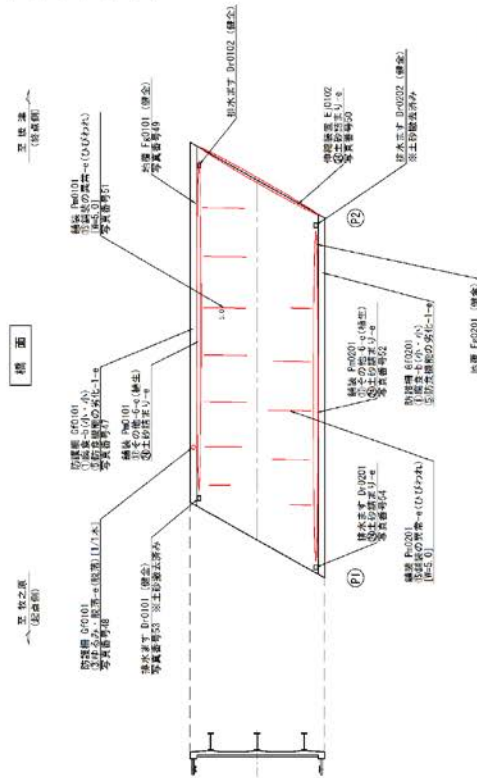
2) 塗膜厚測定

5.2.1 (4) 2) を参照。

2) プレキャスト床版の損傷 (P1 橋脚~P2 橋脚 第2 径間)

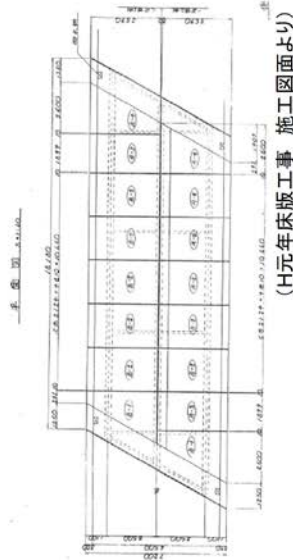


舗装の種別	表示
ひびわれ	
剥離	
陥没	
膨張収縮	
湧水・湧出	
その他	

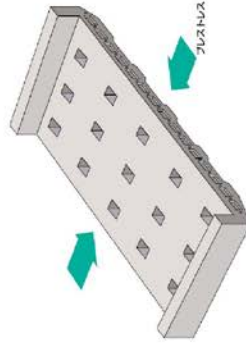


(2枚)

舗装損傷図(事前調査)

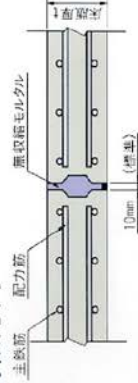


SBパネル タイプI <1方向PC床版>

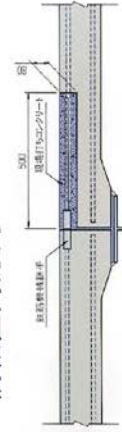


SBパネル工法の継手

橋軸方向

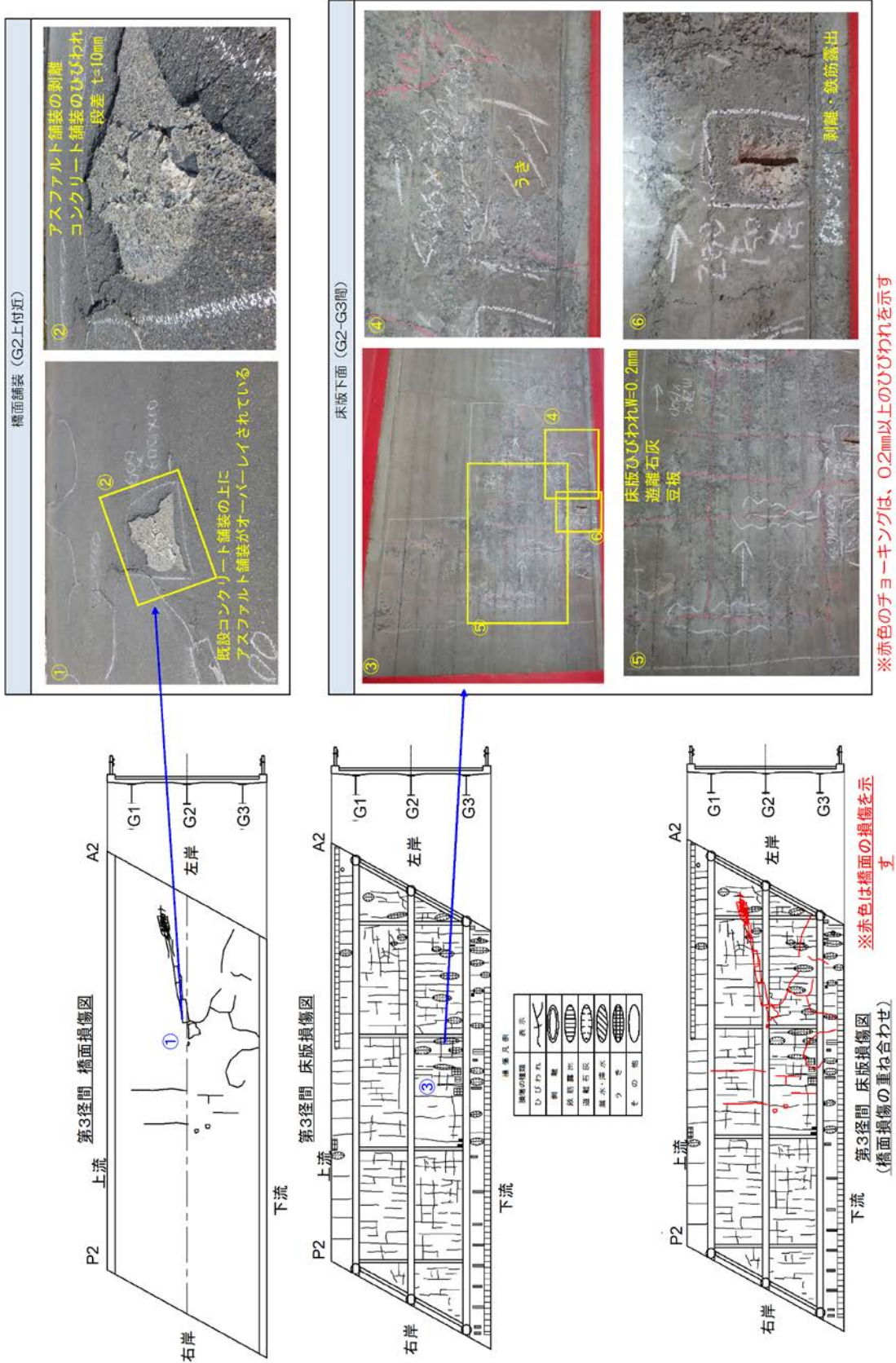


橋軸直角方向

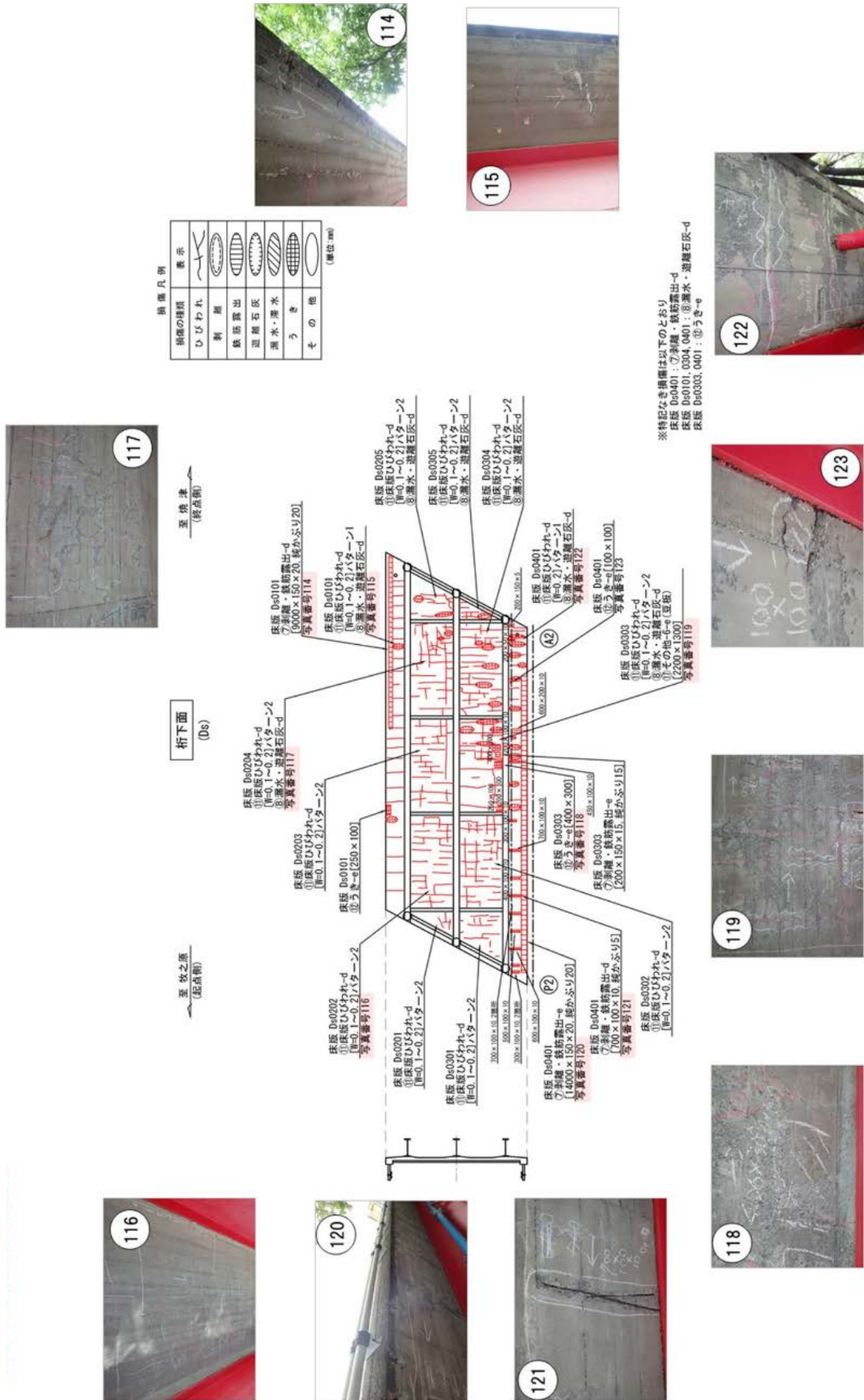


SBパネル工法ハンプレットより

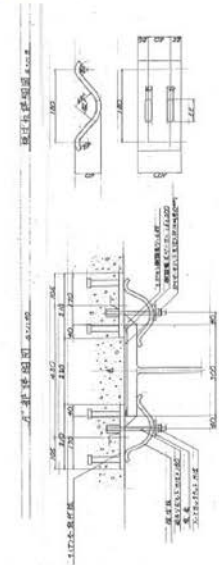
3) 場所打ち RC 床版の損傷 (P2 橋脚~A2 橋台 第 3 径間)



4) 損傷図(第3径間)

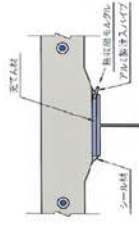


5) 床版の板バネ・シール材



H8年度床版工事 変更実施設計図より

5. SBパネルと桁との締結の充てん材 ●SBパネルはハンゲもれ目製作用のため、基本的には桁との隙間に埋め打ちコンクリートは使用しません。
 取付部の隙間に、溝収容モルタルを充てんします。



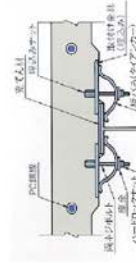
SBパネル工法ハンフレットより



4. SBパネルと桁との締結

●SBパネルと桁との取付には、2種類の取付方法があります。

- 板バネ方式
 主として、プレキャスト板を設置後に、交通を回復させる場合の仮締結として用います。
 [但しの締結材は其後に引離はされています。]
 ●材料取得済



SBパネル工法ハンフレットより

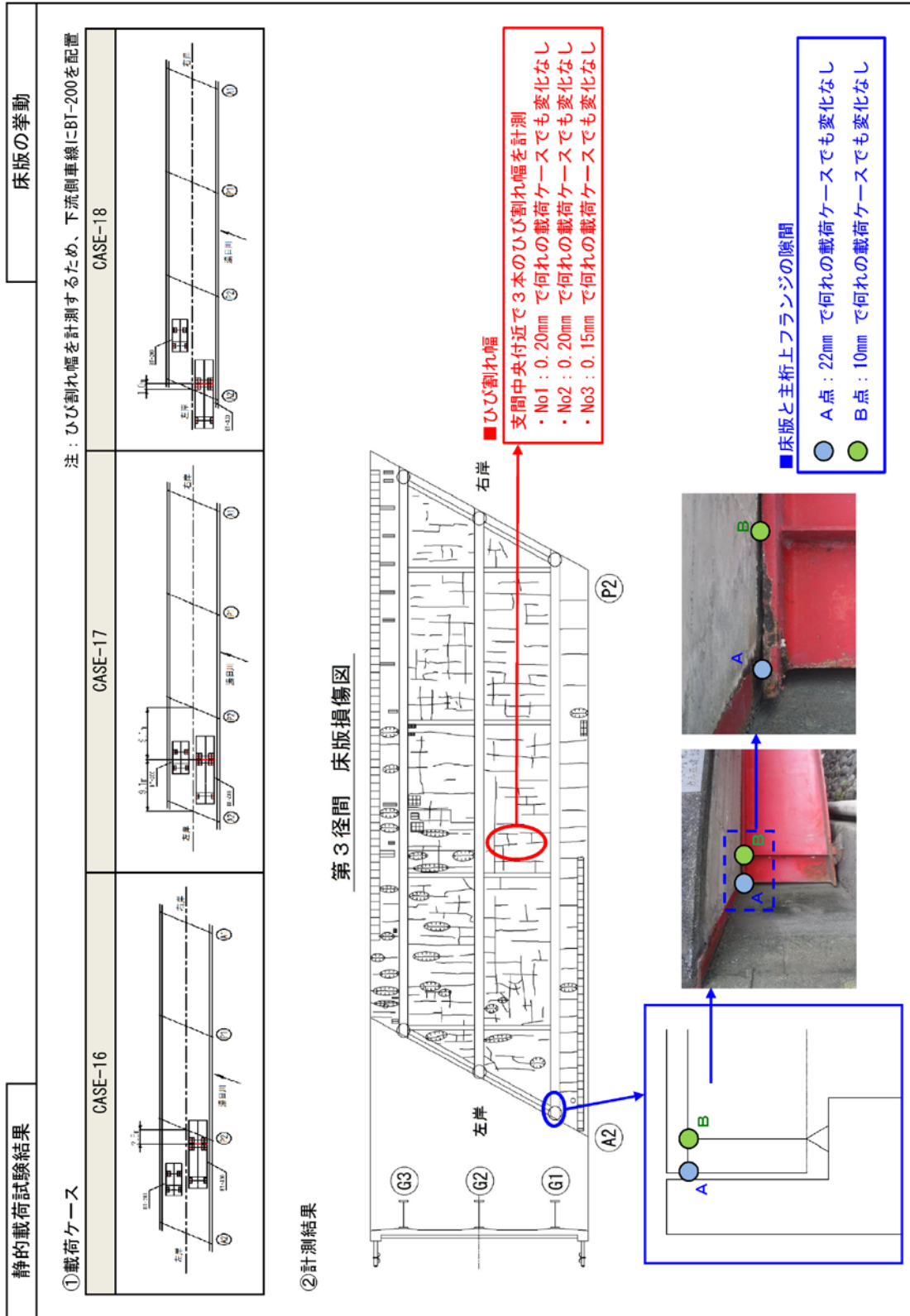
仮締結として使用されたもの。
 一撤去する。

(2) 静的載荷試験

1) 載荷条件

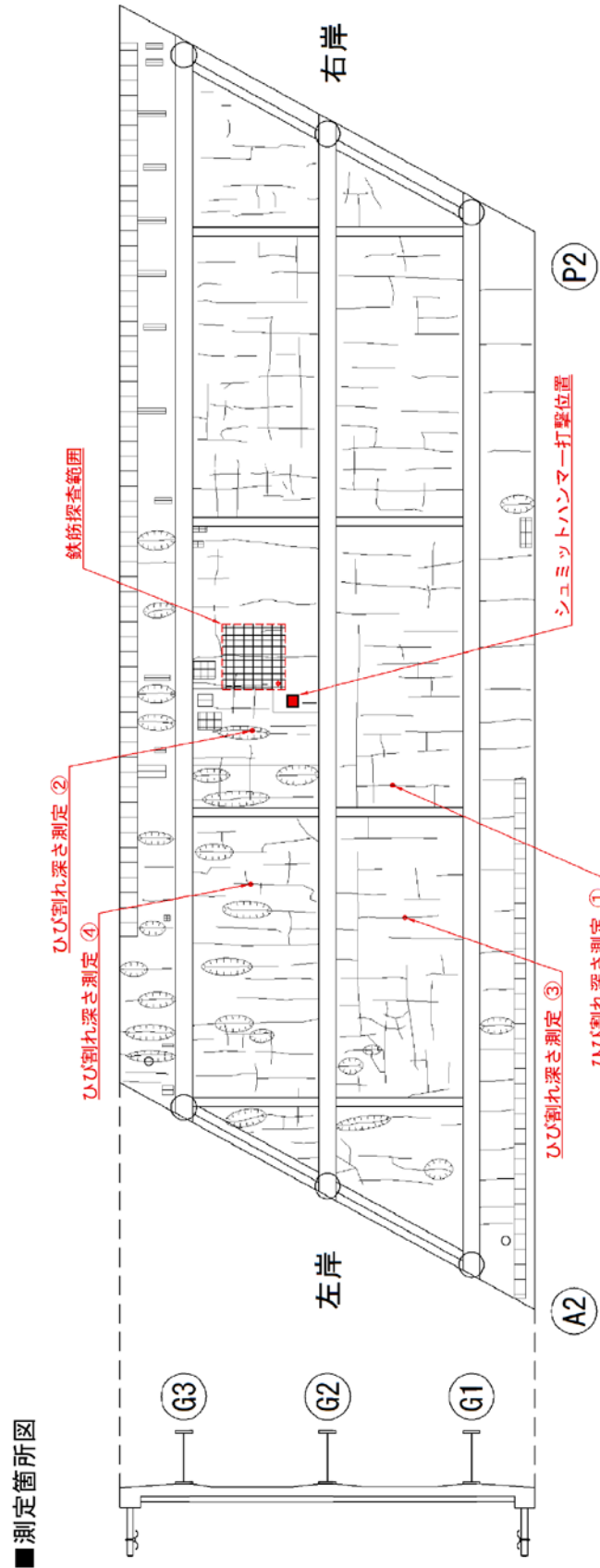
5.2.1 (2) 1) を参照。

2) 床版の挙動計測結果



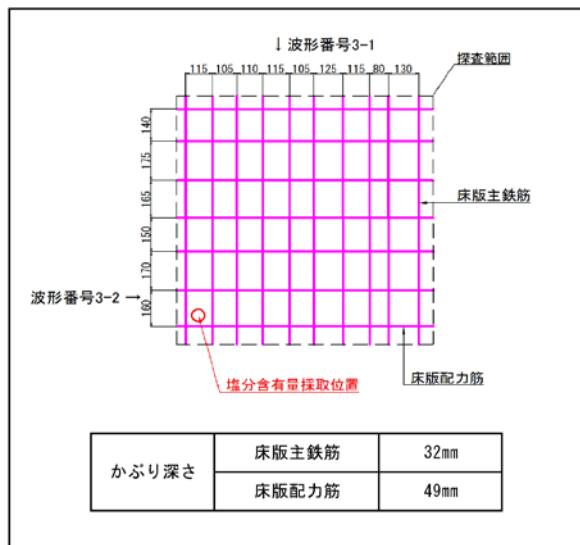
(3) コンクリート部材調査

1) 測定箇所(第3径間)

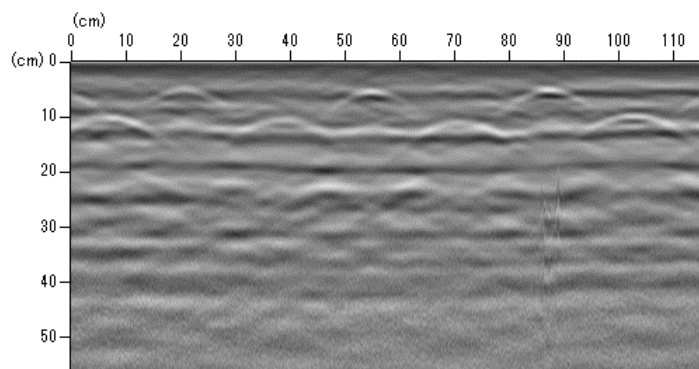


2) 鉄筋探査結果

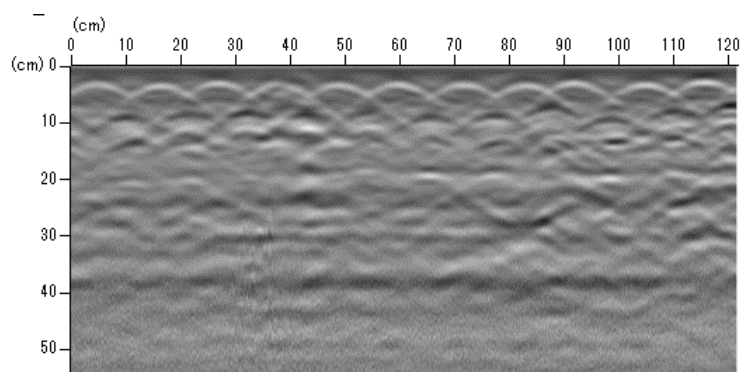
■鉄筋探査結果



■鉄筋探査箇所



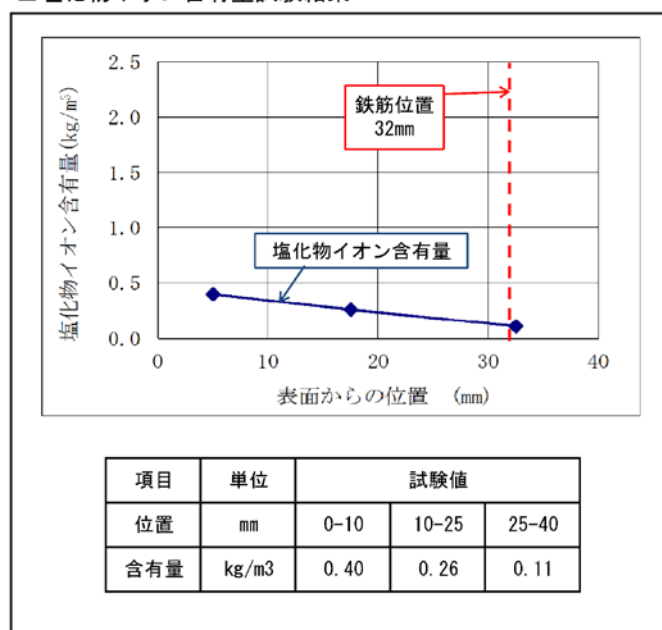
波形番号	3-1	探査位置	P2-A2間 床版
かぶり深さ	49mm	探査方向	橋軸直角
設計かぶり深さ		46mm	=30+16/2+16/2



波形番号	3-2	探査位置	P2-A2間 床版
かぶり深さ	32mm	探査方向	橋軸
設計かぶり深さ		30mm	-

3) 塩化物イオン含有量試験結果

■塩化物イオン含有量試験結果



塩化物イオン含有量試験結果表

工事名称	平成31年度 静清維持管内西部橋梁点検業務
採取場所	古川橋
試料の採取方法	ドリル粉末
分析方法	JIS A 1154 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法 (塩化物イオン電極を用いた電位差滴定法)

試料名	分析項目	試料採取位置		グラフ深度 (表面からの位置)
		表面	深さ	
古川橋 床版(第3径間)	単位容積質量 (kg/m³) *2	0	10	5
	Cl⁻ (%) *3	0.018	0.012	17.5
	Cl⁻ (kg/m³) *4	0.40	0.26	32.5
		< 0.005	< 0.11	
古川橋 P2橋脚	単位容積質量 (kg/m³) *2	0	20	10
	Cl⁻ (%) *3	0.052	0.037	30
	Cl⁻ (kg/m³) *4	1.14	0.81	50
		0.040	0.019	70
		0.019	0.005	90
古川橋 A2橋台	単位容積質量 (kg/m³) *2	0	20	10
	Cl⁻ (%) *3	0.009	0.013	30
	Cl⁻ (kg/m³) *4	0.20	0.29	50
		0.007	0.007	70
		< 0.005	< 0.11	90

・表中の「<」は表記している数値未満であることを示す。

備考

*1 試料は、上表に示す位置で採取したドリル粉末を分析した。

*2 単位容積質量は、2200kg/m³とした。
「コンクリート構造物の健全度診断マニュアル」P48参照

*3 Cl⁻の定量下限値は0.005%として分析した。

*4 塩化物イオン含有量の換算式

分析結果からコンクリート1.0m³中の塩化物イオン含有量を換算した。

$$Cl^- (kg/m^3) = \frac{Cl^- (\%)}{100} \times \text{単位容積質量} (kg/m^3)$$

4) 圧縮強度試験結果

■ 圧縮強度試験結果 (シュミットハンマー)

推定圧縮強度	53.6	N/mm ²
--------	------	-------------------

シュミットハンマーによる反発度試験結果

打撃回数	試験部位							試験部位	角度
	P2橋脚	A2橋台	P2-A2床版						
1	47	44	56					① P2橋脚	0°
2	52	45	58					② A2橋台	0°
3	53	52	57					③ P2-A2床版	+90°
4	48	* 37	60					④	0°
5	47	41	50					⑤	0°
6	53	43	61					⑥	0°
7	50	56	59					⑦	0°
8	51	52	62						
9	52	54	62						
10	53	48	58						
11	44	45	59						
12	54	56	62						
13	48	* 57	65						
14	50	38	57						
15	47	49	64						
16	55	* 58	61						
17	51	* 37	60						
18	42	47	65						
19	55	47	57						
20	54	43	60						
21(予備)	*	44	*	*	*	*	*		
22(予備)	*	55	*	*	*	*	*		
23(予備)	*	38	*	*	*	*	*		
24(予備)	*	47	*	*	*	*	*		
25(予備)	*	*	*	*	*	*	*		
測定反発度(平均値) R	50.3	47.2	59.7					①	
補正值 ΔR _イ								② _イ	
補正值 ΔR _ロ	---	---	-3.3	---	---	---	---	② _ロ	
補正值 ΔR			-3.3					② = ② _イ +② _ロ	
基準反発度 R ₀	50.3	47.2	56.4					③ = ①+②	
圧縮強度 (N/mm ²)	45.9	41.9	53.6					④ = -18.0+1.27×③	

* 測定反発度の算出に当たっては偏差が平均値の±20%以上となる値は除外して計算を行った。

圧縮推定に用いた式 $F_c = -18.0 + 1.27 \times R_0$ (日本材料学会式)

$R_0 = R + \Delta R$ $\Delta R = \Delta R_{イ} + \Delta R_{ロ}$

F_c: 推定圧縮強度 (N/mm²)

R: 基準反発度

R: 測定反発度(平均値)

ΔR: 補正值

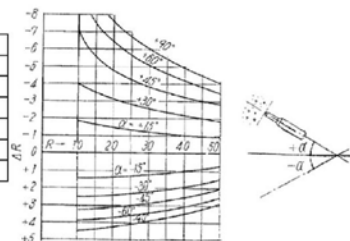
表1 補正值 ΔR_イ 含水状態補正表

乾燥している場合	0
湿っており打撃跡が黒点になる場合	+3
濡れている場合	+5

表2 補正值 ΔR_ロ 打撃角度補正表

反発度 R	打撃角度に対する補正值 (ΔR _ロ)			
	+90°	+45°	-45°	-90°
10	-	-7.0	+3.3	+4.5
20	-7.6	-4.8	+3.1	+4.3
30	-6.0	-3.8	+2.9	+3.9
40	-4.9	-3.2	+2.5	+3.5
50	-4.1	-2.8	+2.0	+2.9

打撃方向が水平でなかった場合、ΔR_ロはその傾斜角度に応じて表2から求める。尚、表示以外の角度および反発値は比例等分する。



5) ひびわれ深さ測定結果

■ ひび割れ深さ測定結果

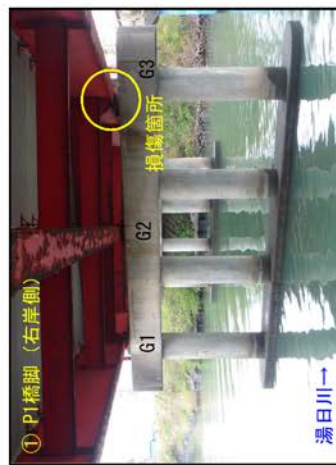
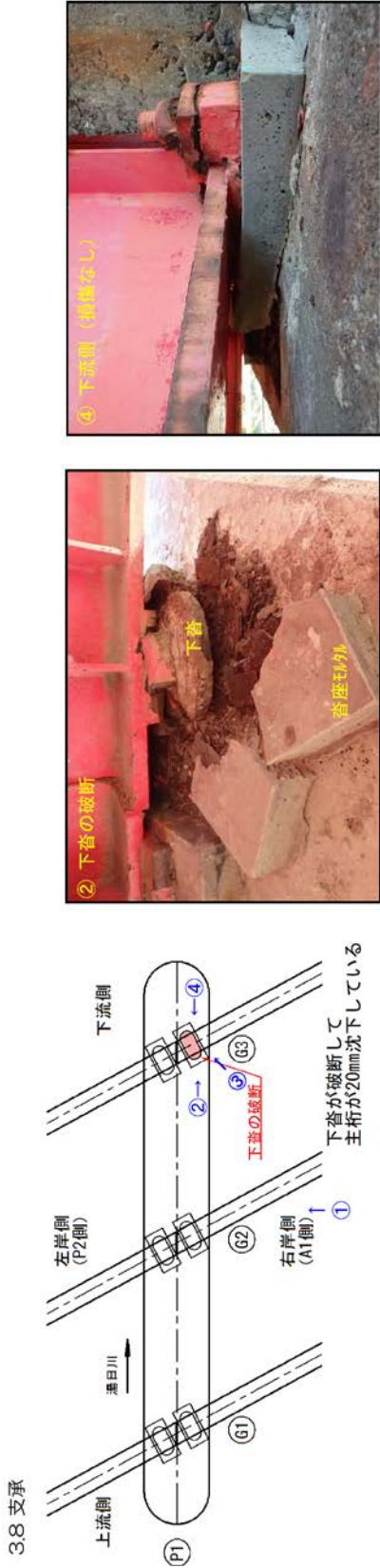
(単位 : mm)

No	ひび割れ幅	ひび割れ深さ			
		1回目	2回目	3回目	平均
①	0.20	80	84	74	79.3
②	0.25	53	56	55	54.7
③	0.20	46	44	40	43.3
④	0.30	98	94	94	95.3
備考		床版厚 : t=160mm 下面鉄筋かぶり : t=32mm (探査結果)			

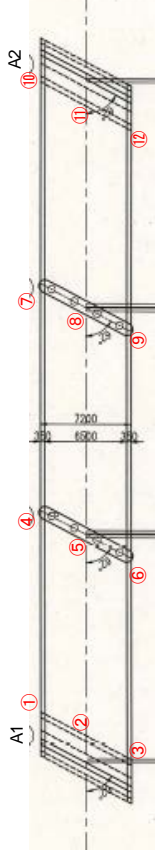
5.2.4 支承の状況

(1) 近接目視

1) 腐食



支那写真



① 腐食・U部割れ



④ A2側 腐食



⑦ A1側 腐食



⑩ 台座Co 破損



② 腐食



⑤ A2側 腐食



⑧ A1側 台座うき



⑪ 腐食



③ 台座破損・腐食



⑥ A1側 沓破損・桁沈下(20mm)



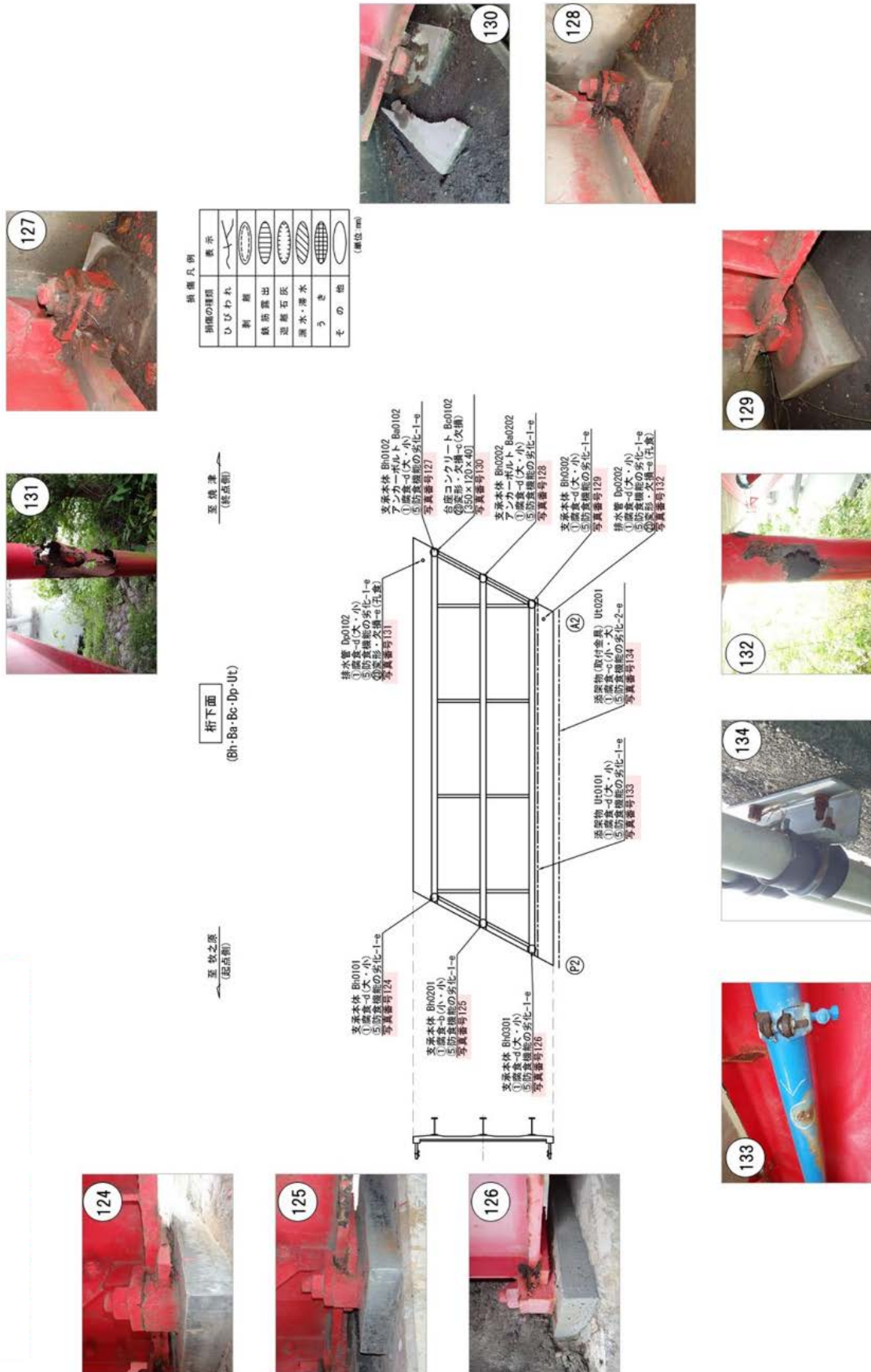
⑨ A1側 台座うき



⑫ 腐食

2) 損傷図

第1径間と第2径間の支承の損傷図は5.2.1 (1) 4) を参照。

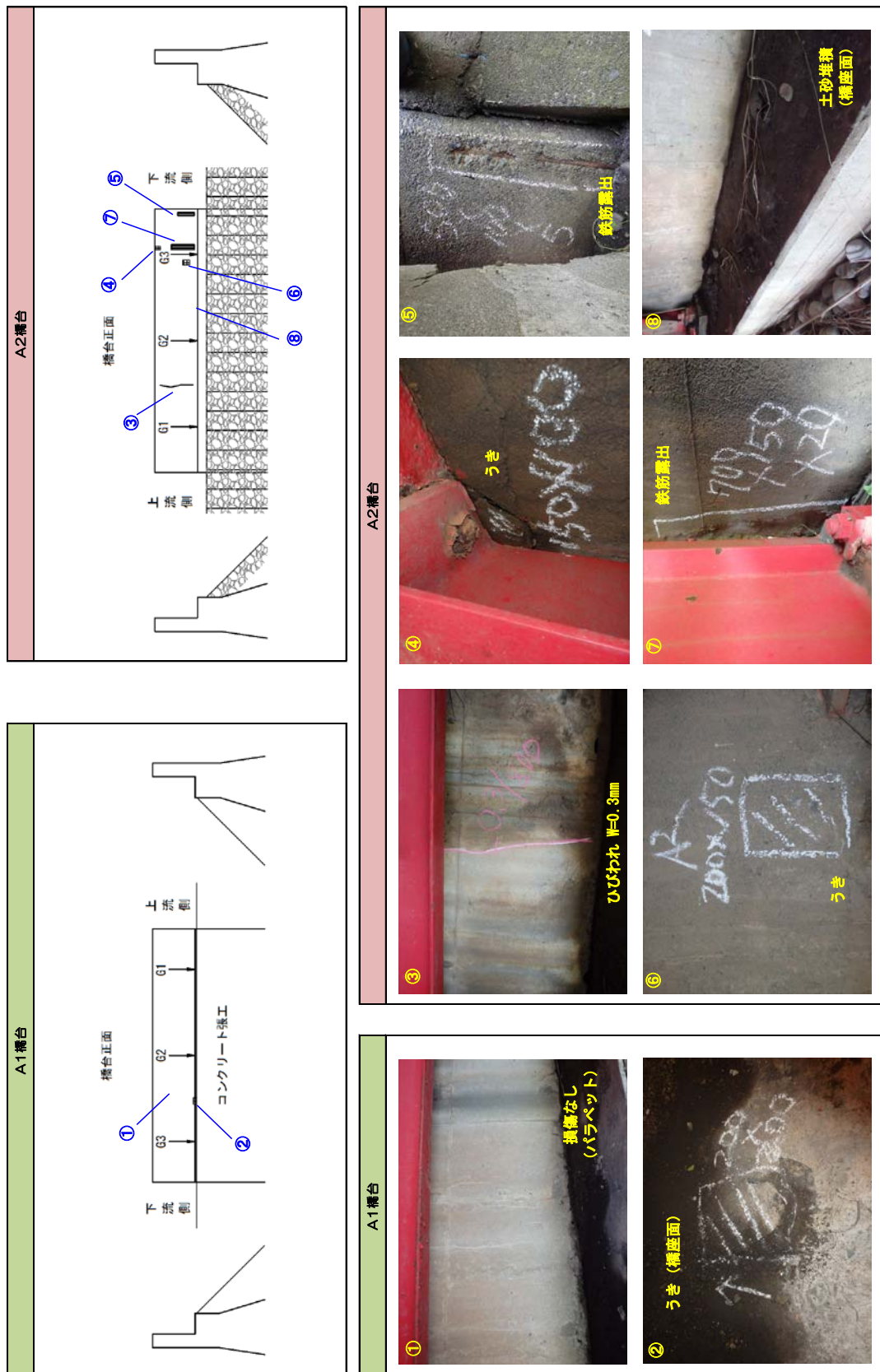


5.3 下部構造

5.3.1 橋台の状況

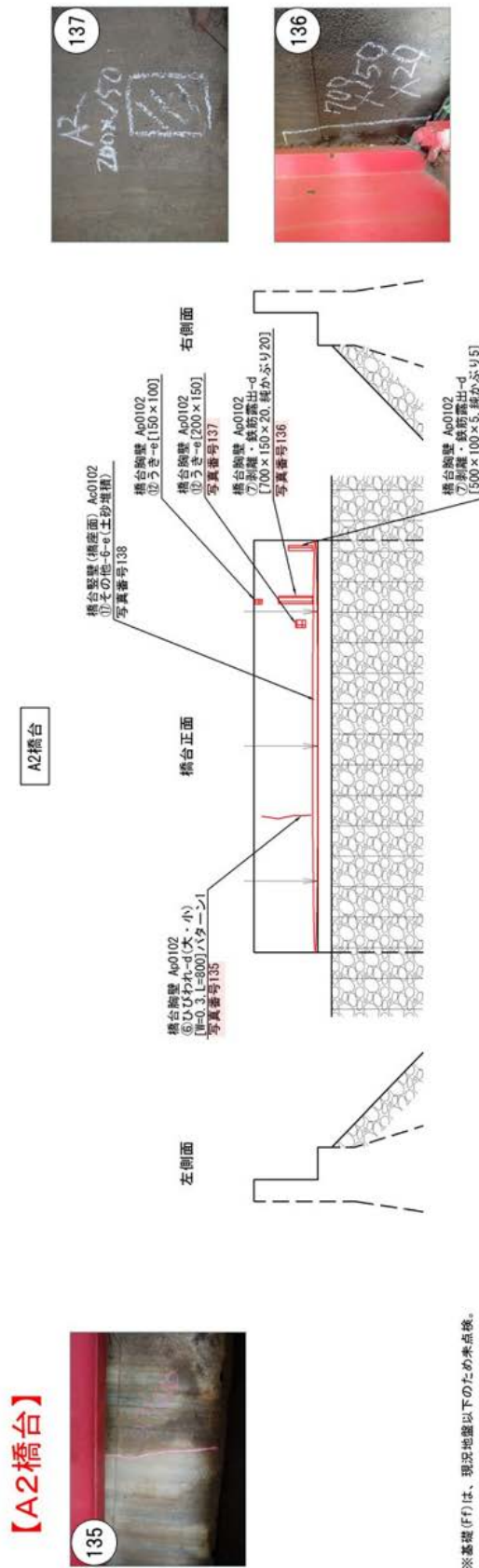
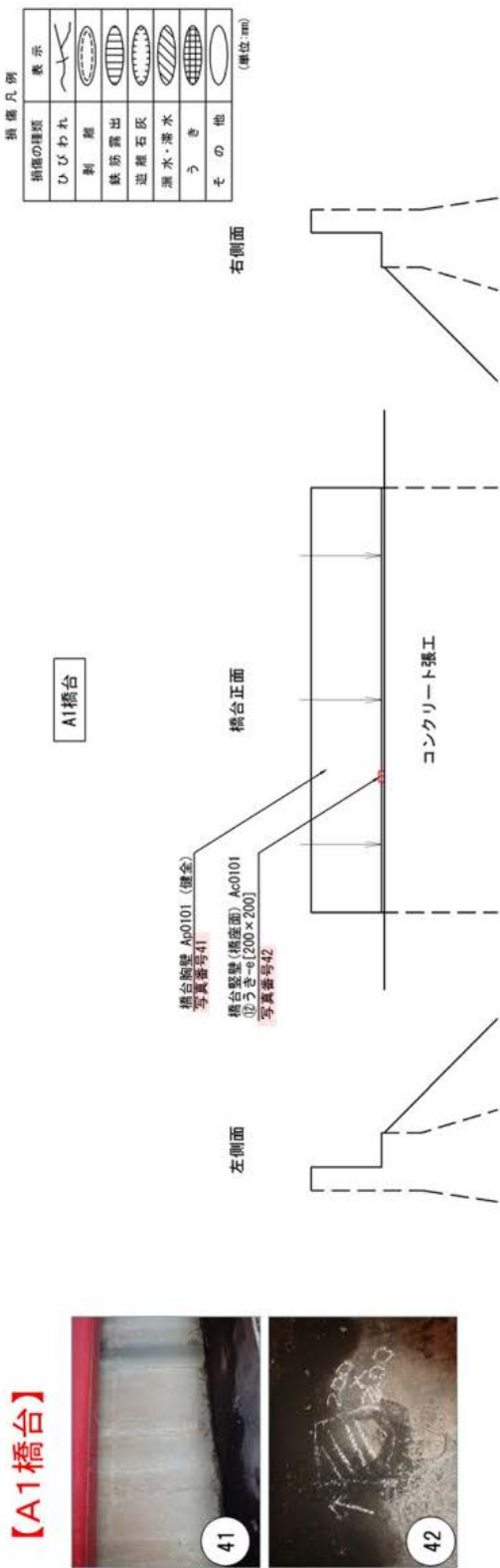
(1) 近接目視

1) ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき



※赤色のチョーキングは、0.2mm以上のひびわれを示す

2) 損傷図

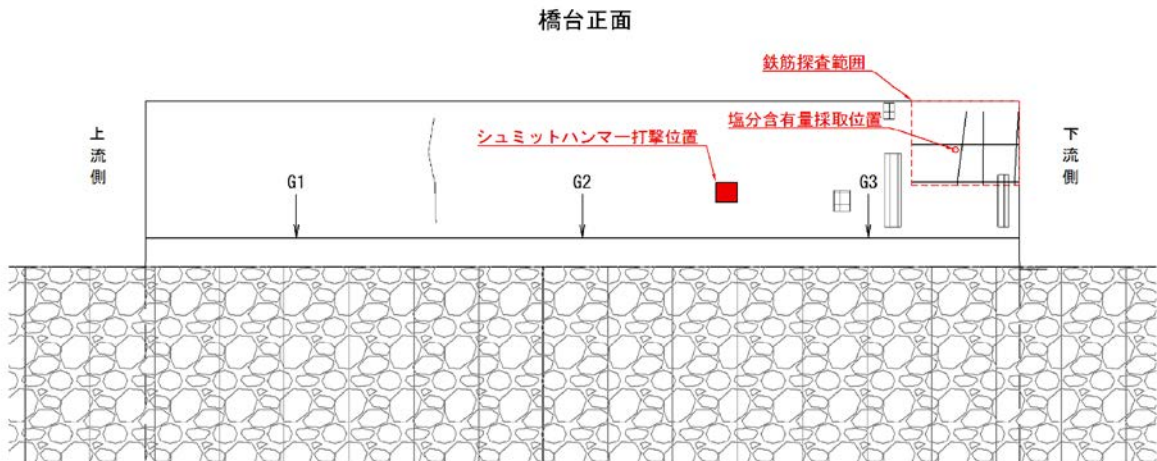


※基礎(Ff)は、現況地盤以下のため水点後。

(2) コンクリート部材調査 (A2 橋台)

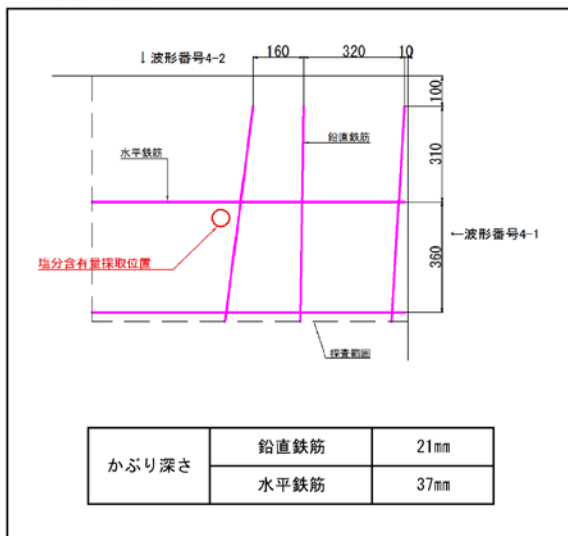
1) 測定箇所

■測定箇所図



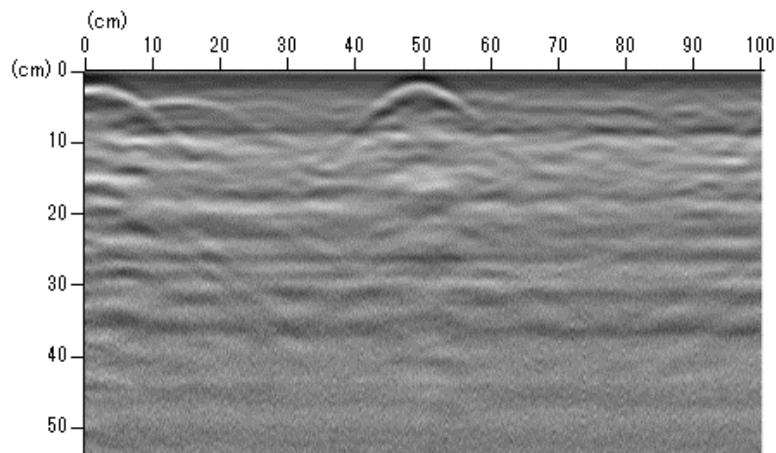
2) 鉄筋探査結果

■鉄筋探査結果

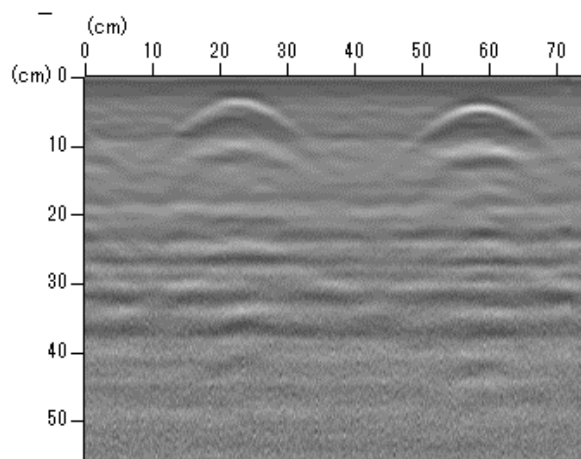


■鉄筋探査箇所





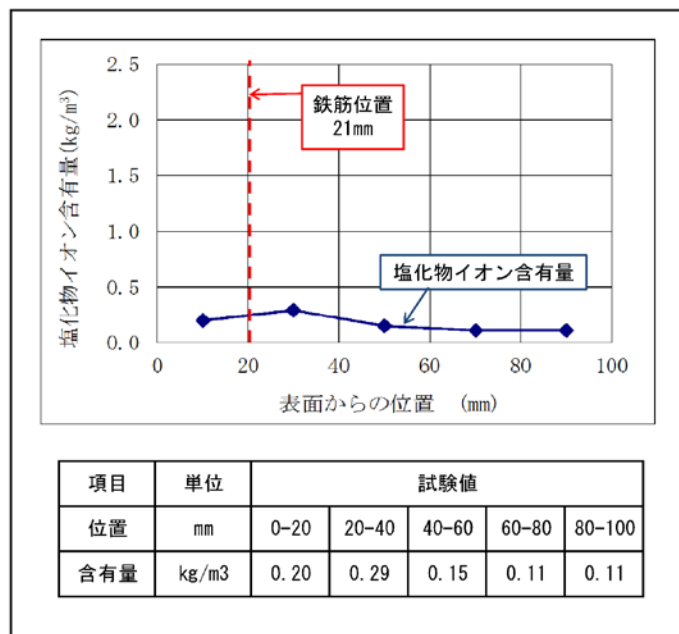
波形番号	4-1	探査位置	A2パラペット
かぶり深さ	21mm	探査方向	左右
設計かぶり深さ		50mm	-



波形番号	4-2	探査位置	A2パラペット
かぶり深さ	37mm	探査方向	上下
設計かぶり深さ		61mm	$=50+13/2+9/2$

3) 塩化物イオン含有量試験結果

■塩化物イオン含有量試験結果



塩化物イオン含有量試験結果表

工事名称	平成31年度 静岡維持管内西部橋梁点検業務
採取場所	古川橋
試料の採取方法	ドリル粉末
分析方法	JIS A 1154 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法 (塩化物イオン電極を用いた電位差滴定法)

試料名	*1	分析項目			試料採取位置	グラフ深度 (表面からの位置)
		単位容積質量 (kg/m³) *2	Cl⁻ (%) *3	Cl⁻ (kg/m³) *4		
古川橋 床版(第3径間)	表面 ~ 10mm	2200	0.018	0.40	0	5
	10 ~ 25mm		0.012	0.26	10	17.5
	25 ~ 40mm		< 0.005	< 0.11	25	32.5
古川橋 P2橋脚	表面 ~ 20mm	2200	0.052	1.14	0	10
	20 ~ 40mm		0.037	0.81	20	30
	40 ~ 60mm		0.040	0.88	40	50
	60 ~ 80mm		0.019	0.42	60	70
	80 ~ 100mm		0.005	0.11	80	90
古川橋 A2橋台	表面 ~ 20mm	2200	0.009	0.20	0	10
	20 ~ 40mm		0.013	0.29	20	30
	40 ~ 60mm		0.007	0.15	40	50
	60 ~ 80mm		< 0.005	< 0.11	60	70
	80 ~ 100mm		< 0.005	< 0.11	80	90

・表中の「<」は表記している数値未満であることを示す。

備考

*1 試料は、上表に示す位置で採取したドリル粉末を分析した。

*2 単位容積質量は、2200kg/m³とした。
「コンクリート構造物の健全度診断マニュアル」P48参照

*3 Cl⁻の定量下限値は0.005%として分析した。

*4 塩化物イオン含有量の換算式

分析結果からコンクリート1.0m³中の塩化物イオン含有量を換算した。

$$\text{Cl}^- (\text{kg}/\text{m}^3) = \frac{\text{Cl}^- (\%) \times \text{単位容積質量} (\text{kg}/\text{m}^3)}{100}$$

4) 圧縮強度試験結果

■ 圧縮強度試験結果 (シュミットハンマー)

推定圧縮強度 41.9 N/mm ²

シュミットハンマーによる反発度試験結果

打撃回数	試験部位			試験部位	角度
	P2橋脚	A2橋台	P2-A2床版		
1	47	44	56		
2	52	45	58		
3	53	52	57		
4	48	* 37	60		
5	47	41	50		
6	53	43	61		
7	50	56	59		
8	51	52	62		
9	52	54	62		
10	53	48	58		
11	44	45	59		
12	54	56	62		
13	48	* 57	65		
14	50	38	57		
15	47	49	64		
16	55	* 58	61		
17	51	* 37	60		
18	42	47	65		
19	55	47	57		
20	54	43	60		
21(予備)	*	44	* * * *		
22(予備)	*	55	* * * *		
23(予備)	*	38	* * * *		
24(予備)	*	47	* * * *		
25(予備)	*	*	* * * *		
測定反発度(平均値) R	50.3	47.2	59.7		
補正值 ΔR _イ					①
補正值 ΔR _ロ	---	---	-3.3	---	②イ
補正值 ΔR			-3.3		②ロ
基準反発度 R ₀	50.3	47.2	56.4		② = ②イ + ②ロ
圧縮強度 (N/mm ²)	45.9	41.9	53.6		③ = ① + ②
					④ = -18.0 + 1.27 × ③

* 測定反発度の算出に当たっては偏差が平均値の±20%以上となる値は除外して計算を行った。

圧縮推定に用いた式 $F_c = -18.0 + 1.27 \times R_0$ (日本材料学会式)

$$R_0 = R + \Delta R \quad \Delta R = \Delta R_{イ} + \Delta R_{ロ}$$

F_c: 推定圧縮強度(N/mm²)

R₀: 基準反発度

R: 測定反発度(平均値)

ΔR: 補正值

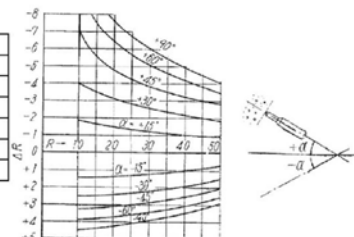
表1 補正值 ΔR_イ 含水状態補正表

乾燥している場合	0
湿っており打撃跡が黒点になる場合	+3
濡れている場合	+5

表2 補正值 ΔR_ロ 打撃角度補正表

反発度 R	打撃角度に対する補正值 (ΔR _ロ)		
	+90°	+45°	-45° -90°
10	-	-7.0	+3.3 +4.5
20	-7.6	-4.8	+3.1 +4.3
30	-6.0	-3.8	+2.9 +3.9
40	-4.9	-3.2	+2.5 +3.5
50	-4.1	-2.8	+2.0 +2.9

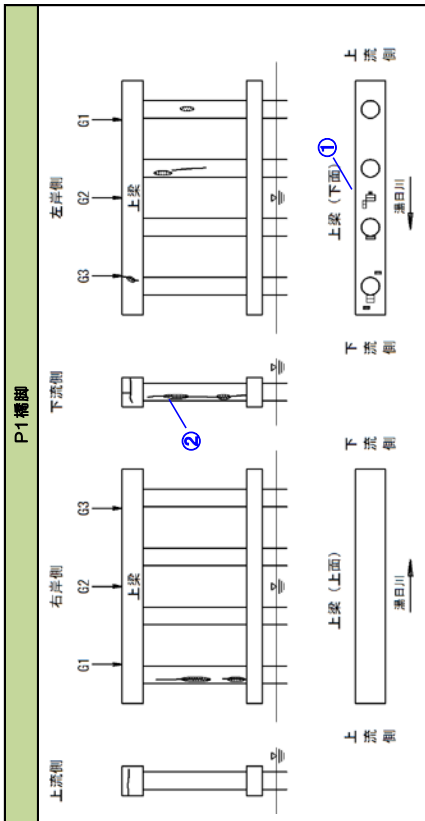
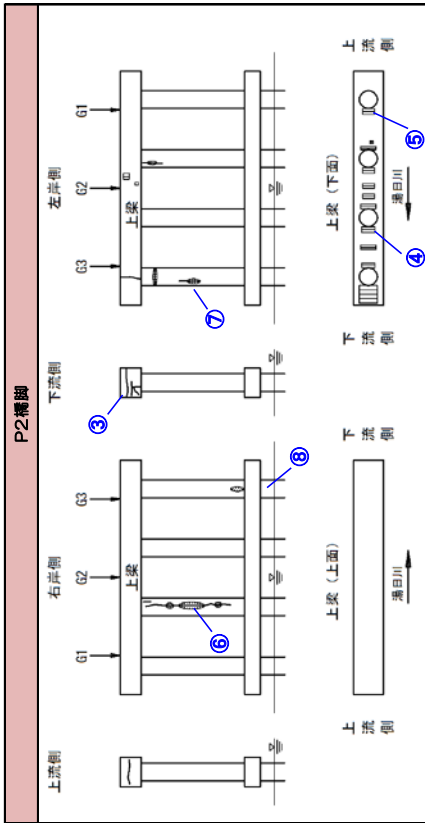
打撃方向が水平でなかった場合、ΔR_ロはその傾斜角度に応じて表2から求める。尚、表示以外の角度および反発度は比例等分する。



5.3.2 橋脚の状況

(1) 近接目視

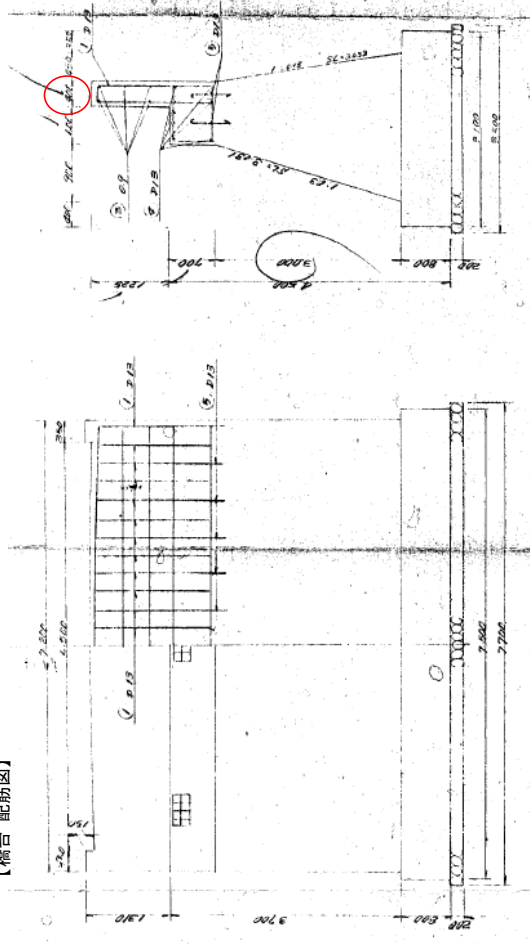
1) ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき



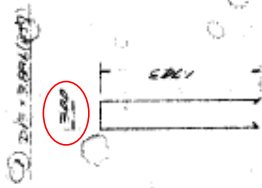
※赤色のチョーキングは、0.2mm以上のひびわれを示す

(参考資料：S42竣工図から抜粋)

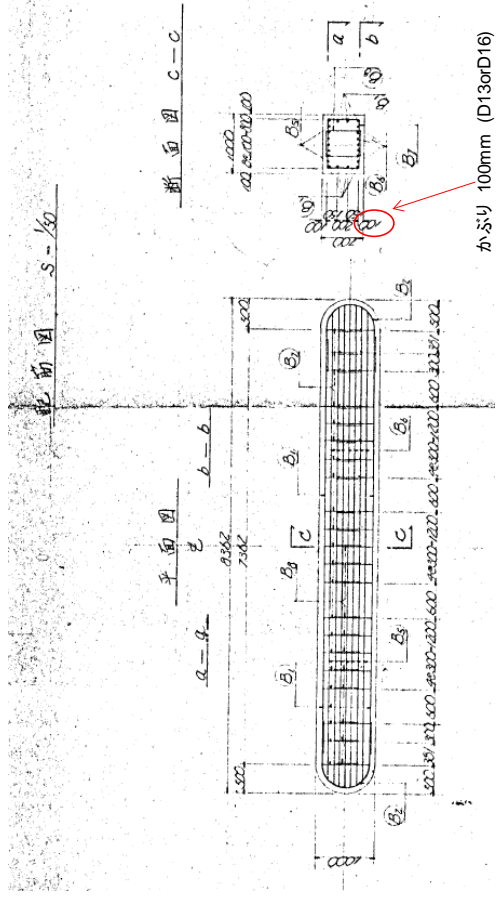
【橋台配筋図】



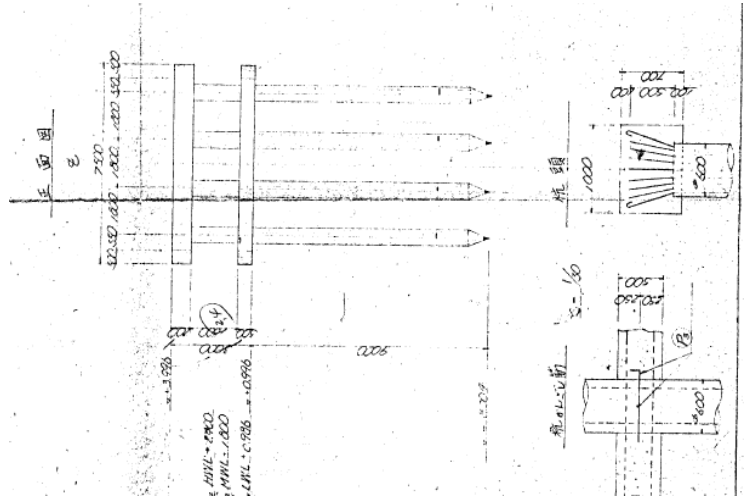
バラベットの幅: 400mm
鉄筋長さ: 300mm (D13)
⇒ かぶり 50mm



【橋脚配筋図】



かぶり 100mm (D13 or D16)



【P1 橋脚】

2) 損傷図



損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・滲水	
うき	
その他	

(単位:mm)

※特記なき損傷は以下のとおり
 橋脚梁部 P#0102: ⑦剥離・鉄筋露出-d
 橋脚柱部・壁部 P#0102: ⑧漏水・遊離石灰-d

橋脚梁部 P#0102
 (W=0.4)ハタケ-その他
 写真番号44

橋脚柱部・壁部 P#0102
 (W=0.2)ハタケ-その他
 ⑧漏水・遊離石灰-d
 写真番号43

橋脚梁部 P#0102
 (W=0.2)ハタケ-その他
 ⑧漏水・遊離石灰-d
 写真番号45

橋脚柱部・壁部 P#0102
 (W=0.2)ハタケ-その他
 ⑧漏水・遊離石灰-d
 写真番号43

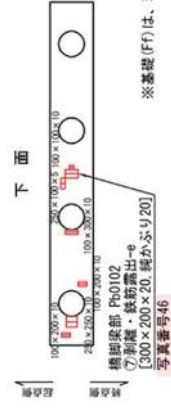
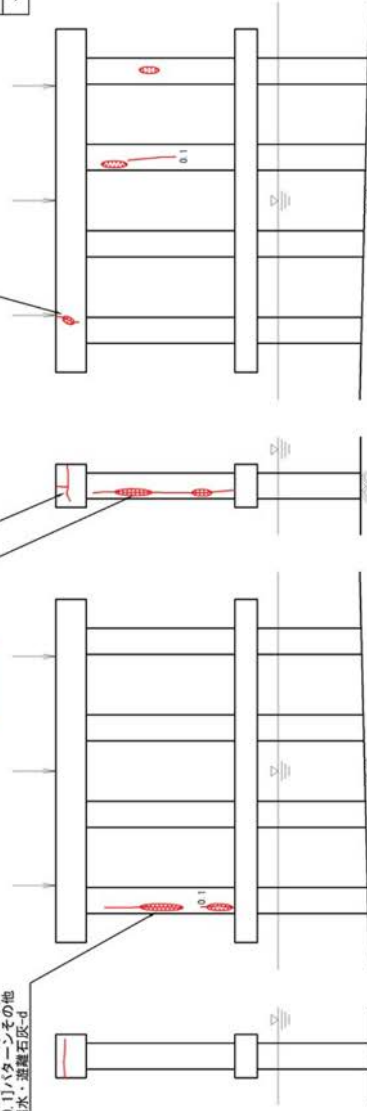
橋脚柱部・壁部 P#0102
 (W=0.2)ハタケ-その他
 ⑧漏水・遊離石灰-d
 写真番号45

起点より左側
 橋脚柱部・壁部 P#0102
 (W=0.1)ハタケ-その他
 ⑧漏水・遊離石灰-d

起点側

起点より右側

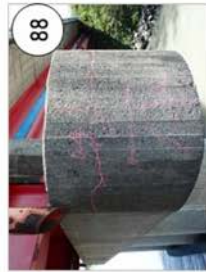
終点側



※基礎(FF)は、現況地盤以下のため未点検。



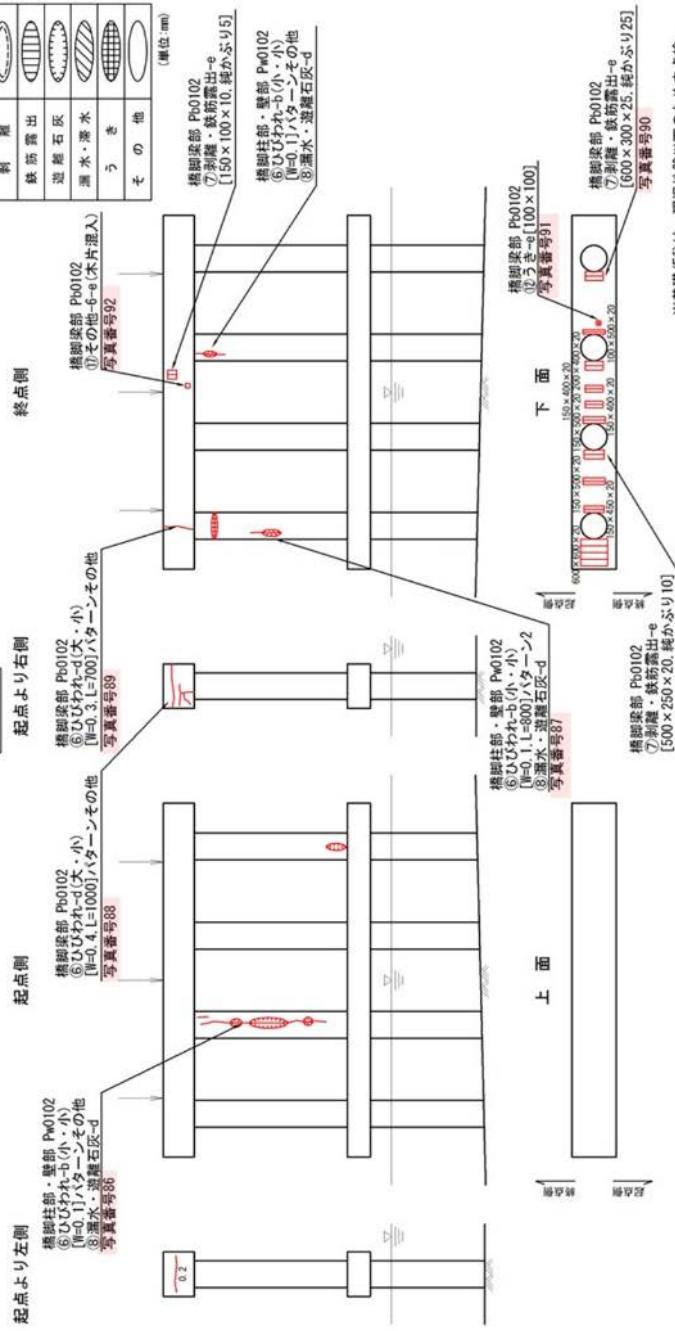
【P2橋脚】



※特記なき損傷は以下のとおり
 橋脚梁部 Pw0102 : ⑦剥離・鉄筋露出-e
 橋脚柱部・壁部 Pw0102 : ⑧漏水・遊離石灰-d

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・漏水	
うき	
その他	

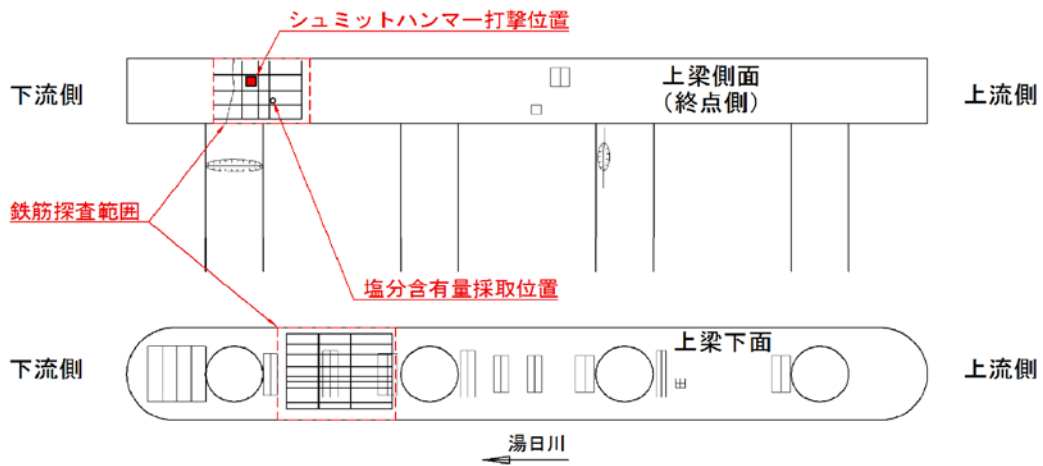
(単位:mm)



(2) コンクリート部材調査 (P2 橋脚)

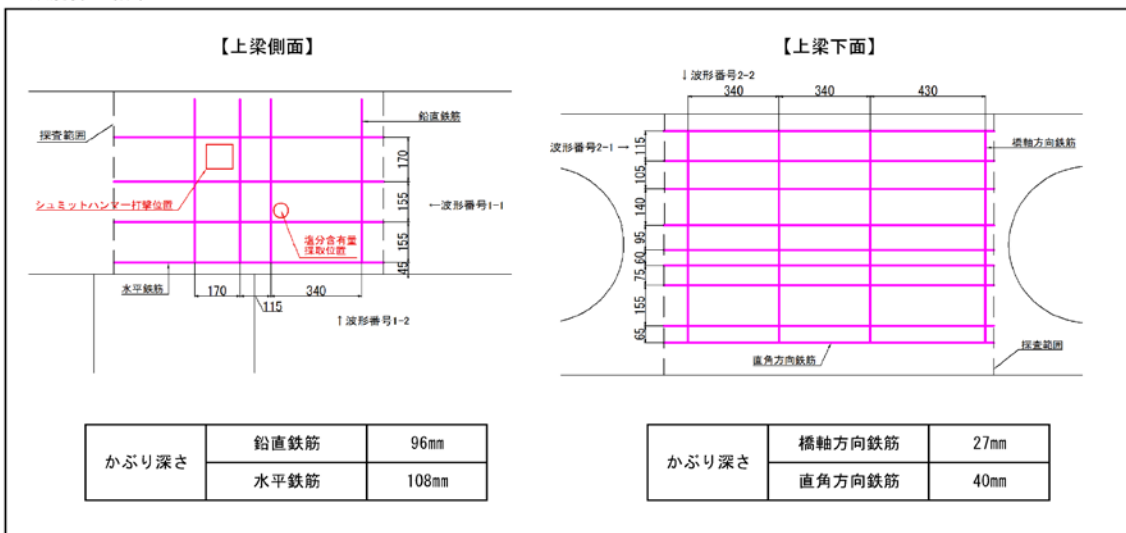
1) 測定箇所

■測定箇所図



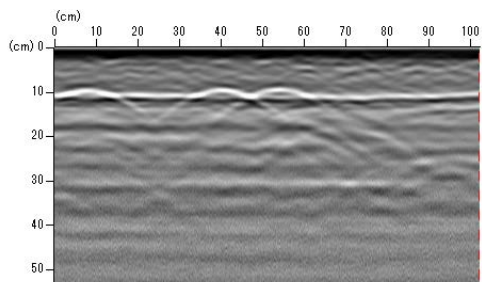
2) 鉄筋探査結果

■鉄筋探査結果

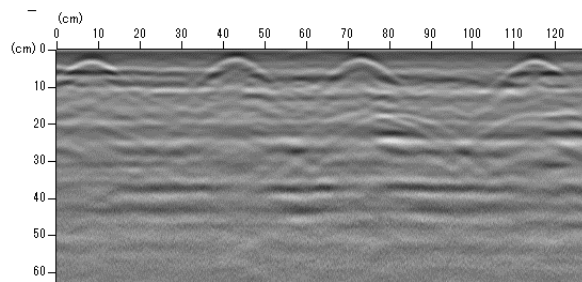


■鉄筋探査箇所

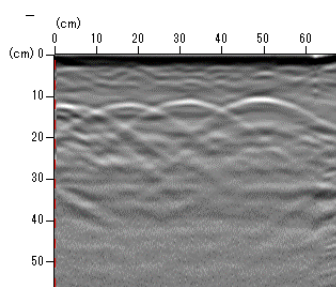




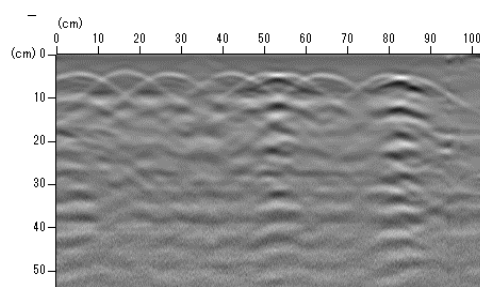
波形番号	1-1	探査位置	P2上梁側面(終点側)
かぶり深さ	96mm	探査方向	左右
設計かぶり深さ	100mm		-



波形番号	2-1	探査位置	P2上梁下面
かぶり深さ	27mm	探査方向	橋軸直角
設計かぶり深さ	100mm		-



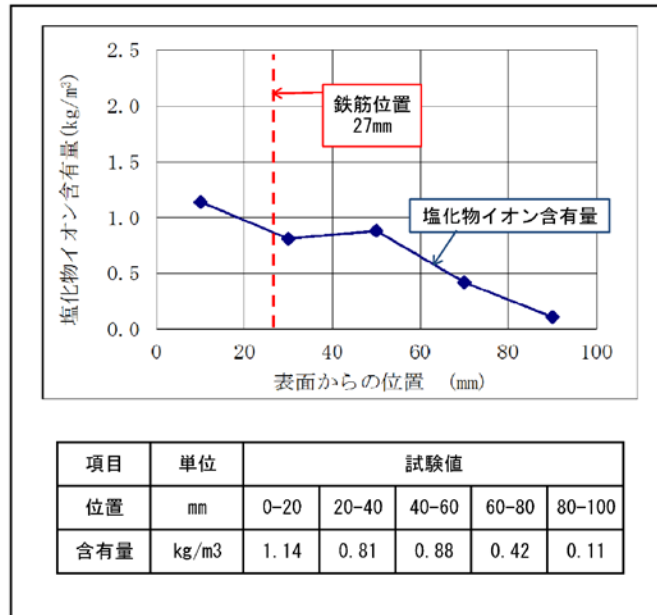
波形番号	1-2	探査位置	P2上梁側面(終点側)
かぶり深さ	108mm	探査方向	上下
設計かぶり深さ	116mm		=100+13/2+19/2



波形番号	2-2	探査位置	P2上梁下面
かぶり深さ	40mm	探査方向	橋軸
設計かぶり深さ	114.5mm		=100+13/2+16/2

3) 塩化物イオン含有量試験結果

■塩化物イオン含有量試験結果



塩化物イオン含有量試験結果表

工事名称	平成31年度 静岡維持管内西部橋梁点検業務
採取場所	古川橋
試料の採取方法	ドリル粉末
分析方法	JIS A 1154 硬化コンクリートに含まれる塩化物イオンの試験方法 (塩化物イオン電極を用いた電位差滴定法)

試料名	*1	分析項目			試料採取位置	グラフ深度 (表面からの位置)
		単位容積質量 (kg/m³) *2	Cl⁻ (%) *3	Cl⁻ (kg/m³) *4		
古川橋 床版(第3径間)	表面 ~ 10mm	2200	0.018	0.40	0	5
	10 ~ 25mm		0.012	0.26	10	17.5
	25 ~ 40mm		< 0.005	< 0.11	25	32.5
古川橋 P2橋脚	表面 ~ 20mm	2200	0.052	1.14	0	10
	20 ~ 40mm		0.037	0.81	20	30
	40 ~ 60mm		0.040	0.88	40	50
	60 ~ 80mm		0.019	0.42	60	70
	80 ~ 100mm		0.005	0.11	80	90
古川橋 A2橋台	表面 ~ 20mm	2200	0.009	0.20	0	10
	20 ~ 40mm		0.013	0.29	20	30
	40 ~ 60mm		0.007	0.15	40	50
	60 ~ 80mm		< 0.005	< 0.11	60	70
	80 ~ 100mm		< 0.005	< 0.11	80	90

・表中の「<」は表記している数値未満であることを示す。

備考

*1 試料は、上表に示す位置で採取したドリル粉末を分析した。

*2 単位容積質量は、2200kg/m³とした。
「コンクリート構造物の健全度診断マニュアル」P48参照

*3 Cl⁻の定量下限値は0.005%として分析した。

*4 塩化物イオン含有量の換算式

分析結果からコンクリート1.0m³中の塩化物イオン含有量を換算した。

$$\text{Cl}^- (\text{kg/m}^3) = \frac{\text{Cl}^- (\%)}{100} \times \text{単位容積質量} (\text{kg/m}^3)$$

4) 圧縮強度試験結果

■ 圧縮強度試験結果 (シュミットハンマー)

推定圧縮強度 45.9 N/mm ²

シュミットハンマーによる反発度試験結果

打撃回数	試験部位							試験部位	角度
	P2橋脚	A2橋台	P2-A2床版						
1	47	44	56					① P2橋脚	0°
2	52	45	58					② A2橋台	0°
3	53	52	57					③ P2-A2床版	+90°
4	48	* 37	60					④	0°
5	47	41	50					⑤	0°
6	53	43	61					⑥	0°
7	50	56	59					⑦	0°
8	51	52	62						
9	52	54	62						
10	53	48	58						
11	44	45	59						
12	54	56	62						
13	48	* 57	65						
14	50	38	57						
15	47	49	64						
16	55	* 58	61						
17	51	* 37	60						
18	42	47	65						
19	55	47	57						
20	54	43	60						
21(予備)	*	44	*	*	*	*	*		
22(予備)	*	55	*	*	*	*	*		
23(予備)	*	38	*	*	*	*	*		
24(予備)	*	47	*	*	*	*	*		
25(予備)	*	*	*	*	*	*	*		
測定反発度(平均値) R_0	50.3	47.2	59.7					①	
補正值 ΔR_{α}								② _イ	
補正值 ΔR_{β}	---	---	-3.3	---	---	---	---	② _ロ	
補正值 ΔR			-3.3					② = ② _イ + ② _ロ	
基準反発度 R_0	50.3	47.2	56.4					③ = ① + ②	
圧縮強度 (N/mm ²)	45.9	41.9	53.6					④ = -18.0 + 1.27 × ③	

* 測定反発度の算出に当たっては偏差が平均値の±20%以上となる値は除外して計算を行った。

圧縮推定に用いた式 $F_c = -18.0 + 1.27 \times R_0$ (日本材料学会式)

$$R_0 = R + \Delta R \quad \Delta R = \Delta R_{\alpha} + \Delta R_{\beta}$$

F_c : 推定圧縮強度 (N/mm²)

R_0 : 基準反発度

R : 測定反発度 (平均値)

ΔR : 補正值

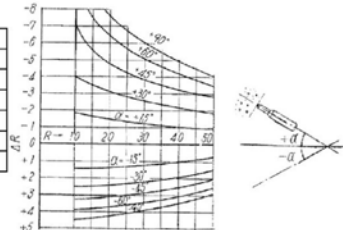
表1 補正值 ΔR_{α} 含水状態補正表

乾燥している場合	0
湿っており打撃跡が黒点になる場合	+3
濡れている場合	+5

表2 補正值 ΔR_{β} 打撃角度補正表

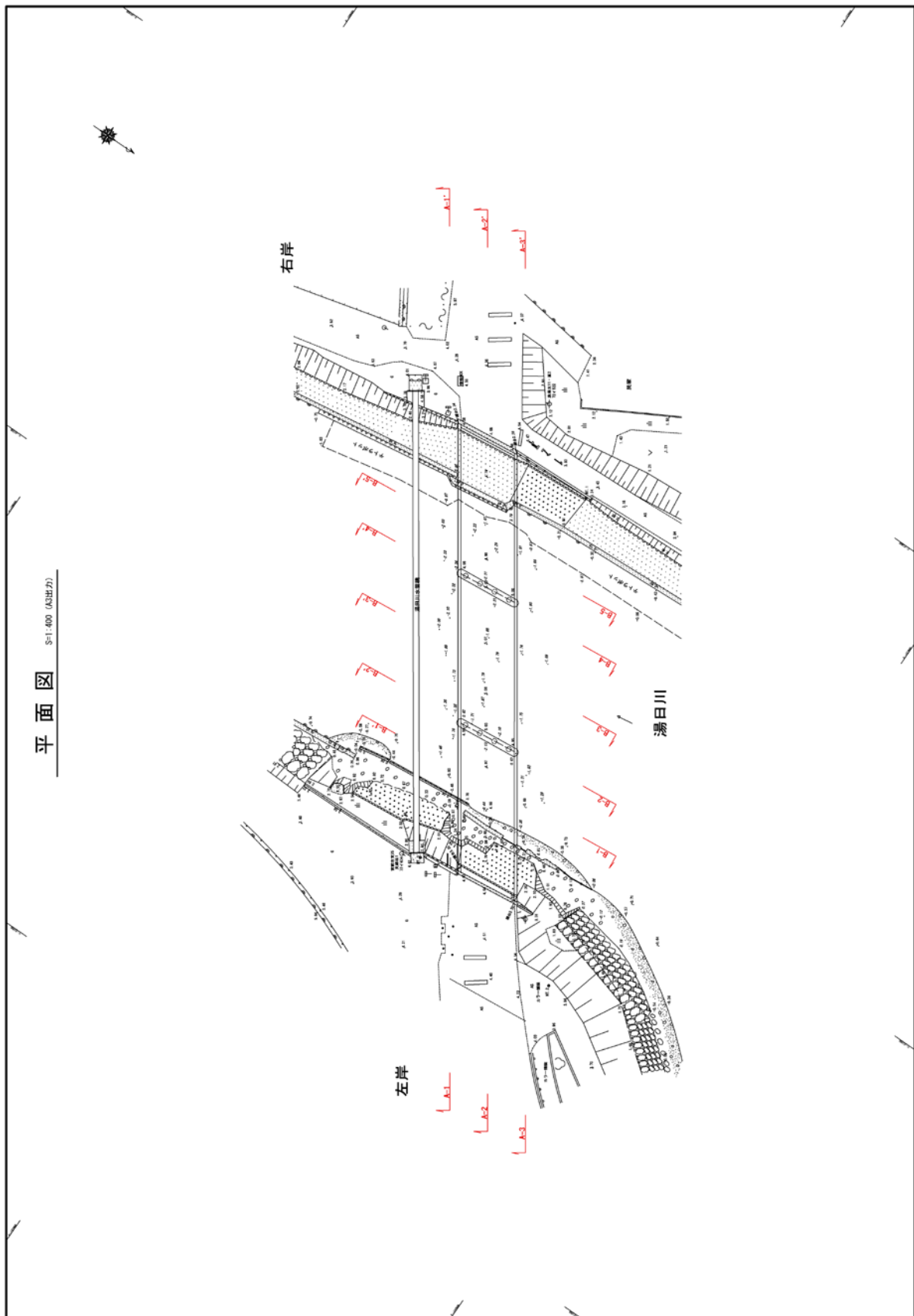
反発度 R	打撃角度に対する補正值 (ΔR_{β})			
	+90°	+45°	-45°	-90°
10	-	-7.0	+3.3	+4.5
20	-7.6	-4.8	+3.1	+4.3
30	-6.0	-3.8	+2.9	+3.9
40	-4.9	-3.2	+2.5	+3.5
50	-4.1	-2.8	+2.0	+2.9

打撃方向が水平でなかった場合、 ΔR_{β} はその傾斜角度に応じて表2から求める。尚、表示以外の角度および反発度は比例等分する。



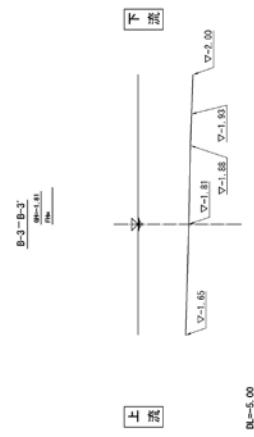
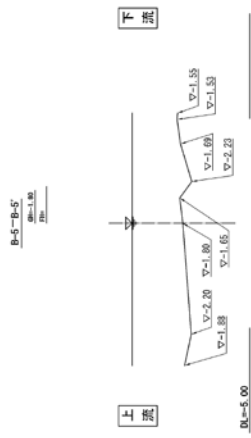
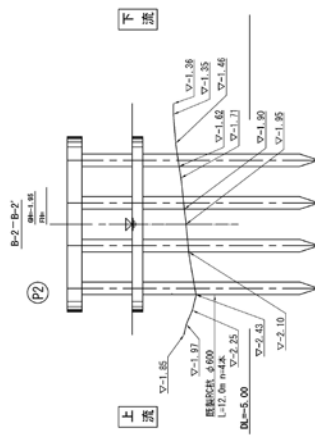
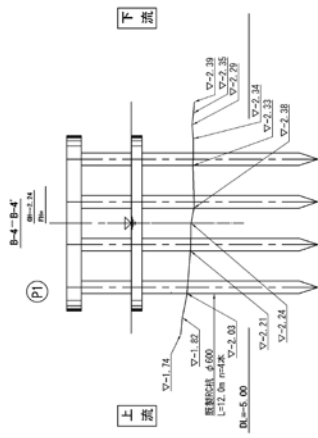
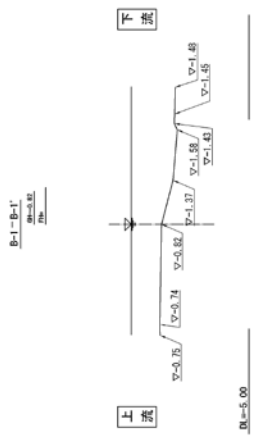
5.4 橋梁周辺

5.4.1 洗掘の調査（測量）



河川縦断面
(道路横断方向)

S=1/200 (83出力)



5.4.2 護岸の状況（近接目視）



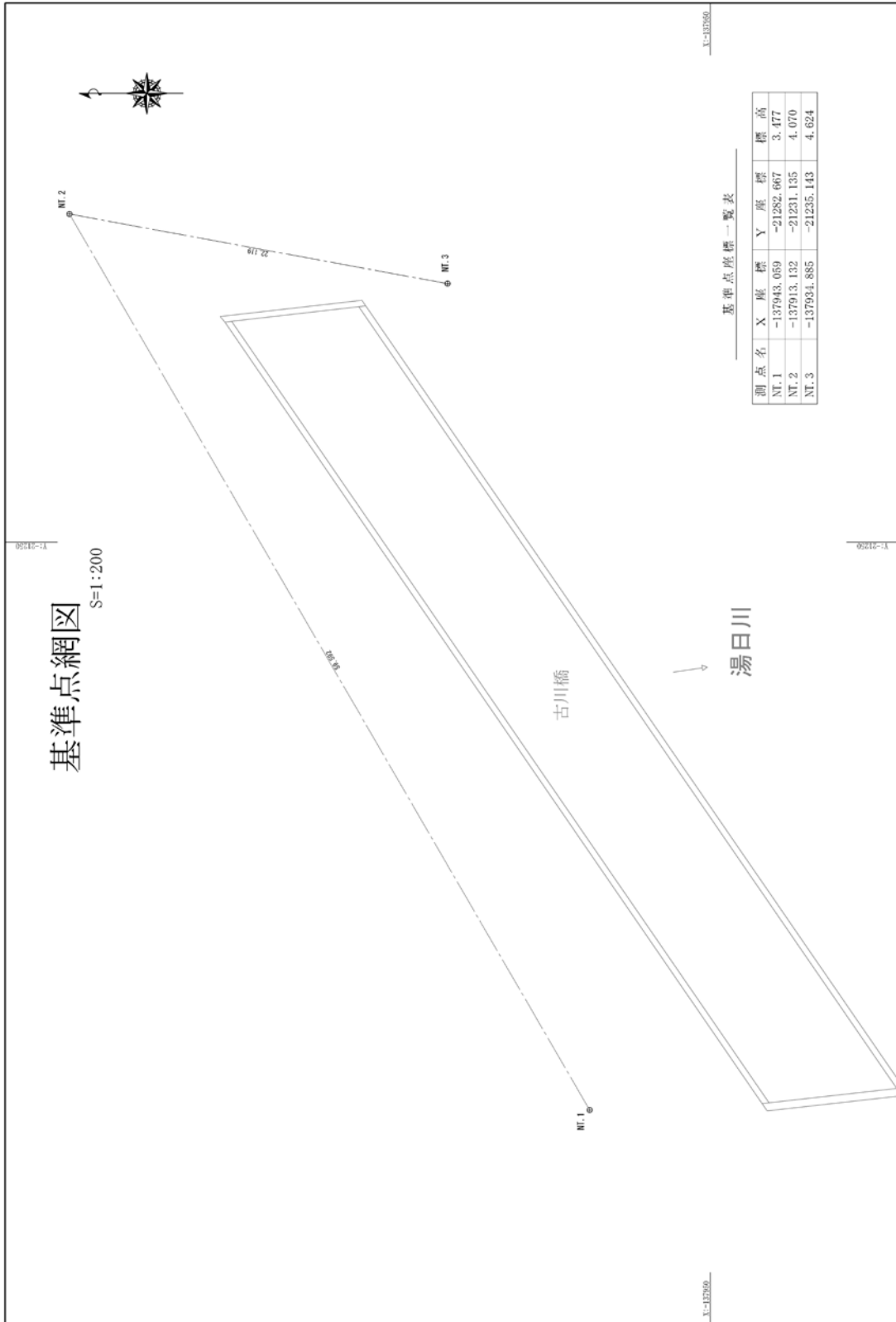
コンクリート矢板に欠損が発生している

6. 参考資料

6.1 測量成果簿

4 級 基 準 点 測 量

基 準 点 網 図

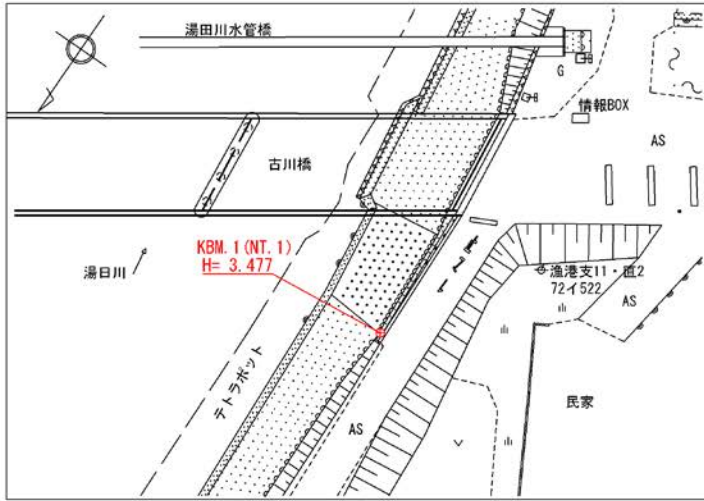


基 準 点 座 標 計 算 書

放 射 測 量 計 算 書

路線名 : NT.3									
器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	測点名	逆算方向角	逆算距離
NT.2	NT.1		239-51-15		-137913.132	-21231.135	NT.2		
NT.2	NT.3	310-35-04	190-26-19	22.119	-137934.885	-21235.143	NT.3	190-26-19	22.119

点 の 記



No. _____

KBM.1 (NT.1)
 標高の基準
 H= 3.477

X= -137943.059

Y= -21282.667

金属鈹



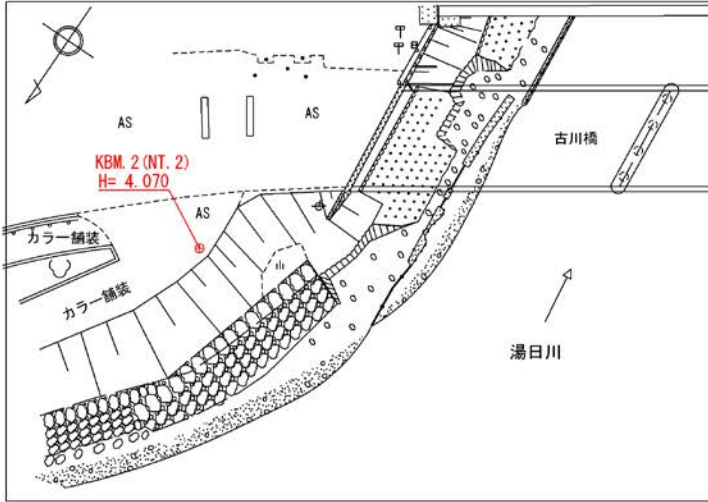
No. _____

近景



No. _____

遠景



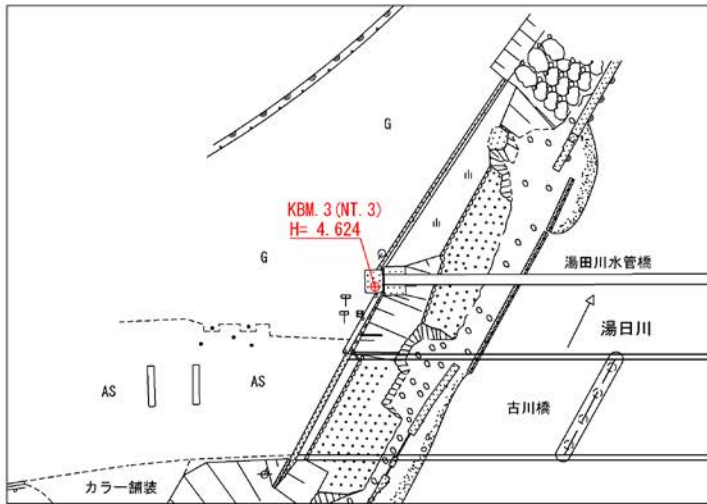
No. _____
 KBM. 2 (NT. 2)
 H= 4.070
 X= -137913.132
 Y= -21231.135
 金属紙



No. _____
 近景



No. _____
 遠景



No. _____
KBM. 3 (NT. 3)
H= 4.624
X= -137934.885
Y= -21235.143
金属鈹



No. _____
近景



No. _____
遠景

現 地 測 量

現 況 座 標 計 算 書

放 射 ト ラ バ ー 計 算 書

器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
NT.3	NT.2		10-26-19		-137934.885	-21235.143		4.624	NT.3		
NT.3	P1	241-28-20	251-54-39	16.711	-137940.074	-21251.028	-0.908	3.716	P1	251-54-39	16.711
NT.3	P2	242-01-05	252-27-24	17.685	-137940.216	-21252.005	-0.912	3.712	P2	252-27-24	17.685
NT.3	P3	233-06-50	243-33-09	34.549	-137950.272	-21266.076	-0.903	3.721	P3	243-33-09	34.549
NT.3	P4	233-22-40	243-48-59	35.502	-137950.550	-21267.002	-0.903	3.721	P4	243-48-59	35.502
NT.3	1	19-48-45	30-15-04	7.907	-137928.055	-21231.159	-0.077	4.547	1	30-15-04	7.907
NT.3	2	0-34-40	11-00-59	5.029	-137929.949	-21234.182	-0.014	4.610	2	11-00-59	5.029
NT.3	3	334-57-50	345-24-09	5.270	-137929.785	-21236.471	-0.002	4.622	3	345-24-09	5.270
NT.3	4	341-26-30	351-52-49	4.830	-137930.103	-21235.825	0.063	4.687	4	351-52-49	4.830
NT.3	5	337-21-55	347-48-14	4.977	-137930.020	-21236.194	-0.004	4.620	5	347-48-14	4.977
NT.3	6	333-50-50	344-17-09	4.878	-137930.189	-21236.464	-1.245	3.379	6	344-17-09	4.878
NT.3	7	334-31-40	344-57-59	4.798	-137930.251	-21236.387	-0.576	4.048	7	344-57-59	4.798
NT.3	8	354-59-25	5-25-44	3.264	-137931.636	-21234.834	-0.021	4.603	8	5-25-44	3.264
NT.3	9	344-05-00	354-31-19	2.109	-137932.786	-21235.344	-0.112	4.512	9	354-31-19	2.109
NT.3	10	269-08-10	279-34-29	0.641	-137934.778	-21235.775	-0.348	4.276	10	279-34-29	0.641
NT.3	11	257-34-20	268-00-39	0.760	-137934.911	-21235.902	-0.004	4.620	11	268-00-39	0.760
NT.3	12	319-41-25	330-07-44	1.563	-137933.530	-21235.921	-0.292	4.332	12	330-07-44	1.563
NT.3	13	329-32-05	339-58-24	3.431	-137931.661	-21236.318	-0.635	3.989	13	339-58-24	3.431
NT.3	14	325-35-40	336-01-59	4.733	-137930.560	-21237.065	-1.280	3.344	14	336-01-59	4.733
NT.3	15	300-37-30	311-03-49	5.212	-137931.461	-21239.072	-2.428	2.196	15	311-03-49	5.212
NT.3	16	298-29-55	308-56-14	6.067	-137931.072	-21239.862	-2.870	1.754	16	308-56-14	6.067
NT.3	17	312-05-15	322-31-34	7.984	-137928.549	-21240.000	-2.860	1.764	17	322-31-34	7.984
NT.3	18	302-17-35	312-43-54	10.143	-137928.002	-21242.593	-3.695	0.929	18	312-43-54	10.143
NT.3	19	290-54-05	301-20-24	8.561	-137930.432	-21242.455	-3.656	0.968	19	301-20-24	8.561
NT.3	20	269-08-25	279-34-44	7.482	-137933.640	-21242.520	-3.725	0.899	20	279-34-44	7.482
NT.3	21	258-49-35	269-15-54	6.283	-137934.965	-21241.425	-4.051	0.573	21	269-15-54	6.283
NT.3	22	262-44-25	273-10-44	3.991	-137934.664	-21239.127	-2.613	2.011	22	273-10-44	3.991
NT.3	23	205-05-10	215-31-29	4.862	-137938.842	-21237.968	-2.167	2.457	23	215-31-29	4.862
NT.3	24	210-34-50	221-01-09	8.321	-137941.163	-21240.604	-3.952	0.672	24	221-01-09	8.321
NT.3	25	191-00-40	201-26-59	2.480	-137937.193	-21236.050	-1.226	3.398	25	201-26-59	2.480
NT.3	26	162-26-30	172-52-49	1.308	-137936.183	-21234.980	-0.041	4.583	26	172-52-49	1.308
NT.3	27	10-24-10	20-50-29	2.418	-137932.625	-21234.282	-0.102	4.522	27	20-50-29	2.418
NT.3	28	339-38-55	350-05-14	12.606	-137922.467	-21237.313	-0.093	4.531	28	350-05-14	12.606
NT.3	29	340-53-15	351-19-34	13.153	-137921.882	-21237.126	-0.123	4.501	29	351-19-34	13.153

器械点	標準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
NT.3	NT.2		10-26-19		-137934.885	-21235.143		4.624	NT.3		
NT.3	30	4-32-00	14-58-19	7.944	-137927.211	-21233.090	-0.034	4.590	30	14-58-19	7.944
NT.3	31	241-52-35	252-18-54	17.109	-137940.082	-21251.443	0.338	4.962	31	252-18-54	17.109
NT.3	32	240-08-05	250-34-24	17.233	-137940.617	-21251.395	-0.912	3.712	32	250-34-24	17.233
NT.3	33	233-11-45	243-38-04	34.938	-137950.401	-21266.446	0.327	4.951	33	243-38-04	34.938
NT.3	34	232-26-20	242-52-39	35.139	-137950.905	-21266.418	-0.906	3.718	34	242-52-39	35.139
NT.3	35	230-23-20	240-49-39	53.012	-137960.725	-21281.430	-0.046	4.578	35	240-49-39	53.012
NT.3	36	229-56-50	240-23-09	53.407	-137961.276	-21281.573	-0.144	4.480	36	240-23-09	53.407
NT.3	37	228-38-25	239-04-44	54.227	-137962.750	-21281.663	-0.101	4.523	37	239-04-44	54.227
NT.3	38	225-32-05	235-58-24	54.851	-137965.578	-21280.602	-0.656	3.968	38	235-58-24	54.851
NT.3	39	225-30-45	235-57-04	54.560	-137965.433	-21280.349	-1.417	3.207	39	235-57-04	54.560
NT.3	40	225-32-50	235-59-09	56.786	-137966.651	-21282.213	-0.637	3.987	40	235-59-09	56.786
NT.3	41	225-15-10	235-41-29	56.834	-137966.919	-21282.088	-0.041	4.583	41	235-41-29	56.834
NT.3	42	223-40-50	234-07-09	56.836	-137968.196	-21281.193	-0.037	4.587	42	234-07-09	56.836
NT.3	43	223-22-05	233-48-24	55.741	-137967.801	-21280.127	-0.842	3.782	43	233-48-24	55.741
NT.3	44	223-19-35	233-45-54	55.435	-137967.652	-21279.857	-1.523	3.101	44	233-45-54	55.435
NT.3	45	223-25-10	233-51-29	53.464	-137966.417	-21278.318	-2.166	2.458	45	233-51-29	53.464
NT.3	46	220-45-00	231-11-19	51.144	-137966.940	-21274.995	-3.768	0.856	46	231-11-19	51.144
NT.3	47	219-57-25	230-23-44	50.528	-137967.096	-21274.073	-4.891	-0.267	47	230-23-44	50.528
NT.3	48	230-43-30	241-09-49	47.047	-137957.576	-21276.356	-3.772	0.852	48	241-09-49	47.047
NT.3	49	230-23-35	240-49-54	46.366	-137957.483	-21275.629	-4.164	0.460	49	240-49-54	46.366
NT.3	50	231-09-05	241-35-24	45.005	-137956.297	-21274.728	-5.178	-0.554	50	241-35-24	45.005
NT.3	51	229-59-55	240-26-14	52.498	-137960.786	-21280.806	-1.288	3.336	51	240-26-14	52.498
NT.3	52	229-58-15	240-24-34	52.981	-137961.047	-21281.214	-1.284	3.340	52	240-24-34	52.981
NT.3	53	229-53-10	240-19-29	56.403	-137962.809	-21284.148	-0.228	4.396	53	240-19-29	56.403
NT.3	54	230-12-50	240-39-09	57.721	-137963.174	-21285.456	-0.246	4.378	54	240-39-09	57.721
NT.3	55	230-06-50	240-33-09	58.911	-137963.847	-21286.443	-0.285	4.339	55	240-33-09	58.911
NT.3	56	227-38-45	238-05-04	58.275	-137965.693	-21284.608	-0.394	4.230	56	238-05-04	58.275
NT.3	57	226-28-35	236-54-54	59.308	-137967.260	-21284.835	-0.556	4.068	57	236-54-54	59.308
NT.3	58	222-55-55	233-22-14	60.495	-137970.978	-21283.691	-0.899	3.725	58	233-22-14	60.495
NT.3	59	225-58-55	236-25-14	58.417	-137967.195	-21283.811	-0.379	4.245	59	236-25-14	58.417
NT.3	60	234-03-45	244-30-04	52.236	-137957.372	-21282.291	0.026	4.650	60	244-30-04	52.236
NT.3	61	235-05-55	245-32-14	47.052	-137954.369	-21277.971	0.162	4.786	61	245-32-14	47.052
NT.3	62	234-10-45	244-37-04	51.714	-137957.052	-21281.865	0.054	4.678	62	244-37-04	51.714
NT.3	63	237-45-45	248-12-04	37.179	-137948.691	-21269.663	0.355	4.979	63	248-12-04	37.179
NT.3	64	239-02-20	249-28-39	33.856	-137946.754	-21266.850	0.404	5.028	64	249-28-39	33.856
NT.3	65	242-24-10	252-50-29	27.261	-137942.927	-21261.190	0.445	5.069	65	252-50-29	27.261
NT.3	66	247-19-05	257-45-24	21.494	-137939.443	-21256.148	0.436	5.060	66	257-45-24	21.494

器械點	視準點	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測點名	逆算方向角	逆算距離
NT. 3	NT. 2		10-26-19		-137934.885	-21235.143		4.624	NT. 3		
NT. 3	67	254-14-00	264-40-19	16.778	-137936.443	-21251.848	0.404	5.028	67	264-40-19	16.778
NT. 3	68	261-49-15	272-15-34	13.654	-137934.347	-21248.786	0.343	4.967	68	272-15-34	13.654
NT. 3	69	279-05-25	289-31-44	10.083	-137931.514	-21244.646	0.261	4.885	69	289-31-44	10.083
NT. 3	70	338-36-10	349-02-29	8.900	-137926.147	-21236.834	0.011	4.635	70	349-02-29	8.900
NT. 3	71	6-32-40	16-58-59	12.830	-137922.614	-21231.395	-0.118	4.506	71	16-58-59	12.830
NT. 3	C1	230-07-15	240-33-34	52.408	-137960.644	-21280.783	0.133	4.757	C1	240-33-34	52.408
NT. 3	C2	231-08-10	241-34-29	43.909	-137955.786	-21273.758	0.344	4.968	C2	241-34-29	43.909
NT. 3	C3	232-36-20	243-02-39	35.364	-137950.915	-21266.665	0.495	5.119	C3	243-02-39	35.364
NT. 3	C4	232-49-25	243-15-44	34.353	-137950.341	-21265.822	0.502	5.126	C4	243-15-44	34.353
NT. 3	C5	235-23-00	245-49-19	25.904	-137945.494	-21258.774	0.546	5.170	C5	245-49-19	25.904
NT. 3	C6	240-29-45	250-56-04	17.469	-137940.591	-21251.653	0.497	5.121	C6	250-56-04	17.469
NT. 3	C7	241-15-10	251-41-29	16.657	-137940.117	-21250.956	0.448	5.072	C7	251-41-29	16.657
NT. 3	C8	257-39-00	268-05-19	8.622	-137935.172	-21243.760	0.316	4.940	C8	268-05-19	8.622
NT. 3	C9	329-44-40	340-10-59	4.793	-137930.376	-21236.768	0.144	4.768	C9	340-10-59	4.793
NT. 3	C10	232-24-10	242-50-29	43.416	-137954.702	-21273.772	-0.850	3.774	C10	242-50-29	43.416
NT. 3	C11	237-39-35	248-05-54	25.492	-137944.394	-21258.795	-0.658	3.966	C11	248-05-54	25.492
NT. 3	C12	264-55-00	275-21-19	8.707	-137934.072	-21243.812	-0.848	3.776	C12	275-21-19	8.707
NT. 3	169	325-47-50	336-14-09	4.788	-137930.503	-21237.072	-1.279	3.345	169	336-14-09	4.788
NT. 3	170	333-51-45	344-18-04	4.890	-137930.177	-21236.466	-1.277	3.347	170	344-18-04	4.890
NT. 3	171	230-54-05	241-20-24	52.165	-137959.904	-21280.916	-1.276	3.348	171	241-20-24	52.165
NT. 3	172	231-08-05	241-34-24	52.706	-137959.975	-21281.494	-1.280	3.344	172	241-34-24	52.706
器械點	視準點	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測點名	逆算方向角	逆算距離
NT. 1	NT. 2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT. 1		
NT. 1	73	357-45-55	57-37-10	61.013	-137910.384	-21231.141	0.462	3.939	73	57-37-10	61.013
NT. 1	74	359-32-25	59-23-40	58.987	-137913.027	-21231.897	0.574	4.051	74	59-23-40	58.987
NT. 1	75	1-16-35	61-07-50	58.044	-137915.035	-21231.837	0.695	4.172	75	61-07-50	58.044
NT. 1	76	2-58-20	62-49-35	57.304	-137916.889	-21231.688	0.750	4.227	76	62-49-35	57.304
NT. 1	77	4-04-10	63-55-25	55.889	-137918.492	-21232.467	0.868	4.345	77	63-55-25	55.889
NT. 1	78	4-07-45	63-59-00	57.003	-137918.056	-21231.440	0.863	4.340	78	63-59-00	57.003
NT. 1	79	3-09-35	63-00-50	61.078	-137915.343	-21228.239	0.754	4.231	79	63-00-50	61.078
NT. 1	80	4-05-50	63-57-05	51.853	-137920.289	-21236.081	0.744	4.221	80	63-57-05	51.853
NT. 1	81	2-53-05	62-44-20	51.010	-137919.694	-21237.323	-0.171	3.306	81	62-44-20	51.010
NT. 1	82	4-45-00	64-36-15	47.577	-137922.655	-21239.687	-1.173	2.304	82	64-36-15	47.577
NT. 1	83	3-03-00	62-54-15	48.096	-137921.152	-21239.850	-1.379	2.098	83	62-54-15	48.096
NT. 1	84	0-29-25	60-20-40	49.354	-137918.639	-21239.778	-1.552	1.925	84	60-20-40	49.354
NT. 1	85	358-44-40	58-35-55	51.219	-137916.372	-21238.950	-1.960	1.517	85	58-35-55	51.219
NT. 1	86	359-44-50	59-36-05	52.198	-137916.646	-21237.645	-1.651	1.826	86	59-36-05	52.198

器械點	標準點	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測點名	逆算方向角	逆算距離
NT.1	NT.2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT.1		
NT.1	87	356-58-15	56-49-30	53.182	-137913.958	-21238.153	-1.713	1.764	87	56-49-30	53.182
NT.1	88	353-15-55	53-07-10	57.931	-137908.292	-21236.329	-1.783	1.694	88	53-07-10	57.931
NT.1	89	351-38-05	51-29-20	61.740	-137904.616	-21234.356	-1.760	1.717	89	51-29-20	61.740
NT.1	90	349-01-50	48-53-05	60.402	-137903.340	-21237.161	-3.543	-0.066	90	48-53-05	60.402
NT.1	91	351-26-30	51-17-45	55.039	-137908.643	-21239.715	-3.289	0.188	91	51-17-45	55.039
NT.1	92	353-06-40	52-57-55	51.002	-137912.341	-21241.954	-3.601	-0.124	92	52-57-55	51.002
NT.1	93	356-30-35	56-21-50	50.066	-137915.327	-21240.983	-3.102	0.375	93	56-21-50	50.066
NT.1	94	358-36-55	58-28-10	50.446	-137916.678	-21239.669	-2.700	0.777	94	58-28-10	50.446
NT.1	95	354-45-25	54-36-40	47.704	-137915.433	-21243.777	-3.538	-0.061	95	54-36-40	47.704
NT.1	96	357-54-55	57-46-10	46.287	-137918.373	-21243.512	-3.357	0.120	96	57-46-10	46.287
NT.1	97	359-52-15	59-43-30	45.150	-137920.297	-21243.675	-3.335	0.142	97	59-43-30	45.150
NT.1	98	1-35-30	61-26-45	48.131	-137920.053	-21240.390	-2.462	1.015	98	61-26-45	48.131
NT.1	99	2-21-00	62-12-15	44.736	-137922.198	-21243.093	-3.019	0.458	99	62-12-15	44.736
NT.1	100	0-15-50	60-07-05	45.406	-137920.437	-21243.288	-2.588	0.889	100	60-07-05	45.406
NT.1	101	3-36-55	63-28-10	44.291	-137923.275	-21243.040	-2.569	0.908	101	63-28-10	44.291
NT.1	102	6-15-15	66-06-30	43.598	-137925.402	-21242.805	-2.558	0.919	102	66-06-30	43.598
NT.1	103	5-26-25	65-17-40	49.869	-137922.216	-21237.363	-0.131	3.346	103	65-17-40	49.869
NT.1	104	5-29-20	65-20-35	49.338	-137922.476	-21237.827	-0.128	3.349	104	65-20-35	49.338
NT.1	PJ1	30-09-10	90-00-25	14.989	-137943.061	-21267.678	0.239	3.716	PJ1	90-00-25	14.989
NT.1	PJ2	29-49-35	89-40-50	15.942	-137942.970	-21266.725	0.248	3.725	PJ2	89-40-50	15.942
NT.1	PJ3	30-21-55	90-13-10	14.993	-137943.116	-21267.674	-2.877	0.600	PJ3	90-13-10	14.993
NT.1	PJ4	29-52-35	89-43-50	15.956	-137942.984	-21266.711	-2.872	0.605	PJ4	89-43-50	15.956
NT.1	PJ5	55-17-35	115-08-50	17.292	-137950.407	-21267.014	-2.883	0.594	PJ5	115-08-50	17.292
NT.1	PJ6	54-05-45	113-57-00	18.216	-137950.454	-21266.019	-2.891	0.586	PJ6	113-57-00	18.216
NT.1	JD105	5-37-05	65-28-20	42.828	-137925.280	-21243.704	-3.817	-0.340	JD105	65-28-20	42.828
NT.1	JD106	5-34-30	65-25-45	43.618	-137924.922	-21242.999	-3.685	-0.208	JD106	65-25-45	43.618
NT.1	JD107	5-43-05	65-34-20	44.463	-137924.672	-21242.184	-2.754	0.723	JD107	65-34-20	44.463
NT.1	JD108	5-13-45	65-05-00	45.489	-137923.895	-21241.412	-2.118	1.359	JD108	65-05-00	45.489
NT.1	JD109	5-09-25	65-00-40	47.047	-137923.184	-21240.024	-1.439	2.038	JD109	65-00-40	47.047
NT.1	JD110	14-02-45	73-54-00	40.539	-137931.817	-21243.718	-3.818	-0.341	JD110	73-54-00	40.539
NT.1	JD111	12-02-20	71-53-35	41.749	-137930.084	-21242.985	-3.793	-0.316	JD111	71-53-35	41.749
NT.1	JD112	12-05-40	71-56-55	42.271	-137929.961	-21242.477	-2.533	0.944	JD112	71-56-55	42.271
NT.1	JD113	11-56-20	71-47-35	43.143	-137929.579	-21241.684	-2.784	0.693	JD113	71-47-35	43.143
NT.1	JD114	10-43-10	70-34-25	45.294	-137927.995	-21239.952	-1.561	1.916	JD114	70-34-25	45.294
NT.1	JD115	10-03-50	69-55-05	47.015	-137926.916	-21238.510	-0.813	2.664	JD115	69-55-05	47.015
NT.1	JD116	117-51-45	177-43-00	10.325	-137953.376	-21282.256	1.203	4.680	JD116	177-43-00	10.325
NT.1	117	119-12-00	179-03-15	10.026	-137953.084	-21282.502	0.975	4.452	117	179-03-15	10.026

器械點	標準點	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測點名	逆算方向角	逆算距離
NT.1	NT.2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT.1		
NT.1	118	145-01-20	204-52-35	15.312	-137956.950	-21289.108	0.822	4.299	118	204-52-35	15.312
NT.1	119	138-39-10	198-30-25	12.827	-137955.223	-21286.739	0.946	4.423	119	198-30-25	12.827
NT.1	120	30-10-25	90-01-40	15.400	-137943.067	-21267.267	1.523	5.000	120	90-01-40	15.400
NT.1	121	116-06-55	175-58-10	8.111	-137951.150	-21282.097	-0.005	3.472	121	175-58-10	8.111
NT.1	122	84-00-10	143-51-25	8.923	-137950.265	-21277.404	-2.592	0.885	122	143-51-25	8.923
NT.1	123	80-09-00	140-00-15	8.843	-137949.834	-21276.983	-2.602	0.875	123	140-00-15	8.843
NT.1	124	76-48-25	136-39-40	9.685	-137950.103	-21276.020	-3.046	0.431	124	136-39-40	9.685
NT.1	125	81-46-30	141-37-45	9.912	-137950.830	-21276.514	-3.020	0.457	125	141-37-45	9.912
NT.1	126	75-28-50	135-20-05	9.853	-137950.067	-21275.741	-3.994	-0.517	126	135-20-05	9.853
NT.1	127	33-33-30	93-24-45	4.422	-137943.322	-21278.253	-2.572	0.905	127	93-24-45	4.422
NT.1	128	33-30-45	93-22-00	4.946	-137943.349	-21277.730	-3.685	-0.208	128	93-22-00	4.946
NT.1	129	341-28-55	41-20-10	6.284	-137938.341	-21278.517	-2.684	0.793	129	41-20-10	6.284
NT.1	130	345-17-00	45-08-15	6.661	-137938.360	-21277.946	-3.776	-0.299	130	45-08-15	6.661
NT.1	131	357-14-30	57-05-45	9.306	-137938.004	-21274.854	-4.451	-0.974	131	57-05-45	9.306
NT.1	132	47-05-20	106-56-35	8.551	-137945.551	-21274.487	-4.343	-0.866	132	106-56-35	8.551
NT.1	133	304-02-25	3-53-40	4.454	-137938.615	-21282.364	-0.615	2.862	133	3-53-40	4.454
NT.1	134	289-10-25	349-01-40	4.799	-137938.348	-21283.580	-0.292	3.185	134	349-01-40	4.799
NT.1	135	261-39-20	321-30-35	5.947	-137938.404	-21286.368	-0.351	3.126	135	321-30-35	5.947
NT.1	136	229-05-50	288-57-05	2.003	-137942.408	-21284.561	-0.043	3.434	136	288-57-05	2.003
NT.1	137	253-58-30	313-49-45	0.991	-137942.373	-21283.382	-0.047	3.430	137	313-49-45	0.991
NT.1	138	305-53-10	5-44-25	0.574	-137942.488	-21282.610	-0.141	3.336	138	5-44-25	0.574
NT.1	PJ7	11-16-15	71-07-30	31.563	-137932.848	-21252.801	0.244	3.721	PJ7	71-07-30	31.563
NT.1	PJ8	11-35-00	71-26-15	32.498	-137932.714	-21251.860	0.249	3.726	PJ8	71-26-15	32.498
NT.1	PJ9	11-21-25	71-12-40	31.682	-137932.855	-21252.673	-2.851	0.626	PJ9	71-12-40	31.682
NT.1	PJ10	11-28-25	71-19-40	32.672	-137932.599	-21251.715	-2.850	0.627	PJ10	71-19-40	32.672
NT.1	PJ11	24-41-30	84-32-45	30.826	-137940.129	-21251.981	-2.861	0.616	PJ11	84-32-45	30.826
NT.1	PJ12	24-46-35	84-37-50	31.808	-137940.083	-21250.999	-2.855	0.622	PJ12	84-37-50	31.808
NT.1	139	11-26-20	71-17-35	32.086	-137932.768	-21252.276	1.474	4.951	139	71-17-35	32.086
NT.1	140	155-58-20	215-49-35	5.750	-137947.721	-21286.033	0.338	3.815	140	215-49-35	5.750
NT.1	141	139-48-25	199-39-40	5.054	-137947.818	-21284.367	0.454	3.931	141	199-39-40	5.054
NT.1	142	130-25-25	190-16-40	9.762	-137952.664	-21284.409	0.989	4.466	142	190-16-40	9.762
NT.1	143	137-28-40	197-19-55	10.671	-137953.245	-21285.846	0.926	4.403	143	197-19-55	10.671
NT.1	144	136-39-55	196-31-10	12.378	-137954.926	-21286.187	0.956	4.433	144	196-31-10	12.378
NT.1	145	131-57-25	191-48-40	11.532	-137954.347	-21285.027	1.066	4.543	145	191-48-40	11.532
NT.1	146	123-36-50	183-28-05	10.458	-137953.498	-21283.300	1.102	4.579	146	183-28-05	10.458
NT.1	147	130-09-15	190-00-30	9.735	-137952.646	-21284.359	0.988	4.465	147	190-00-30	9.735
NT.1	148	54-41-55	114-33-10	8.476	-137946.581	-21274.957	-4.242	-0.765	148	114-33-10	8.476

器械点	标准点	夹角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
NT.1	NT.2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT.1		
NT.1	149	70-53-50	130-45-05	7.841	-137948.177	-21276.727	-3.848	-0.371	149	130-45-05	7.841
NT.1	JD150	73-06-35	132-57-50	7.569	-137948.218	-21277.128	-3.753	-0.276	JD150	132-57-50	7.569
NT.1	JD151	74-06-40	133-57-55	7.670	-137948.384	-21277.146	-2.593	0.884	JD151	133-57-55	7.670
NT.1	JD152	98-56-30	158-47-45	7.463	-137950.017	-21279.968	-1.296	2.181	JD152	158-47-45	7.463
NT.1	JD153	99-13-40	159-04-55	12.382	-137954.625	-21278.246	-1.837	1.640	JD153	159-04-55	12.382
NT.1	JD154	84-27-45	144-19-00	12.063	-137952.857	-21275.631	-3.048	0.429	JD154	144-19-00	12.063
NT.1	JD155	82-24-10	142-15-25	11.872	-137952.447	-21275.400	-3.918	-0.441	JD155	142-15-25	11.872
NT.1	JD156	71-03-20	130-54-35	12.445	-137951.209	-21273.262	-4.546	-1.069	JD156	130-54-35	12.445
NT.1	JD157	74-47-40	134-38-55	12.231	-137951.654	-21273.966	-3.115	0.362	JD157	134-38-55	12.231
NT.1	JD158	102-10-20	162-01-35	17.071	-137959.297	-21277.399	-1.975	1.502	JD158	162-01-35	17.071
NT.1	JD159	95-52-40	155-43-55	16.983	-137958.541	-21275.687	-2.619	0.858	JD159	155-43-55	16.983
NT.1	JD160	95-14-05	155-05-20	16.892	-137958.379	-21275.552	-3.012	0.465	JD160	155-05-20	16.892
NT.1	JD161	94-37-45	154-29-00	16.872	-137958.285	-21275.399	-3.022	0.455	JD161	154-29-00	16.872
NT.1	JD162	93-18-30	153-09-45	16.823	-137958.070	-21275.072	-3.883	-0.406	JD162	153-09-45	16.823
NT.1	JD163	85-26-20	145-17-35	16.725	-137956.808	-21273.144	-2.398	1.079	JD163	145-17-35	16.725
NT.1	JD164	82-41-05	142-32-20	16.905	-137956.478	-21272.385	-4.448	-0.971	JD164	142-32-20	16.905
NT.1	165	118-02-15	177-53-30	10.004	-137953.056	-21282.299	-0.119	3.358	165	177-53-30	10.004
NT.1	166	114-44-55	174-36-10	9.671	-137952.687	-21281.757	-0.112	3.365	166	174-36-10	9.671
NT.1	JC1	68-15-35	128-06-50	9.799	-137949.107	-21274.957	0.309	3.786	JC1	128-06-50	9.799
NT.1	JC2	33-29-40	93-20-55	15.296	-137943.952	-21267.397	0.469	3.946	JC2	93-20-55	15.296
NT.1	JC3	32-33-40	92-24-55	15.616	-137943.717	-21267.065	0.466	3.943	JC3	92-24-55	15.616
NT.1	JC4	12-49-20	72-40-35	31.686	-137933.624	-21252.418	0.444	3.921	JC4	72-40-35	31.686
NT.1	JC5	12-40-50	72-32-05	32.060	-137933.437	-21252.085	0.450	3.927	JC5	72-32-05	32.060
NT.1	JC6	9-00-10	68-51-25	40.432	-137928.475	-21244.957	0.278	3.755	JC6	68-51-25	40.432
NT.1	JC7	19-36-40	79-27-55	23.002	-137938.854	-21260.053	0.484	3.961	JC7	79-27-55	23.002
NT.1	JC8	5-29-45	65-21-00	49.363	-137922.471	-21237.802	-0.073	3.404	JC8	65-21-00	49.363
NT.1	JC9	114-55-45	174-47-00	9.676	-137952.695	-21281.787	-0.064	3.413	JC9	174-47-00	9.676
NT.1	167	10-33-20	70-24-35	32.170	-137932.273	-21252.359	0.243	3.720	167	70-24-35	32.170
NT.1	168	28-14-05	88-05-20	15.454	-137942.544	-21267.222	0.241	3.718	168	88-05-20	15.454

横 断 测 量

橫 斷 手 簿

横断測量観測手簿

測点名称	A-1 A-1'	杭頭高	0.000
追加距離	0.000	地盤高	-1.35
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	0.00	-1.35		無し				
2	変化点	3.26	-1.76		無し				JO. 43
3	変化点	6.31	-1.45		上垂直				03
4	変化点	8.23	-0.88		無し				JO. 45
5	変化点	10.70	-0.04		無し				
6	変化点	12.51	0.57		無し				020
7	変化点	13.83	0.57		無し				017
8	変化点	15.03	1.00	石積み	無し				019
9	変化点	15.42	2.10	石積み	無し				01
10	変化点	18.79	3.34		無し				018

横断線の種類 右側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	30.90	1.50		無し				JD158
2	変化点	29.66	0.86		無し				
3	変化点	29.06	0.86		無し				JD159
4	変化点	28.86	0.47		無し				JD160
5	変化点	28.68	0.45		無し				JD161
6	変化点	28.29	-0.41		無し				JD162
7	変化点	25.17	-0.97		無し				JD164
8	変化点	23.19	-1.55		上垂直				06
9	変化点	22.97	-1.53		無し				JO. 33
10	変化点	17.10	-2.35		上垂直				05
11	変化点	16.74	-2.29		無し				OD. 25
12	変化点	14.42	-2.32		無し				JO. 37
13	変化点	11.46	-2.10		無し				JO. 38
14	変化点	8.54	-1.93		上垂直				04
15	変化点	6.88	-1.89		無し				JO. 39
16	変化点	3.78	-1.72		無し				JO40
17	変化点	2.25	-1.57		無し				JO. 41
18	変化点	0.35	-1.36		無し				OD. 8
19	変化点	0.00	-1.35		無し				

横断測量観測手簿

測点名称	A-2 A-2'	杭頭高	0.000
追加距離	5.260	地盤高	-1.95
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	0.00	-1.95		無し				
2	変化点	1.12	0.62		無し				JO. 26
3	変化点	1.15	-2.13		無し				JO. 27
4	変化点	5.29	-1.35		無し				JO. 28
5	変化点	6.31	-0.82		上垂直				07
6	変化点	6.75	-0.77		無し				JO. 30
7	変化点	9.46	-0.44		無し				JO. 31
8	変化点	11.34	-0.32		下垂直				023
9	変化点	11.34	0.97		無し				
10	変化点	11.69	0.97		無し				19
11	変化点	11.69	0.52		下垂直				
12	変化点	12.81	0.69		無し				JD113
13	変化点	14.20	0.99		下垂直				021
14	変化点	14.52	1.50		下垂直				022
15	変化点	15.14	1.92		無し				JD114
16	変化点	16.93	2.66		無し				JD115

横断線の種類 右側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	31.51	1.64		無し				JD153
2	変化点	28.95	0.43		無し				
3	変化点	28.35	0.43		無し				JD154
4	変化点	27.93	-0.44		下垂直				JD155
5	変化点	26.30	0.36		無し				JD157
6	変化点	25.47	-1.07		水平R				JD156
7	変化点	23.19	-1.80		上垂直				011
8	変化点	22.49	-1.70		無し				OD. 37
9	変化点	18.28	-2.31		無し				JO. 15
10	変化点	18.27	0.61		無し				JO. 16
11	変化点	17.15	0.61		無し				JO. 17
12	変化点	17.10	-2.24		上垂直				010
13	変化点	17.08	-2.25		無し				JO. 18
14	変化点	17.04	-2.23		無し				OD. 29
15	変化点	15.16	-2.18		無し				JO. 19
16	変化点	11.60	-1.88		無し				JO. 20
17	変化点	9.34	-1.81		無し				OD. 21
18	変化点	8.68	-1.81		無し				JO. 21
19	変化点	8.54	-1.81		上2分角				09
20	変化点	6.17	-1.79		無し				JO. 22
21	変化点	3.21	-1.87		無し				JO. 23
22	変化点	0.05	0.62		無し				JO. 25
23	変化点	0.05	-1.95		上垂直				08
24	変化点	0.00	-1.95		無し				

横断測量観測手簿

測点名称	A-3 A-3'	杭頭高	0.000
追加距離	10.540	地盤高	-1.85
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備考	点名
1	変化点	0.00	-1.85		無し		
2	変化点	1.60	-1.94		無し		JO.5
3	変化点	2.59	-1.83		無し		JO.4
4	変化点	3.93	-1.31		無し		JO.3
5	変化点	6.31	-0.75		上垂直		012
6	変化点	11.01	-0.34		無し		JD105
7	変化点	11.78	-0.34		下垂直		
8	変化点	11.78	0.65		無し		
9	変化点	11.88	0.65		無し		
10	変化点	11.88	-0.21		下垂直		JD106
11	変化点	12.83	0.72		無し		024
12	変化点	13.69	1.36		無し		JD108
13	変化点	15.24	2.04		無し		JD109
14	変化点	15.81	2.30		無し		82

横断線の種類 右側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備考	点名
1	変化点	32.88	2.18	石積み	無し		JD152
2	変化点	30.12	0.88	石積み	無し		
3	変化点	29.52	0.88		無し		JD151
4	変化点	29.52	0.68		無し		
5	変化点	29.60	0.68		無し		
6	変化点	29.60	-0.28		下垂直		
7	変化点	29.52	-0.28		無し		JD150
8	変化点	29.17	-0.37		無し		149
9	変化点	26.81	-0.77		上垂直		148
10	変化点	25.84	-0.87		無し		132
11	変化点	24.52	-2.27		無し		JO.12
12	変化点	23.19	-2.20		上垂直		016
13	変化点	17.10	-1.74		上垂直		015
14	変化点	12.10	-1.74		無し		JO.9
15	変化点	8.54	-1.65		上垂直		014
16	変化点	7.28	-1.63		無し		JO.8
17	変化点	3.75	-1.75		無し		JO.7
18	変化点	0.00	-1.85		無し		

横 断 測 量 観 測 手 簿

測点名称	B-1 B-1'	杭頭高	0.000
追加距離	0.000	地盤高	-0.82
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種 別	横断距離	地盤高	構 造 物	ティック	備	考 点 名
1	変化点	0.00	-0.82		無し		
2	変化点	4.78	-0.74		無し		J0.2
3	変化点	5.29	-0.75		上垂直		012

横断線の種類 右側

No.	種 別	横断距離	地盤高	構 造 物	ティック	備	考 点 名
1	変化点	6.31	-1.48		無し		0D.7
2	変化点	5.26	-1.45		上垂直		03
3	変化点	4.81	-1.43		無し		J0.44
4	変化点	4.51	-1.58		無し		0D.6
5	変化点	2.10	-1.37		無し		0D.5
6	変化点	0.00	-0.82		無し		

横断測量観測手簿

測点名称	B-2 B-2'	杭頭高	0.000
追加距離	6.310	地盤高	-1.95
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	0.00	-1.95		無し				
2	変化点	1.50	-2.10		無し				OD. 13
3	変化点	3.39	-2.43		無し				OD. 14
4	変化点	4.11	-2.25		無し				OD. 15
5	変化点	4.77	-1.97		無し				JO. 6
6	変化点	5.28	-1.85		無し				013

横断線の種類 右側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点	名
1	変化点	5.76	-1.36		無し				OD. 8
2	変化点	5.25	-1.35		無し				02
3	変化点	3.86	-1.46		無し				OD. 9
4	変化点	2.76	-1.62		無し				OD. 10
5	変化点	2.21	-1.71		無し				OD. 11
6	変化点	0.45	-1.90		無し				OD. 12
7	変化点	0.17	-1.94		無し				JO. 24
8	変化点	0.00	-1.95		無し				

横 断 測 量 観 測 手 簿

測点名称	B-3 B-3'	杭頭高	0.000
追加距離	14.860	地盤高	-1.81
		シフト量	0.000

横断線の種類 左側		横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考 点 名
No.	種 別						
1	変化点	0.00	-1.81		無し		
2	変化点	5.29	-1.65		無し		014

横断線の種類 右側		横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考 点 名
No.	種 別						
1	変化点	7.14	-2.00		無し		0D.23
2	変化点	5.26	-1.93		無し		04
3	変化点	3.76	-1.88		無し		0D.22
4	変化点	0.00	-1.81		無し		

横断測量観測手簿

測点名称 B-4 B-4'	杭頭高	0.000
追加距離 23.410	地盤高	-2.24
	シフト量	0.000

横断線の種類 左側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点名
1	変化点	0.00	-2.24		無し			
2	変化点	0.08	-2.23		無し			0D. 29
3	変化点	1.20	-2.21		無し			0D. 30
4	変化点	3.44	-2.03		無し			0D. 31
5	変化点	4.50	-1.82		無し			0D. 32
6	変化点	5.30	-1.74		無し			015

横断線の種類 右側

No.	種別	横断距離	地盤高	構造物	ティック	備	考	点名
1	変化点	5.79	-2.39		無し			J0. 36
2	変化点	5.26	-2.35		無し			05
3	変化点	4.69	-2.29		無し			0D. 25
4	変化点	4.03	-2.34		無し			0D. 26
5	変化点	2.56	-2.33		無し			0D. 27
6	変化点	0.79	-2.38		無し			0D. 28
7	変化点	0.00	-2.24		無し			

横断測量観測手簿

測点名称 B-5 B-5'	杭頭高	0.000
追加距離 29.500	地盤高	-1.80
	シフト量	0.000

横断線の種類 左側		横断距離	地盤高	構造物	ティック	備考	点名
No.	種別						
1	変化点	0.00	-1.80		無し		
2	変化点	5.30	-2.20		無し		016
3	変化点	6.79	-1.88		無し		0D.34

横断線の種類 右側		横断距離	地盤高	構造物	ティック	備考	点名
No.	種別						
1	変化点	5.26	-1.55		無し		06
2	変化点	4.95	-1.53		無し		J0.33
3	変化点	3.78	-1.69		無し		0D.39
4	変化点	1.99	-2.23		無し		0D.38
5	変化点	1.21	-1.65		無し		J0.13
6	変化点	0.00	-1.80		無し		

横断測量座標計算書

放射トラバース計算書

路線名：0710河川断面												
器械点	視準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離	
NT.1	NT.2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT.1			
NT.1	JO.1	6-47-20	66-38-35	41.297	-137926.687	-21244.754	-3.857	-0.380	JO.1	66-38-35	41.297	
NT.1	JO.2	7-27-25	67-18-40	37.956	-137928.418	-21247.648	-4.221	-0.744	JO.2	67-18-40	37.956	
NT.1	JO.3	8-02-35	67-53-50	35.930	-137929.540	-21249.377	-4.784	-1.307	JO.3	67-53-50	35.930	
NT.1	JO.4	7-48-10	67-39-25	34.529	-137929.933	-21250.730	-5.305	-1.828	JO.4	67-39-25	34.529	
NT.1	JO.5	8-41-45	68-33-00	33.633	-137930.760	-21251.363	-5.412	-1.935	JO.5	68-33-00	33.633	
NT.1	JO.6	9-51-25	69-42-40	31.913	-137931.993	-21252.734	-5.448	-1.971	JO.6	69-42-40	31.913	
NT.1	JO.7	11-31-05	71-22-20	28.501	-137933.955	-21255.659	-5.229	-1.752	JO.7	71-22-20	28.501	
NT.1	JO.8	13-30-15	73-21-30	25.091	-137935.873	-21258.627	-5.110	-1.633	JO.8	73-21-30	25.091	
NT.1	JO.9	17-38-25	77-29-40	20.557	-137938.608	-21262.598	-5.213	-1.736	JO.9	77-29-40	20.557	
NT.1	JO.10	21-38-20	81-29-35	15.766	-137940.727	-21267.074	-5.219	-1.742	JO.10	81-29-35	15.766	
NT.1	JO.11	33-40-20	93-31-35	11.583	-137943.771	-21271.106	-5.647	-2.170	JO.11	93-31-35	11.583	
NT.1	JO.12	42-41-55	102-33-10	9.766	-137945.182	-21273.134	-5.743	-2.266	JO.12	102-33-10	9.766	
NT.1	JO.13	66-11-20	126-02-35	13.721	-137951.132	-21271.573	-5.126	-1.649	JO.13	126-02-35	13.721	
NT.1	JO.14	59-30-45	119-22-00	13.159	-137949.512	-21271.199	-5.317	-1.840	JO.14	119-22-00	13.159	
NT.1	JO.15	45-02-40	104-53-55	15.855	-137947.136	-21267.345	-5.788	-2.311	JO.15	104-53-55	15.855	
NT.1	JO.16	45-01-00	104-52-15	15.872	-137947.132	-21267.327	-2.872	0.605	JO.16	104-52-15	15.872	
NT.1	JO.17	42-08-30	101-59-45	16.638	-137946.517	-21266.392	-2.872	0.605	JO.17	101-59-45	16.638	
NT.1	JO.18	41-49-20	101-40-35	16.636	-137946.426	-21266.375	-5.731	-2.254	JO.18	101-40-35	16.636	
NT.1	JO.19	37-38-30	97-29-45	18.091	-137945.419	-21264.731	-5.653	-2.176	JO.19	97-29-45	18.091	
NT.1	JO.20	30-29-20	90-20-35	20.708	-137943.183	-21261.959	-5.360	-1.883	JO.20	90-20-35	20.708	
NT.1	JO.21	27-01-20	86-52-35	23.331	-137941.788	-21259.371	-5.283	-1.806	JO.21	86-52-35	23.331	
NT.1	JO.22	24-29-40	84-20-55	25.608	-137940.537	-21257.183	-5.267	-1.790	JO.22	84-20-55	25.608	
NT.1	JO.23	21-40-40	81-31-55	28.256	-137938.898	-21254.719	-5.342	-1.865	JO.23	81-31-55	28.256	
NT.1	JO.24	18-42-15	78-33-30	30.963	-137936.917	-21252.319	-5.422	-1.945	JO.24	78-33-30	30.963	
NT.1	JO.25	18-32-40	78-23-55	30.996	-137936.826	-21252.304	-2.860	0.617	JO.25	78-23-55	30.996	
NT.1	JO.26	17-32-35	77-23-50	32.033	-137936.070	-21251.406	-2.857	0.620	JO.26	77-23-50	32.033	
NT.1	JO.27	17-28-15	77-19-30	32.044	-137936.028	-21251.404	-5.607	-2.130	JO.27	77-19-30	32.044	
NT.1	JO.28	14-51-30	74-42-45	35.886	-137933.597	-21248.051	-4.822	-1.345	JO.28	74-42-45	35.886	
NT.1	JO.29	14-53-40	74-44-55	34.534	-137933.975	-21249.349	-5.502	-2.025	JO.29	74-44-55	34.534	
NT.1	JO.30	14-27-30	74-18-45	37.342	-137932.962	-21246.716	-4.244	-0.767	JO.30	74-18-45	37.342	
NT.1	JO.31	13-20-55	73-12-10	39.958	-137931.512	-21244.414	-3.916	-0.439	JO.31	73-12-10	39.958	
NT.1	JO.32	80-29-30	140-20-45	15.593	-137955.064	-21272.716	-4.447	-0.970	JO.32	140-20-45	15.593	
NT.1	JO.33	74-59-15	134-50-30	16.665	-137954.810	-21270.851	-5.012	-1.535	JO.33	134-50-30	16.665	

器械點	視準點	夾角	方向角	距離	X 座標	Y 座標	比高	標高	測點名	逆算方向角	逆算距離
NT.1	NT.2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT.1		
NT.1	J0.34	68-33-00	128-24-15	16.799	-137953.495	-21269.503	-5.498	-2.021	J0.34	128-24-15	16.799
NT.1	J0.35	61-52-05	121-43-20	18.896	-137952.995	-21266.594	-5.802	-2.325	J0.35	121-43-20	18.896
NT.1	J0.36	58-06-25	117-57-40	19.421	-137952.165	-21265.513	-5.869	-2.392	J0.36	117-57-40	19.421
NT.1	J0.37	50-13-50	110-05-05	20.073	-137949.952	-21263.815	-5.795	-2.318	J0.37	110-05-05	20.073
NT.1	J0.38	44-20-55	104-12-10	22.102	-137948.482	-21261.241	-5.572	-2.095	J0.38	104-12-10	22.102
NT.1	J0.39	37-18-45	97-10-00	25.656	-137946.260	-21257.211	-5.365	-1.888	J0.39	97-10-00	25.656
NT.1	J0.40	31-21-40	91-12-55	27.428	-137943.641	-21255.245	-5.200	-1.723	J0.40	91-12-55	27.428
NT.1	J0.41	30-06-25	89-57-40	28.869	-137943.039	-21253.798	-5.050	-1.573	J0.41	89-57-40	28.869
NT.1	J0.42	27-03-40	86-54-55	31.059	-137941.388	-21251.653	-4.831	-1.354	J0.42	86-54-55	31.059
NT.1	J0.43	24-35-40	84-26-55	33.493	-137939.819	-21249.331	-5.233	-1.756	J0.43	84-26-55	33.493
NT.1	J0.44	22-04-30	81-55-45	36.293	-137937.964	-21246.733	-4.905	-1.428	J0.44	81-55-45	36.293
NT.1	J0.45	21-00-55	80-52-10	37.939	-137937.039	-21245.209	-4.355	-0.878	J0.45	80-52-10	37.939
NT.1	J0.46	18-59-20	78-50-35	40.473	-137935.228	-21242.959	-3.520	-0.043	J0.46	78-50-35	40.473
NT.1	OD.1	2-42-15	62-33-30	37.773	-137925.652	-21249.144	-4.639	-1.162	OD.1	62-33-30	37.773
NT.1	OD.1	3-26-05	63-17-20	37.491	-137926.207	-21249.177	-4.768	-1.291	OD.1	63-17-20	37.491
NT.1	OD.2	7-03-50	66-55-05	38.532	-137927.953	-21247.220	-4.102	-0.625	OD.2	66-55-05	38.532
NT.1	OD.3	10-47-25	70-38-40	36.415	-137930.990	-21248.310	-4.430	-0.953	OD.3	70-38-40	36.415
NT.1	OD.4	13-42-40	73-33-55	36.925	-137932.612	-21247.251	-4.350	-0.873	OD.4	73-33-55	36.925
NT.1	OD.5	17-45-15	77-36-30	36.167	-137935.298	-21247.343	-4.851	-1.374	OD.5	77-36-30	36.167
NT.1	OD.6	21-34-05	81-25-20	35.973	-137937.694	-21247.096	-5.054	-1.577	OD.6	81-25-20	35.973
NT.1	OD.7	24-48-35	84-39-50	36.120	-137939.700	-21246.704	-4.960	-1.483	OD.7	84-39-50	36.120
NT.1	OD.8	29-05-30	88-56-45	30.801	-137942.492	-21251.871	-4.841	-1.364	OD.8	88-56-45	30.801
NT.1	OD.9	25-33-10	85-24-25	30.881	-137940.586	-21251.885	-4.935	-1.458	OD.9	85-24-25	30.881
NT.1	OD.10	23-30-40	83-21-55	30.804	-137939.500	-21252.069	-5.095	-1.618	OD.10	83-21-55	30.804
NT.1	OD.11	22-28-50	82-20-05	30.801	-137938.951	-21252.141	-5.188	-1.711	OD.11	82-20-05	30.801
NT.1	OD.12	19-13-35	79-04-50	30.953	-137937.196	-21252.274	-5.377	-1.900	OD.12	79-04-50	30.953
NT.1	OD.13	15-39-05	75-30-20	31.189	-137935.253	-21252.471	-5.581	-2.104	OD.13	75-30-20	31.189
NT.1	OD.14	12-16-15	72-07-30	31.553	-137933.374	-21252.637	-5.904	-2.427	OD.14	72-07-30	31.553
NT.1	OD.15	11-00-05	70-51-20	31.747	-137932.648	-21252.676	-5.730	-2.253	OD.15	70-51-20	31.747
NT.1	OD.16	9-11-45	69-03-00	32.180	-137931.553	-21252.614	-5.328	-1.851	OD.16	69-03-00	32.180
NT.1	OD.17	8-10-20	68-01-35	32.504	-137930.897	-21252.524	-5.329	-1.852	OD.17	68-01-35	32.504
NT.1	OD.18	8-33-45	68-25-00	20.746	-137935.428	-21263.376	-5.168	-1.691	OD.18	68-25-00	20.746
NT.1	OD.19	18-35-15	78-26-30	22.653	-137938.520	-21260.473	-5.205	-1.728	OD.19	78-26-30	22.653
NT.1	OD.20	23-39-50	83-31-05	22.571	-137940.511	-21260.240	-5.267	-1.790	OD.20	83-31-05	22.571
NT.1	OD.21	28-07-50	87-59-05	22.834	-137942.256	-21259.847	-5.283	-1.806	OD.21	87-59-05	22.834
NT.1	OD.22	35-46-55	95-38-10	23.380	-137945.355	-21259.400	-5.361	-1.884	OD.22	95-38-10	23.380
NT.1	OD.23	43-49-55	103-41-10	23.982	-137948.733	-21259.366	-5.478	-2.001	OD.23	103-41-10	23.982

器械点	视準点	夾角	方向角	距離	X座標	Y座標	比高	標高	測点名	逆算方向角	逆算距離
NT. 1	NT. 2		59-51-15		-137943.059	-21282.667		3.477	NT. 1		
NT. 1	OD. 24	59-09-00	119-00-15	19.815	-137952.667	-21265.337	-5.871	-2.394	OD. 24	119-00-15	19.815
NT. 1	OD. 25	55-41-35	115-32-50	18.633	-137951.095	-21265.856	-5.769	-2.292	OD. 25	115-32-50	18.633
NT. 1	OD. 26	54-05-30	113-56-45	18.217	-137950.453	-21266.018	-5.820	-2.343	OD. 26	113-56-45	18.217
NT. 1	OD. 27	49-52-40	109-43-55	17.559	-137948.987	-21266.139	-5.805	-2.328	OD. 27	109-43-55	17.559
NT. 1	OD. 28	44-25-40	104-16-55	16.874	-137947.222	-21266.315	-5.852	-2.375	OD. 28	104-16-55	16.874
NT. 1	OD. 29	41-35-15	101-26-30	16.621	-137946.356	-21266.376	-5.710	-2.233	OD. 29	101-26-30	16.621
NT. 1	OD. 30	37-49-05	97-40-20	16.338	-137945.240	-21266.475	-5.685	-2.208	OD. 30	97-40-20	16.338
NT. 1	OD. 31	29-58-50	89-50-05	15.982	-137943.013	-21266.685	-5.511	-2.034	OD. 31	89-50-05	15.982
NT. 1	OD. 32	26-09-15	86-00-30	15.956	-137941.948	-21266.750	-5.299	-1.822	OD. 32	86-00-30	15.956
NT. 1	OD. 33	20-58-40	80-49-55	15.327	-137940.617	-21267.536	-5.373	-1.896	OD. 33	80-49-55	15.327
NT. 1	OD. 34	30-33-55	90-25-10	10.548	-137943.136	-21272.119	-5.360	-1.883	OD. 34	90-25-10	10.548
NT. 1	OD. 35	46-00-05	105-51-20	10.851	-137946.024	-21272.229	-5.390	-1.913	OD. 35	105-51-20	10.851
NT. 1	OD. 36	54-17-25	114-08-40	12.633	-137948.226	-21271.139	-5.770	-2.293	OD. 36	114-08-40	12.633
NT. 1	OD. 37	58-47-50	118-39-05	13.526	-137949.544	-21270.797	-5.177	-1.700	OD. 37	118-39-05	13.526
NT. 1	OD. 38	67-29-20	127-20-35	14.514	-137951.863	-21271.128	-5.709	-2.232	OD. 38	127-20-35	14.514
NT. 1	OD. 39	71-30-55	131-22-10	15.957	-137953.605	-21270.692	-5.172	-1.695	OD. 39	131-22-10	15.957
NT. 1	OD. 40	74-20-45	134-12-00	17.524	-137955.276	-21270.104	-5.502	-2.025	OD. 40	134-12-00	17.524

6.2 点検調書

次ページ以降に「橋梁定期点検要領（国土交通省道路局 平成 31 年 3 月）」に準拠して作成した点検調書を示す。

定期点検記録様式(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果

起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID
	経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"	

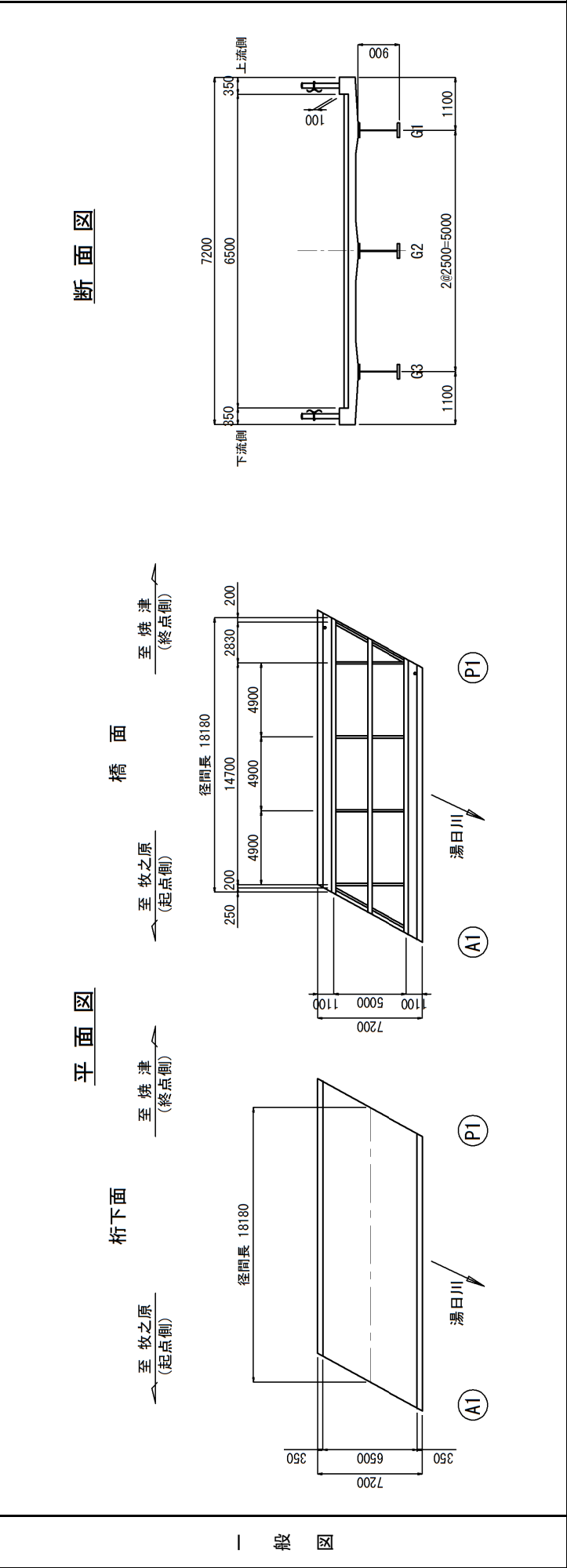
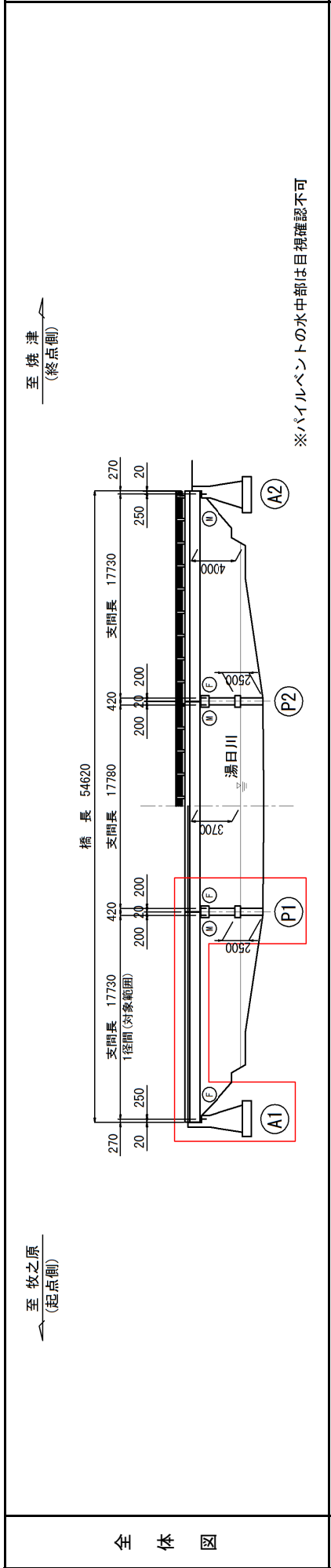
フリカナ 橋梁名	フルカガハシ 古川橋		路線名	町道古川川尻線		吉田町役場	橋梁コード	0005-0252-00		
	所在地	自 静岡県榛原郡吉田町住吉		距離標	至 静岡県榛原郡吉田町住吉			管轄	建設課	調書更新年月日
								現地確認年月日	2019年5月23日	

供用開始日	1969年	橋長	54.62m	活荷重・等級	TL-20・1 等橋	適用示方書	昭和39年 鋼道路橋設計示方書				調査年								
上部構造形式	単純非合成H形鋼橋 3連			全幅員	7.20m	地覆幅	0.35m	歩道幅	0.00m	車道幅・車線	1	2.50m	1	0.00m	中央分離帯	0.00m	交通条件	台	
下部構造形式	重力式橋台 2基 パイラルベント橋脚 2基			有効幅員	6.50m	車道幅・車線	2.50m	1	2.50m	1	0.00m	0.35m	0.00m	0.00m	大型混入率	%			
基礎形式	直接基礎 2基 既製RC杭 φ600 2基			備考	<ul style="list-style-type: none"> ■点検方法：橋梁点検車点検 ■交通規制：片側交互通行規制 ■交差条件：湯日川 ■上部構造分割の有無：無 ■第三者点検実施の有無：無 ■海岸線からの距離：360m 													荷重制限	t

健全度 (橋単位)	橋梁診断員	
総合検査結果		

定期点検記録様式(その2) 径間別一般図	径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	0005-0252-00
			終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	橋梁コード	0005-0252-00

フリガナ 橋梁名	フルカワパン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------



○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない箇所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
1	2019.05.23	2	2019.05.23	3	2019.05.23	4	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	橋梁全景 右側が起点	メモ(必要に応じて)	橋面全景 手前が起点	メモ(必要に応じて)	側面全景 右側が起点	メモ(必要に応じて)	
							
写真番号	4	写真番号	5	写真番号	6	写真番号	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	下面全景 手前が起点	メモ(必要に応じて)	A1橋台	メモ(必要に応じて)	P1橋脚		
							

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号		1		起点側		緯度 34° 45' 22"		経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22"		経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
----------------------	--	------	--	---	--	-----	--	-------------------	--	--------------------	--	-----	--	-------------------	--	--------------------	--	------	--

フリガナ	フルカワハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00												
橋梁名	古川橋																		

写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
7	2019.05.23	8	2019.05.23	9	2019.05.23	10	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	A1支承 固定	メモ(必要に応じて)	P1支承 可動	メモ(必要に応じて)	A1伸縮装置 車道部 左側が起点	メモ(必要に応じて)	A1伸縮装置 車道部 右側が起点
							
写真番号	10	写真番号	11	写真番号	12	写真番号	12
撮影年月日	2019.05.23	撮影年月日	2019.05.23	撮影年月日	2019.05.23	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	A1伸縮装置 伸縮装置端部(地覆)は目地材が設置されてい ない。	メモ(必要に応じて)	P1伸縮装置 車道部 右側が起点	メモ(必要に応じて)	P1伸縮装置 伸縮装置端部(地覆)は目地材が設置されている。	メモ(必要に応じて)	
							

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号		1							
フリガナ 橋梁名		フルカハシ 古川橋		町道古川川尻線							
管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード							
0005-0252-00											
起点側		緯度 34° 45' 22"		緯度 34° 45' 22"							
経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"		橋梁ID							
写真番号	13	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	14	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	15	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 A1橋台 左が起点側 桁かかり長 SE=600mm	メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 A1支承 左が起点側 S=300mm	メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 P1橋脚 左が起点側 桁かかり長 SE=450mm	メモ(必要に応じて)		メモ(必要に応じて)		メモ(必要に応じて)	
											
写真番号	16	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	17	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	18	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1
メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 P1支承 左が起点側 S=320mm	メモ(必要に応じて)	下り縁側防護柵 路面からの高さは900mmである。 地覆からの高さは800mmである。 地覆高さ:100mm	メモ(必要に応じて)	上り縁側防護柵 路面からの高さは900mmである。 地覆からの高さは800mmである。 地覆高さ:100mm	メモ(必要に応じて)		メモ(必要に応じて)		メモ(必要に応じて)	
											

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	20	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	21	撮影年月日	2019.05.23	
径間番号	1		径間番号	1		径間番号	1				
メモ(必要に応じて)	橋名板		メモ(必要に応じて)	橋名板		メモ(必要に応じて)	竣工版				
現地状況写真											
写真番号	22	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	23	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	24	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	竣工版		メモ(必要に応じて)	スラブドレーンの設置状況 スラブドレーンが設置されており、床版防水は施工されていると推定される。		メモ(必要に応じて)	添架物 水道管φ120×1条が設置されている。 添架物の管理者は不明である。				
写真											







定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号		1		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID	
----------------------	--	------	--	---	--	-----	--	----------	--	-----------------------------	--	-----	--	----------	--	-----------------------------	--	------	--

フリガナ	フルカワハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00												
橋梁名	古川橋																		

写真番号	25	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	26	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	27	撮影年月日	2019.05.23								
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1								
メモ(必要に応じて)	添架物 情報ケーブール管φ60×2条が設置されている。 添架物の管理者は不明である。		排水ます土砂撤去後		点検状況 橋梁点検車点検														
現地状況																			
写真番号	28	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	29	撮影年月日	2019.05.23	写真番号											
径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号	1	径間番号											
メモ(必要に応じて)	規制状況 片側交互通行規制		作業開始前打ち合わせ状況																
写真																			

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------	--

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	30	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	31	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	32	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
メモ(必要に応じて)	橋面全景 手前が起点			メモ(必要に応じて)	側面全景 右側が起点			メモ(必要に応じて)	下面全景 手前が起点		
											
写真番号	33	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	34	撮影年月日	2019.05.23	写真番号	35	撮影年月日	2019.05.23
径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
メモ(必要に応じて)	P2橋脚			メモ(必要に応じて)	P1支承 可動			メモ(必要に応じて)	P2支承 固定		
											

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------	--






フリガナ 橋梁名	フルカハパン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	撮影年月日	撮影年月日
36	2019.05.23	37	2019.05.23	38	2019.05.23		
径間番号	2	径間番号	2	径間番号	2		
メモ(必要に応じて)	P2伸縮装置 車道部 右側が起点	メモ(必要に応じて)	P2伸縮装置 伸縮装置端部(地覆)は目地材が設置されている。	メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 P1橋脚 左が起点側 桁かかり長 SE=550mm		
							
写真番号	39	写真番号	40	写真番号	41		
径間番号	2	径間番号	2	径間番号	2		
メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 P1支承 左が起点側 S=310mm	メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 P2橋脚 左が起点側 桁かかり長 SE=550mm	メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 P2支承 左が起点側 S=450mm		
							

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	撮影年月日	撮影年月日
42	2019.05.23	43	2019.05.23	44	2019.05.23	2019.05.23	2019.05.23
径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3	3	3
メモ(必要に応じて)	橋面全景 手前が起点	メモ(必要に応じて)	側面全景 右側が起点	メモ(必要に応じて)	下面全景 手前が起点		
							
写真番号	45	写真番号	46	写真番号	47	2019.05.23	2019.05.23
径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3	3	3
メモ(必要に応じて)	A2橋台	メモ(必要に応じて)	P2支承 可動	メモ(必要に応じて)	A2支承 固定		
							

現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
----------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ	フルカハバシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
48	2019.05.23	49	2019.05.23	50	2019.05.23	51	2019.05.23
径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3
メモ(必要に応じて)	A2伸縮装置 車道部 右側が起点	メモ(必要に応じて)	A2伸縮装置 伸縮装置端部(地覆)は目地材が設置されてい ない。	メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 P2橋脚 左が起点側 桁かかり長 SE=450mm	メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 P2支承 左が起点側 S=200mm
							
写真番号	51	写真番号	52	写真番号	53	写真番号	2019.05.23
径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3	径間番号	3
メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 P2支承 左が起点側 S=200mm	メモ(必要に応じて)	橋座の状況写真 A2橋台 右が起点側 桁かかり長 SE=650mm	メモ(必要に応じて)	支承の縁端距離 A2支承 左が起点側 S=570mm		
							

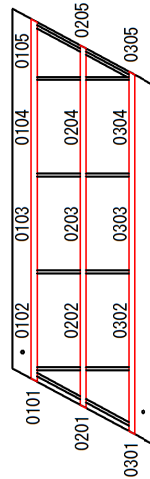
現 地 状 況 写 真

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課			橋梁コード		0005-0252-00
フルカナ 橋梁名	フリガナ 橋梁名								

フリガナ 橋梁名	フリガナ 橋梁名								
フルカナ 橋梁名	フリガナ 橋梁名								

【要素番号図】

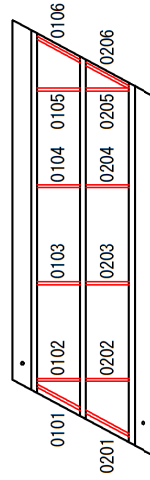
主桁 (Mg)



(A1)

(P1)

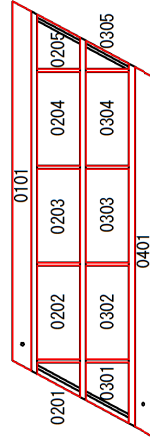
横桁 (Gr)



(A1)

(P1)

床版 (Ds)



(A1)

(P1)

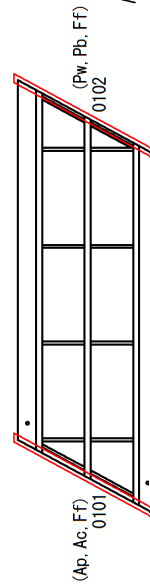
上部構造その他 (Sx)
(床版固定金具、間詰めモルタル)



(A1)

(P1)

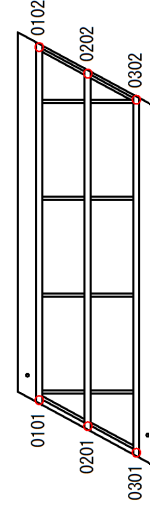
橋台 (Ap, Ac), 橋脚 (Pw, Pb), 基礎 (Ff)



(A1)

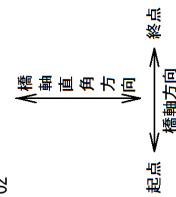
(P1)

支承 (Bh, Ba, Bc)



(A1)

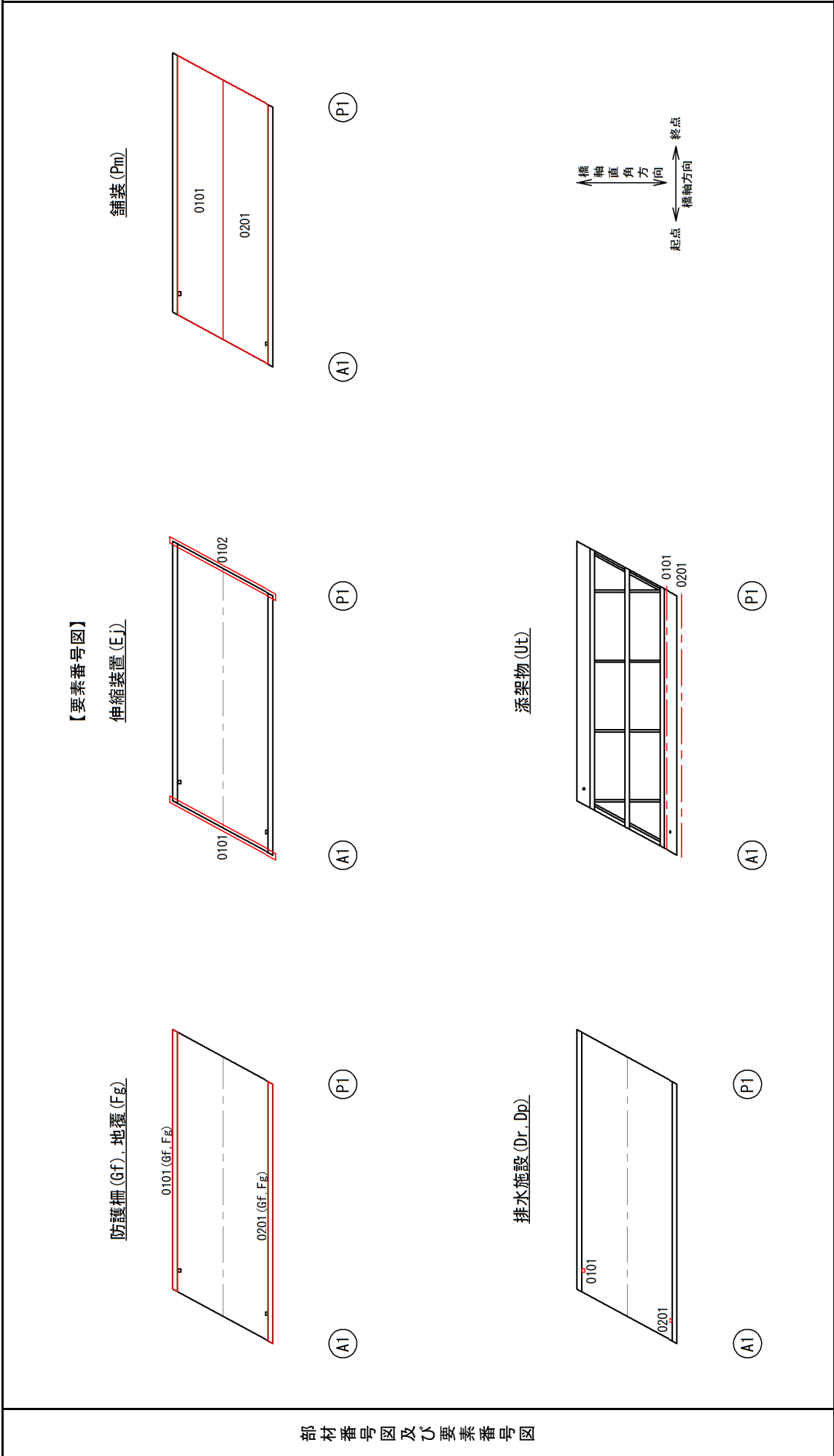
(P1)



部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
フルカハシ 古川橋									

フリガナ 橋梁名	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
フルカハシ 古川橋									

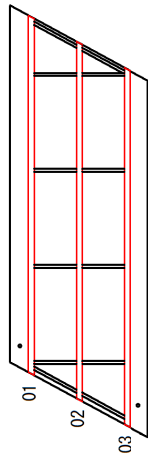


定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	1	起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID
----------------------------	------	---	-----	----------	-----------------------------	-----	----------	-----------------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

【部材番号図】

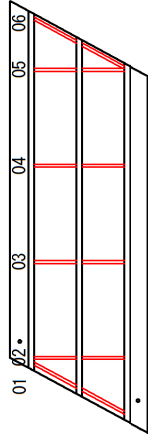
主桁 (Mg)



(A1)

(P1)

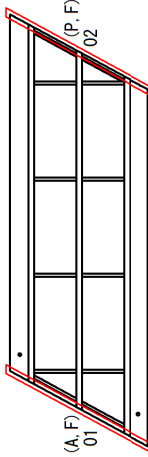
横桁 (Gr)



(A1)

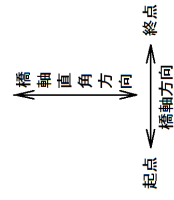
(P1)

橋台 (A), 橋脚 (P), 基礎 (F)



(A1)

(P1)

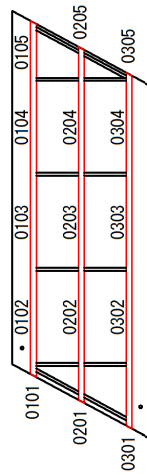


部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課			橋梁コード		0005-0252-00
フルカハシ 古川橋									

【要素番号図】

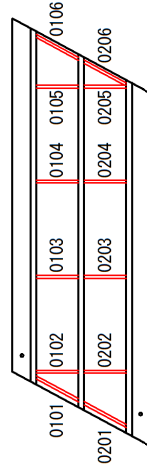
主桁 (Mg)



(P1)

(P2)

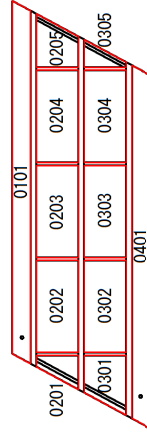
横桁 (Cr)



(P1)

(P2)

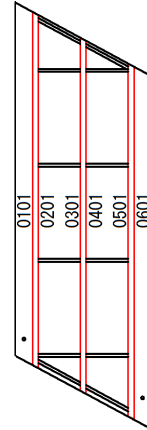
床版 (Ds)



(P1)

(P2)

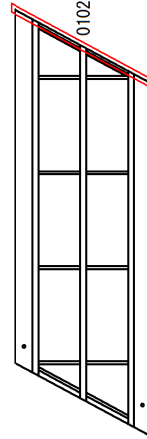
上部構造その他 (Sx)
(床版固定金具, 間詰めモルタル)



(P1)

(P2)

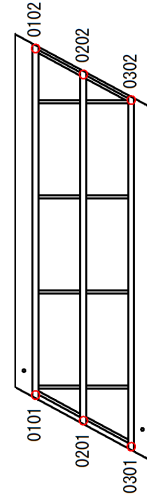
橋脚 (Pw, Pb), 基礎 (Ff)



(P1)

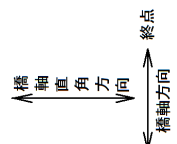
(P2)

支承 (Bh, Ba, Bc)



(P1)

(P2)



部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID
			経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"				

フリガナ	路線名	管理者	橋梁コード
フルカワハシ 古川橋	町道古川川尻線	吉田町役場建設課	0005-0252-00

【要素番号図】

防護柵 (Gf), 地覆 (Fg)

0101 (Gf, Fg)
0201 (Gf, Fg)

伸縮装置 (Ej)

0102

舗装 (Pm)

0101
0201

排水施設 (Dr, Dp)

0101
0201
0102
0202

添架物 (Ut)

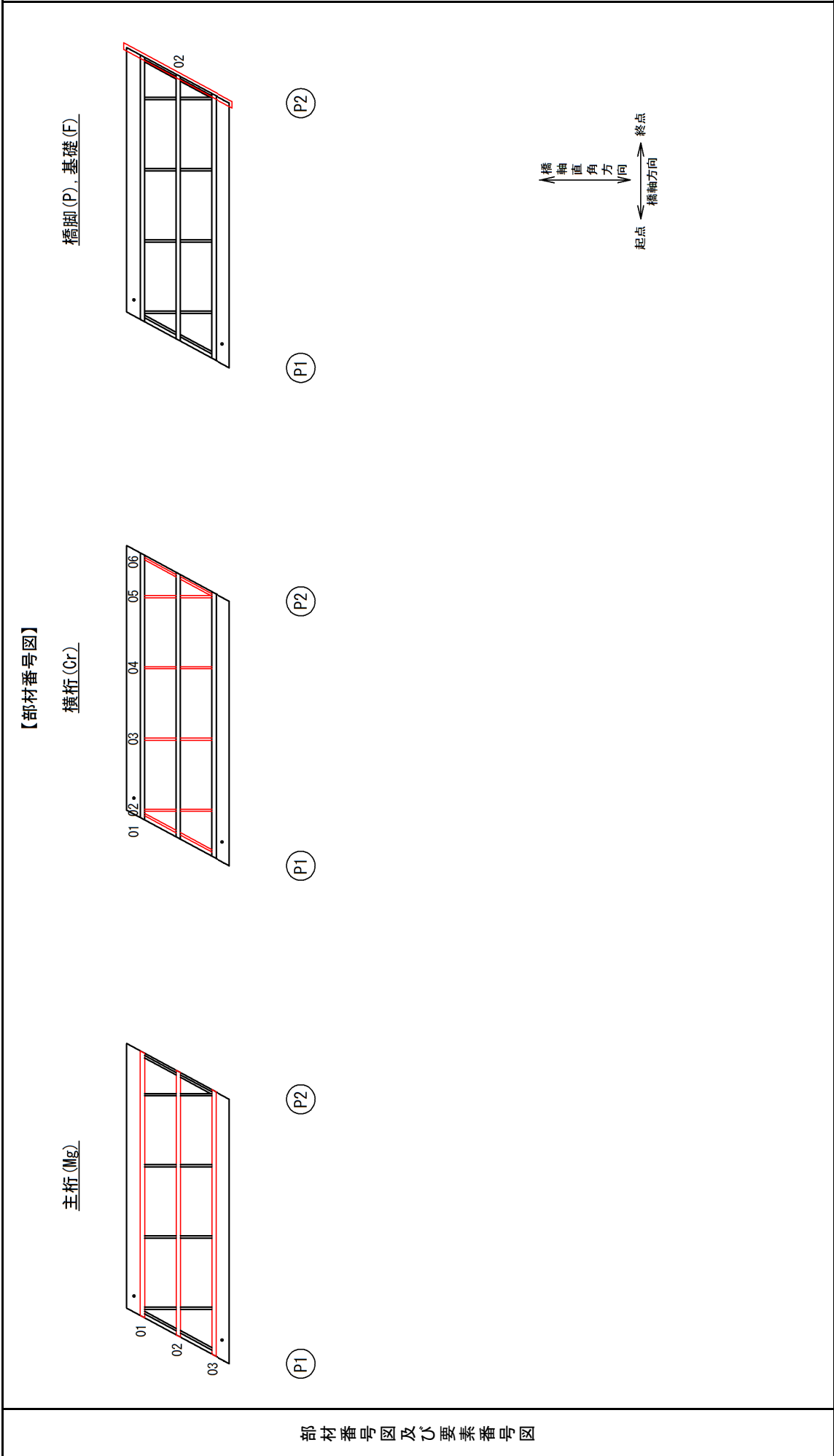
0101
0201

橋軸方向
橋軸直角方向
↑ 橋軸方向
↓ 橋軸直角方向
← 起点
→ 終点

部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
			終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	橋梁コード	0005-0252-00

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------

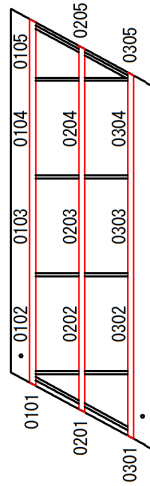


定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	3	起点側	緯度	34° 45' 22"	緯度	34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度	135° 16' 03"		経度		138° 16' 03"
フリガナ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
フルカハシ	橋梁名	古川橋							

フリガナ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
フルカハシ	橋梁名	古川橋							

【要素番号図】

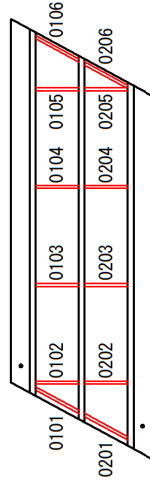
主桁 (Mg)



(P2)

(A2)

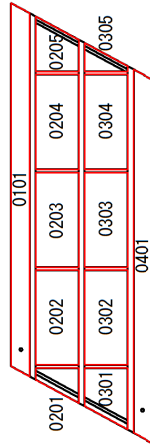
横桁 (Cr)



(P2)

(A2)

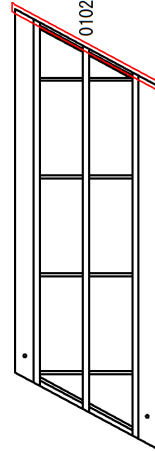
床版 (Ds)



(P2)

(A2)

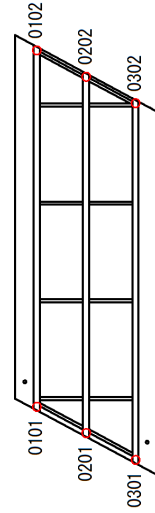
橋台 (Ap, Ac), 基礎 (F)



(P2)

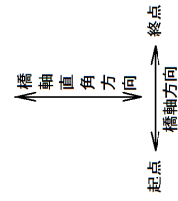
(A2)

支承 (Bh, Ba, Bc)



(P2)

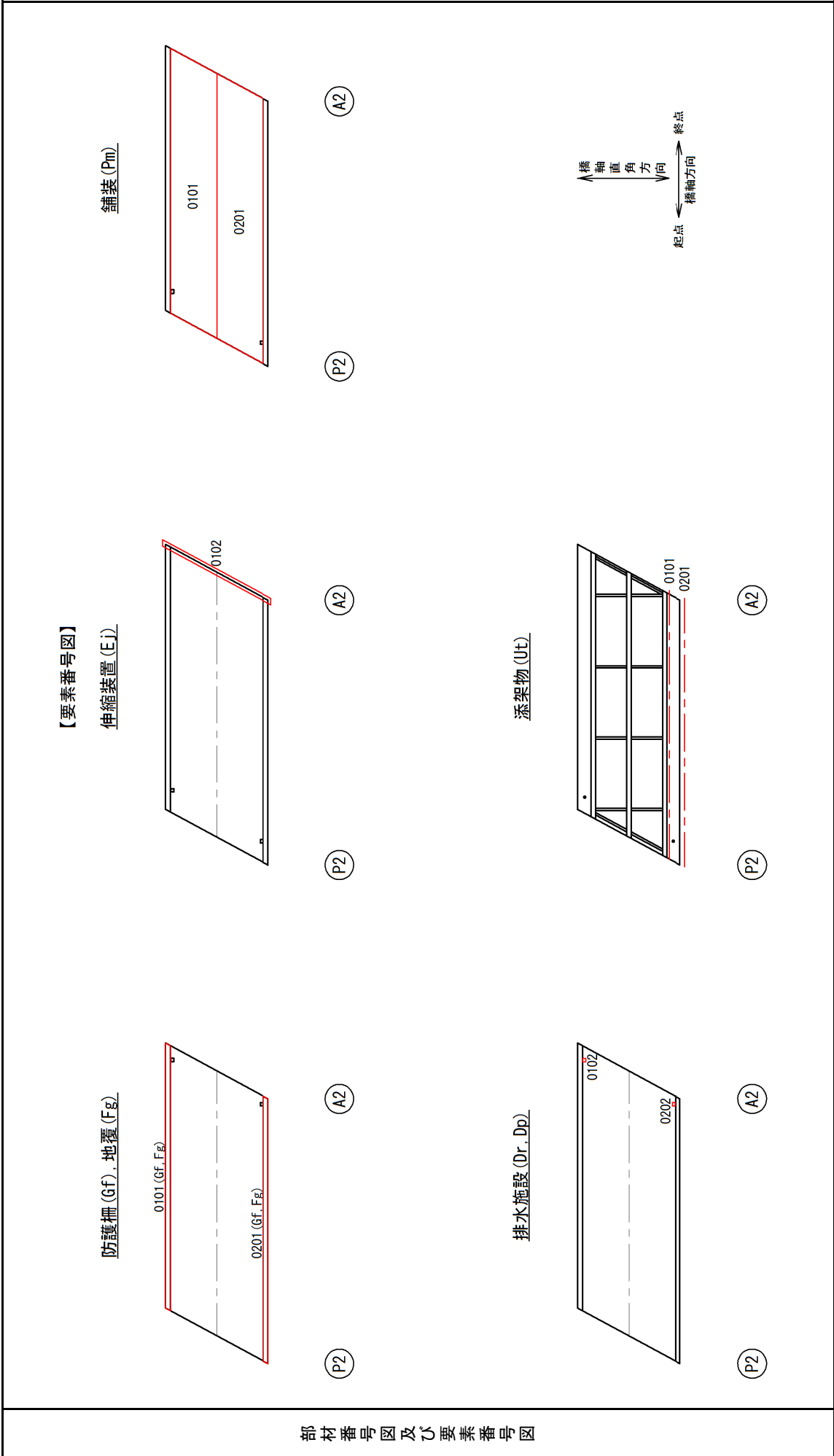
(A2)



部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID
				経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"			

フリガナ	路線名	管理者	橋梁コード
フルカワハシ 古川橋	町道古川尻線	吉田町役場建設課	0005-0252-00

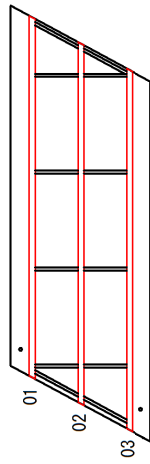


定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID
			経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"			

フリガナ 橋梁名	フルカワハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

【部材番号図】

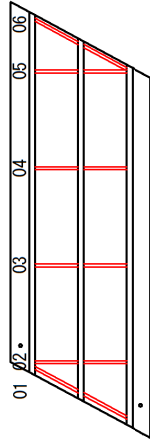
主桁 (Mg)



(P2)

(A2)

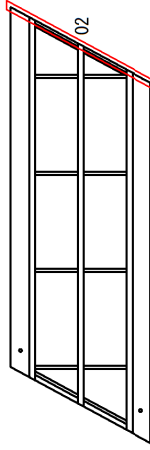
横桁 (Gr)



(P2)

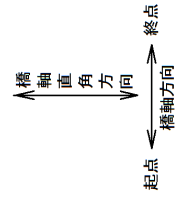
(A2)

橋脚 (P), 基礎 (F)



(P2)

(A2)



部材番号図及び要素番号図

定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 38° 16' 03"	橋梁ID	135° 16'
フリガナ 橋梁名	フルカワハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所

		部材番号	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援	橋脚柱部・壁部	P02	Pw0102	パイルベント橋脚の水中部は、水の濁りのため目視確認不可	
記録のための支援					

○近接目視又は打音、触診ができていない箇所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 35° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 38° 16' 03"	橋梁ID	135° 16'
フリガナ 橋梁名	フルカワバン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課			橋梁コード	0005-0252-00		

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所

		部材番号	部材名	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援	橋脚柱部・壁部	P02	Pw0102	パイラメント橋脚の水中部は、水の濁りのため目視確認不可		
記録のための支援						

○近接目視又は打音、触診ができていない箇所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

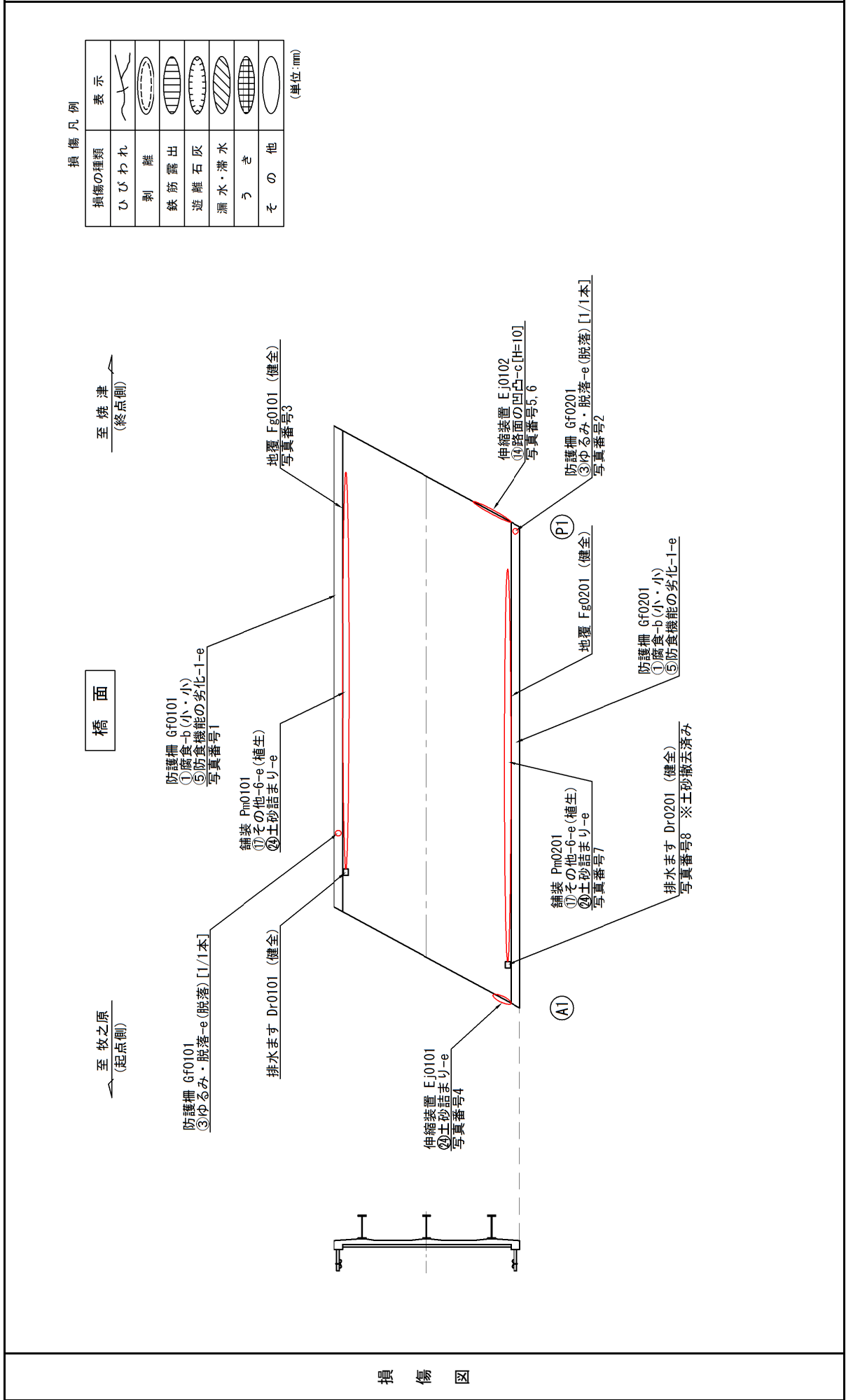
定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 38° 16' 03"	橋梁ID	135° 16'
フリガナ 橋梁名	フルカワハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所		理由	対応策・機器等の性能や条件
部材名	部材番号	要素番号	
健全性の診断のための支援			
記録のための支援			

○近接目視又は打音、触診ができていない箇所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

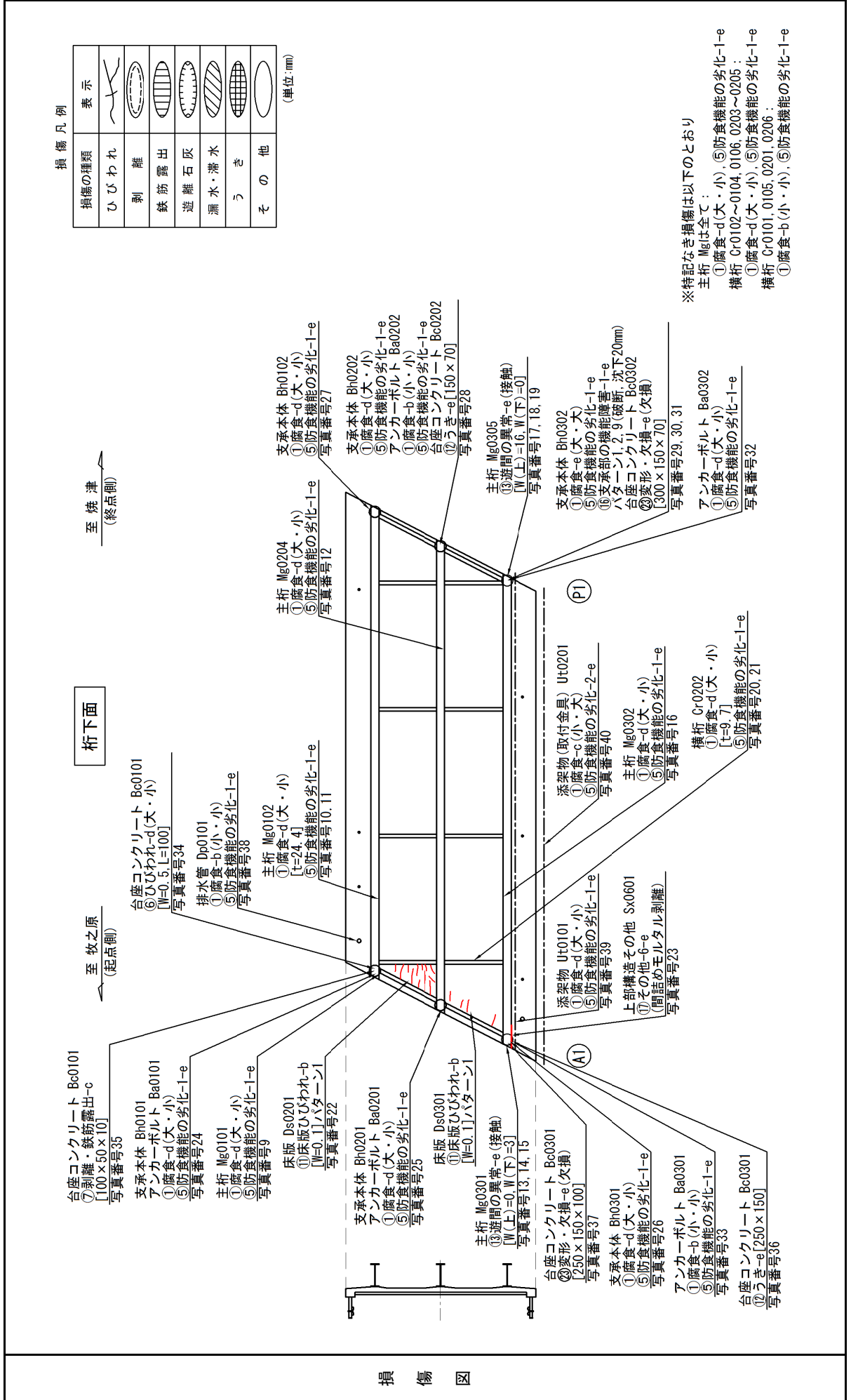
データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号		1		起点側		緯度 34° 45' 22"		緯度 34° 45' 22"		経度 138° 16' 03"		経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名		フルカハシ 古川橋		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00			

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	34° 45' 22"	緯度	34° 45' 22"	橋梁ID
			終点側	経度	135° 16' 03"	経度	138° 16' 03"	

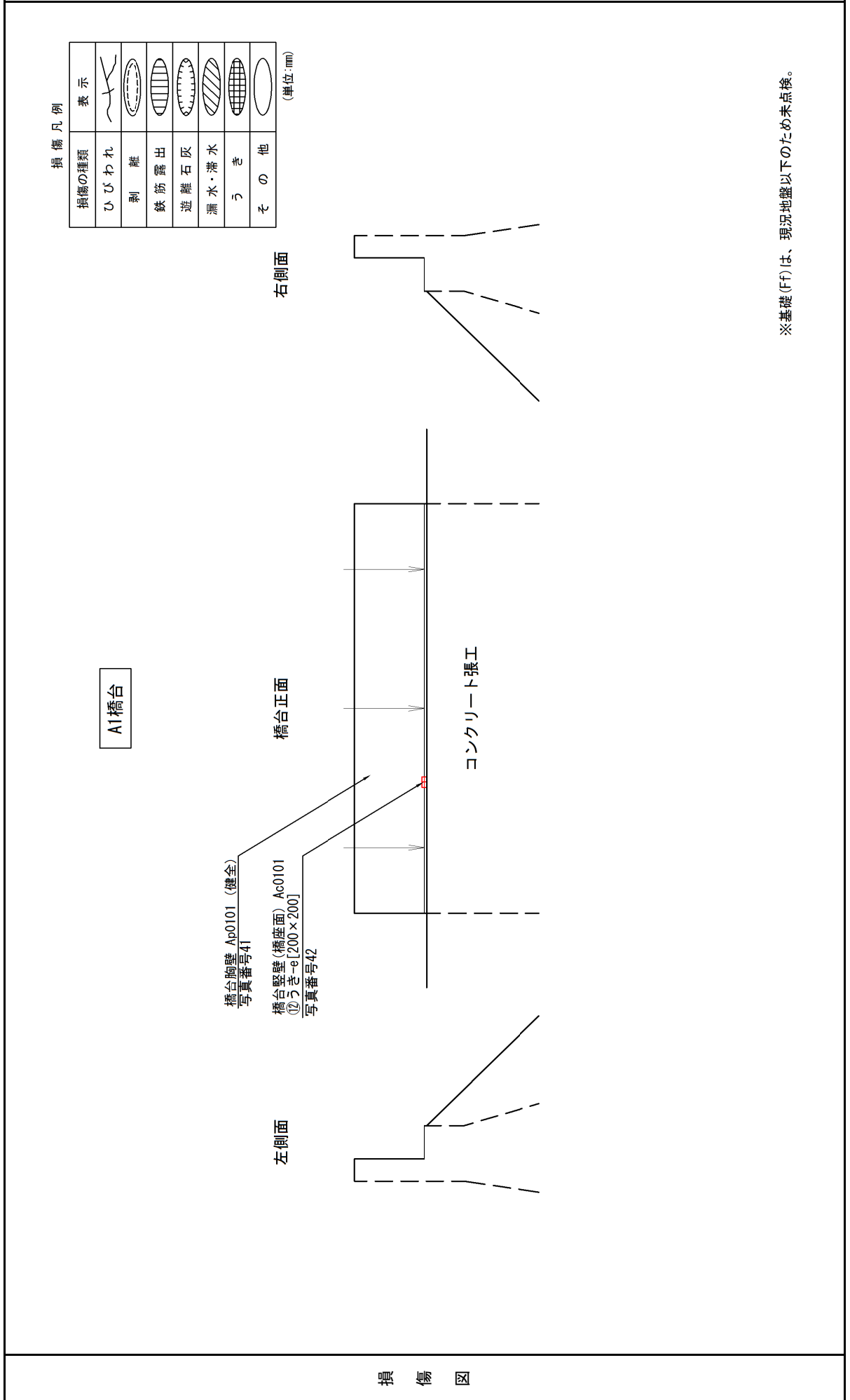
フリガナ	フルカワハン	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						



※特記なき損傷は以下のとおり
主桁 Mgは全て:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
横桁 Cr0102~0104, 0106, 0203~0205:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
横桁 Cr0101, 0105, 0201, 0206:
①腐食-b(小・小), ⑤防食機能の劣化-1-e

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
					経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"		

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

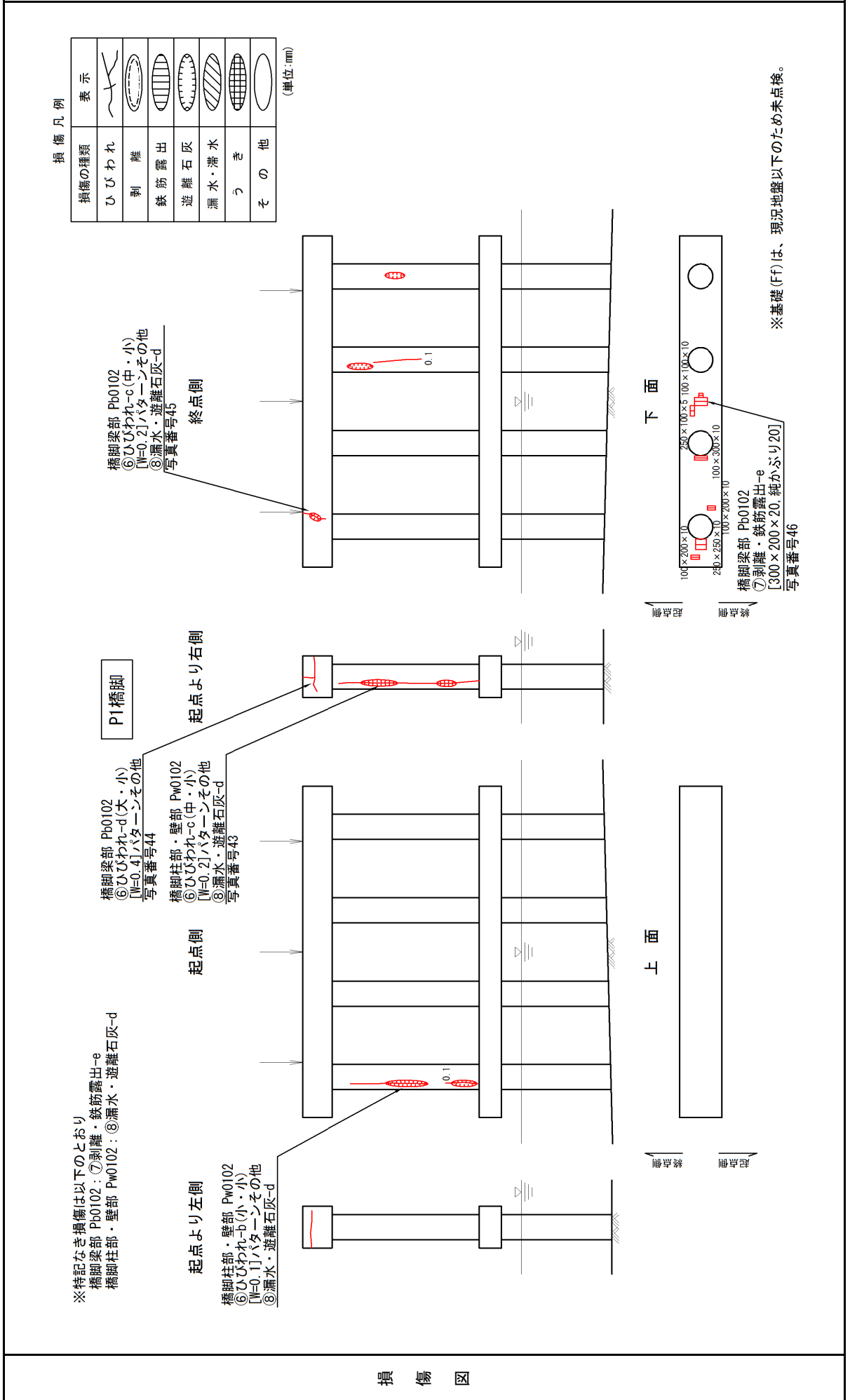


※基礎(Ff)は、現況地盤以下のため未点検。

損傷図

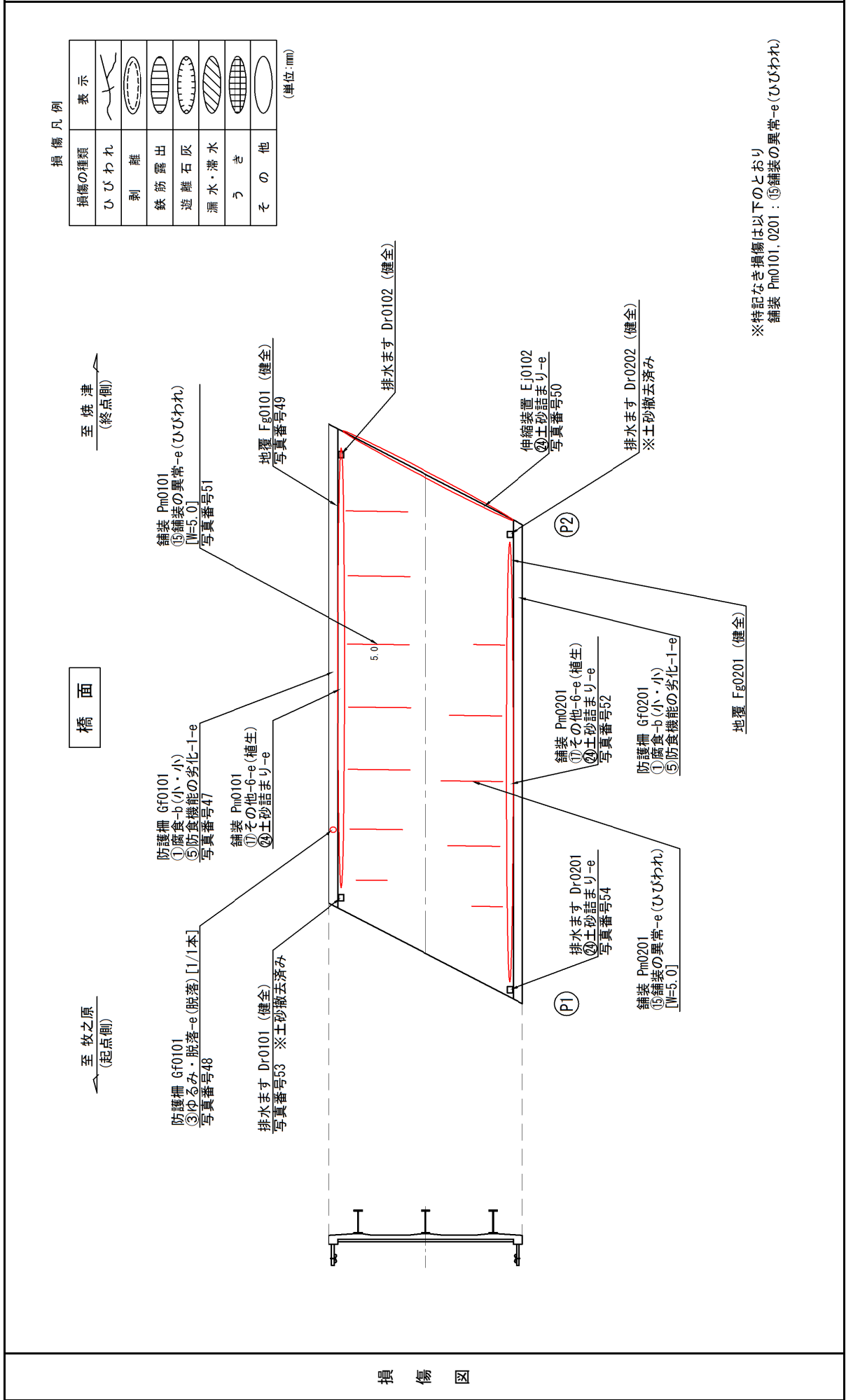
データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------	--

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------	--

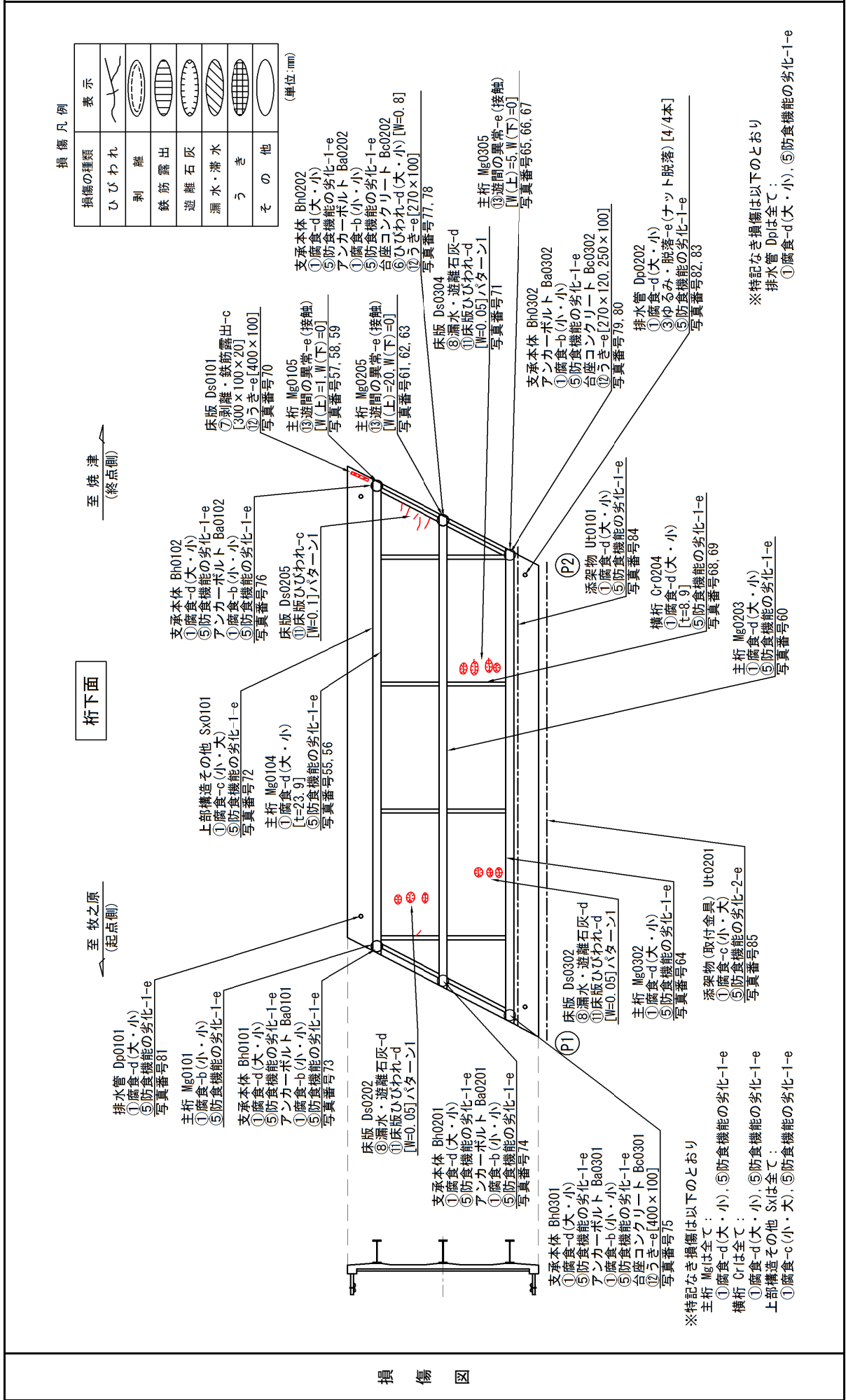
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



※特記なき損傷は以下のとおり
 舗装 Pm0101, 0201 : ⑮舗装の異常-e(ひびわれ)

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



損傷凡例 (単位:mm)

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・滲水	
うき	
その他	

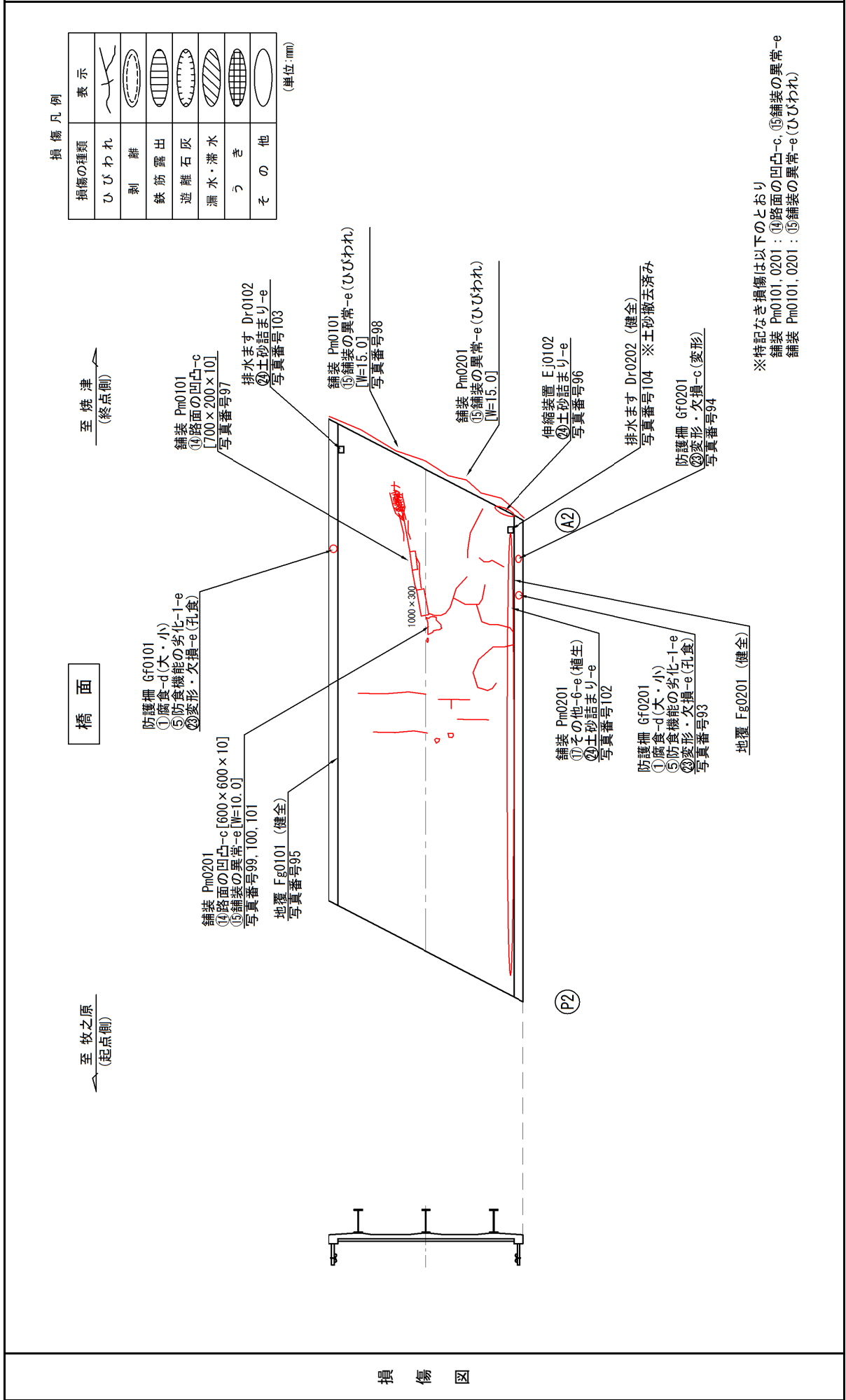
※特記なき損傷は以下のとおり
 主桁 Mgは全て:
 ①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
 横桁 Crは全て:
 ①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
 上部構造その他 Sxは全て:
 ①腐食-c(小・大), ⑤防食機能の劣化-1-e

※特記なき損傷は以下のとおり
 排水管 Dpは全て:
 ①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e

損傷図

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	3	起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID	
------------------	--	------	---	-----	----------	-----------------------------	-----	----------	-----------------------------	------	--

フリガナ	フルカワハン	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						



損傷凡例 (単位:mm)

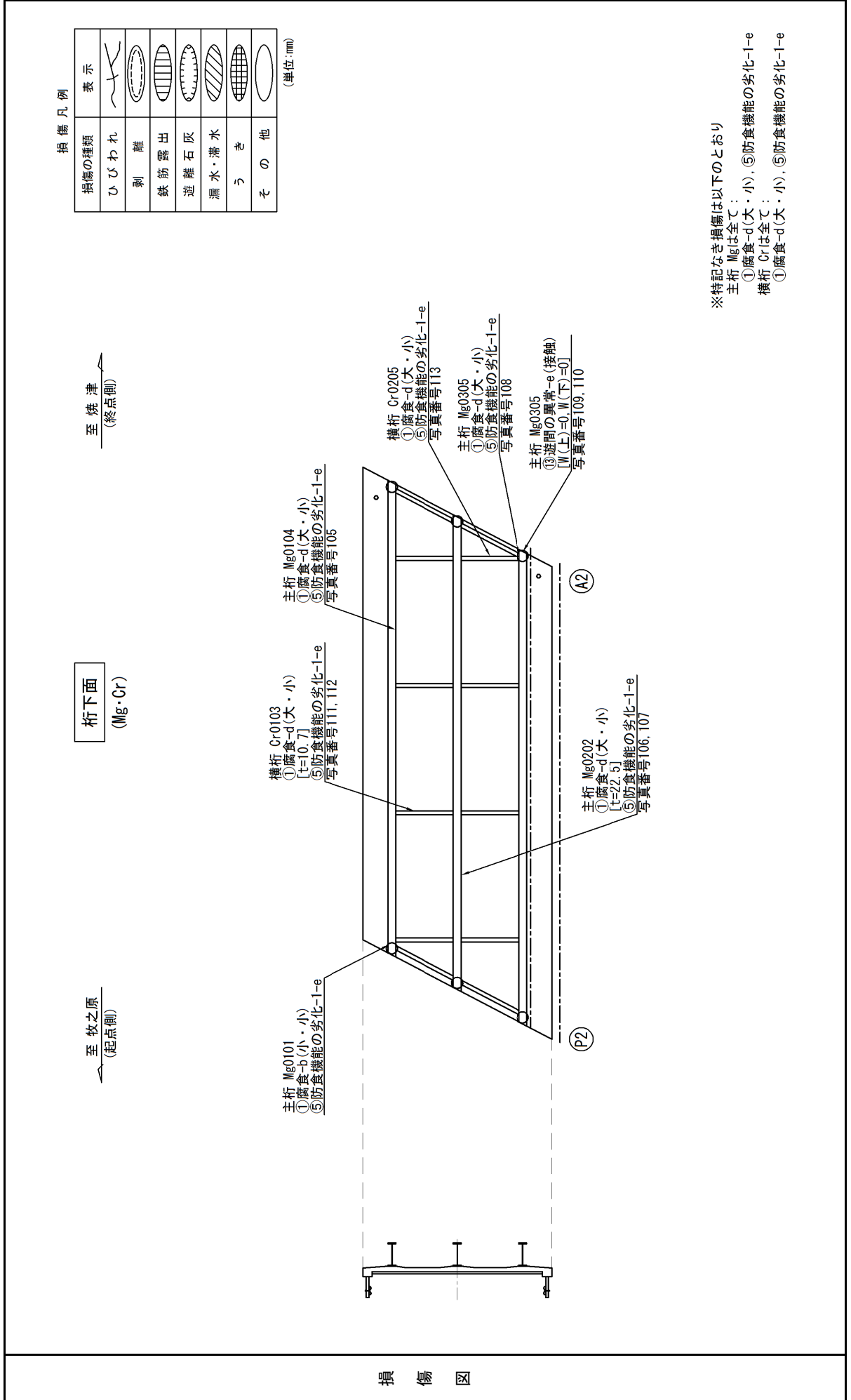
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・滞水	
うき	
その他	

※特記なき損傷は以下のとおり
 舗装 Pm0101, 0201 : ④路面の凹凸-c, ⑮舗装の異常-e
 舗装 Pm0101, 0201 : ⑮舗装の異常-e(ひびわれ)

損傷図

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課			橋梁コード	0005-0252-00		

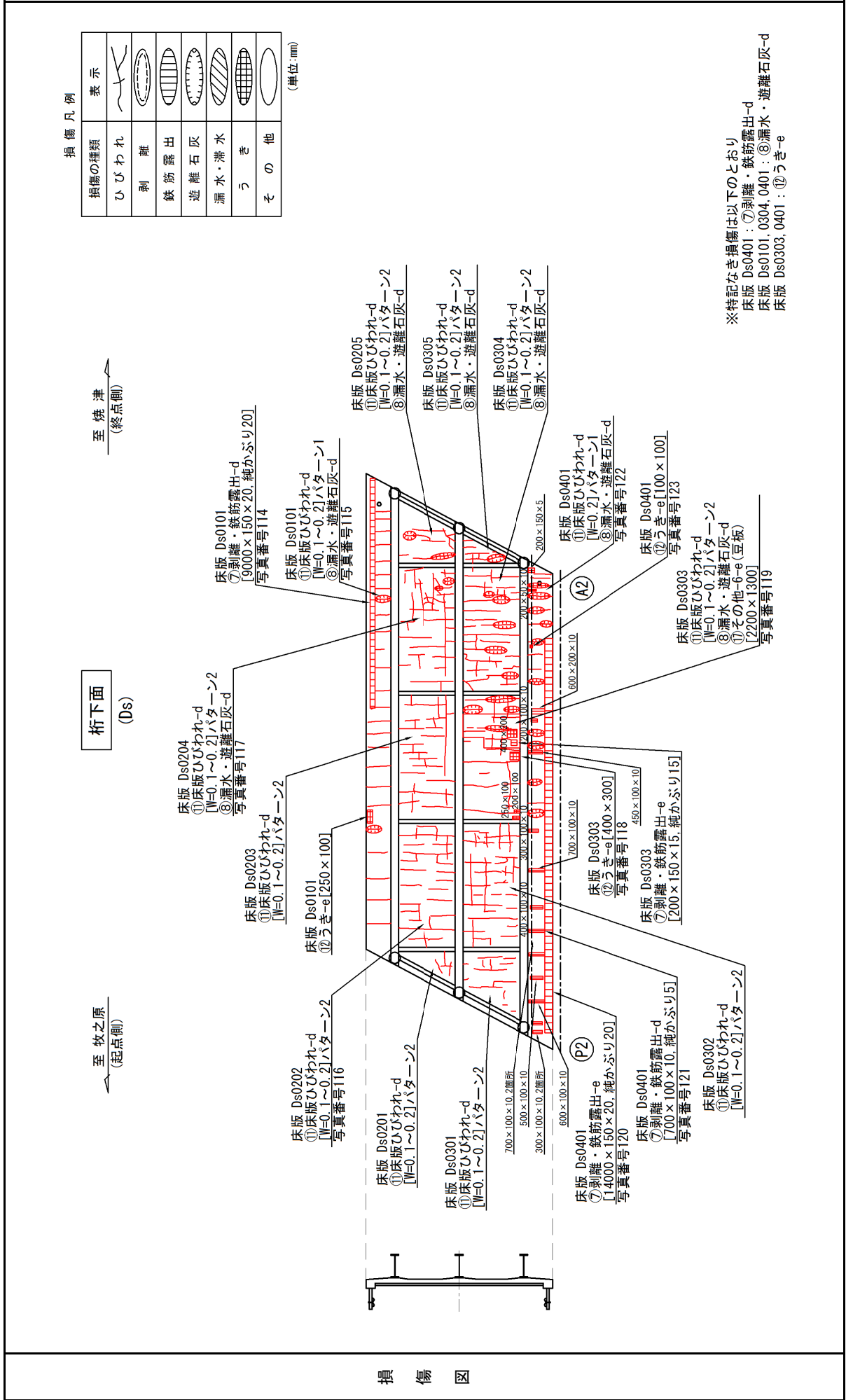
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課			橋梁コード	0005-0252-00		
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	--	--	-------	--------------	--	--



※特記なき損傷は以下のとおり
主桁 Mgは全て:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e
横桁 Crは全て:
①腐食-d(大・小), ⑤防食機能の劣化-1-e

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

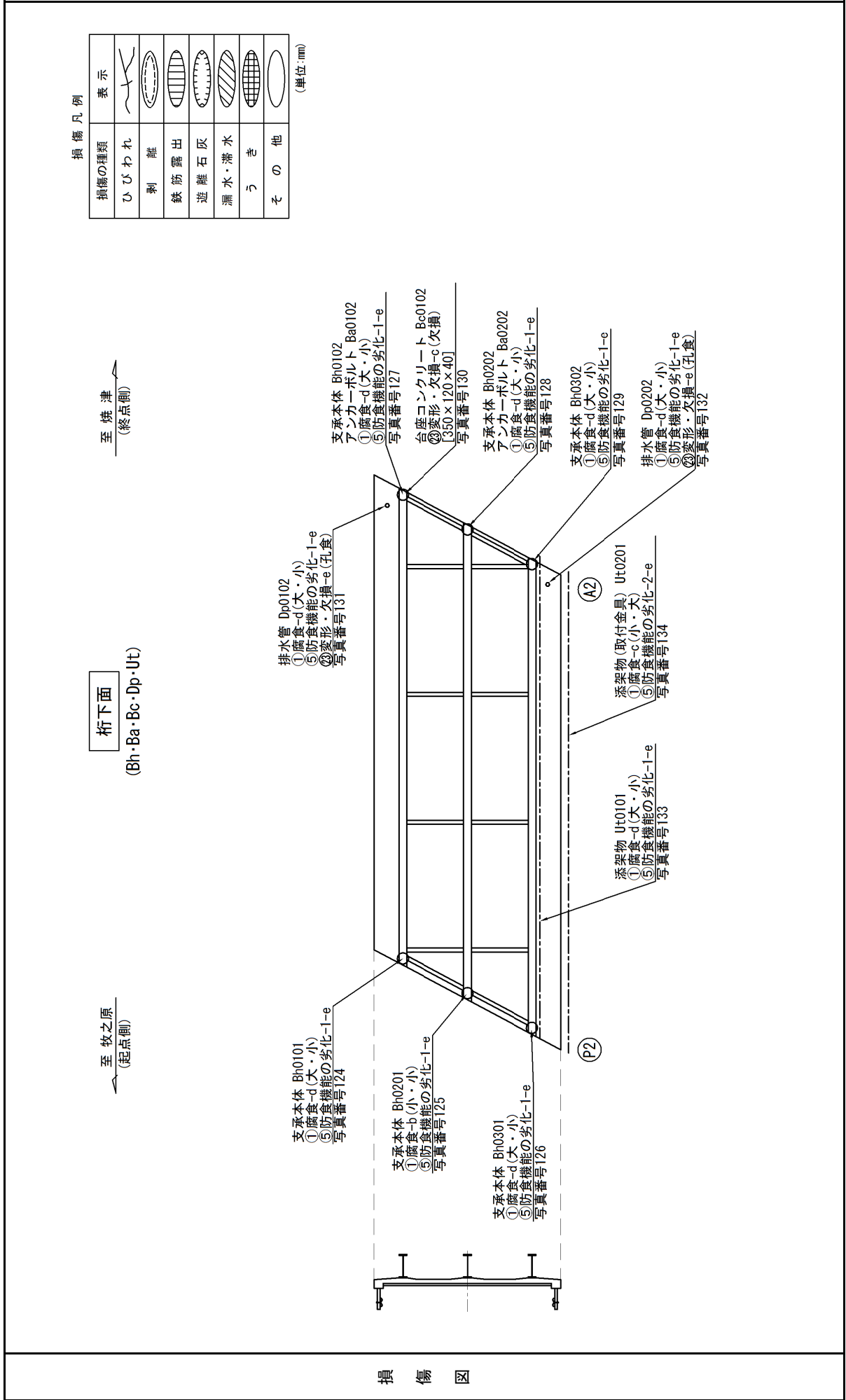
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



※特記なき損傷は以下のとおり
 床版 Ds0401 : ⑦剥離・鉄筋露出-d
 床版 Ds0101, 0304, 0401 : ⑧漏水・遊離石灰-d
 床版 Ds0303, 0401 : ⑫うき-e

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID	
------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------	--

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

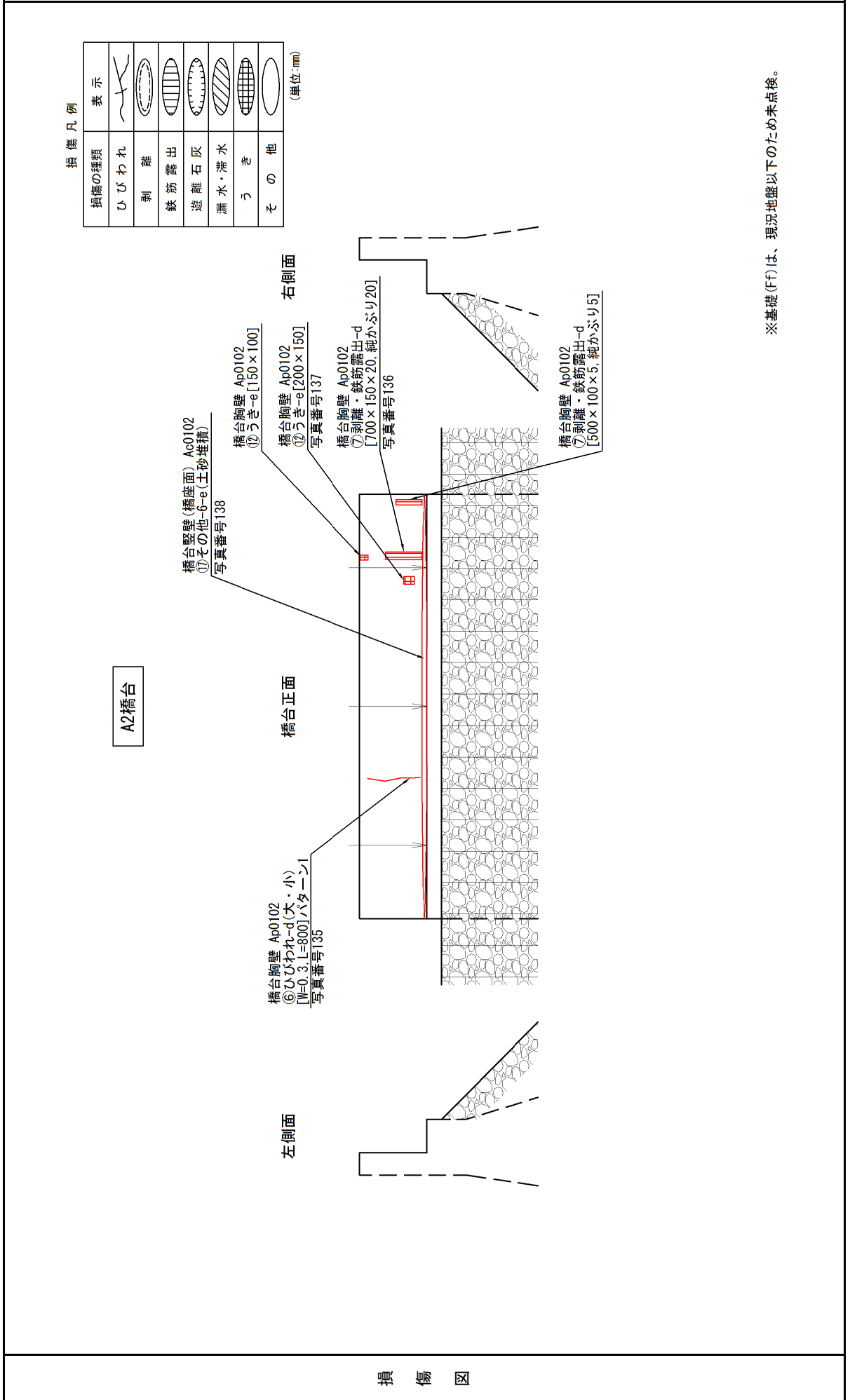


損傷凡例 (単位:mm)

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・滞水	
うき	
その他	

データ記録様式(その9) 損傷図		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"				

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------



※基礎(Ff)は、現況地盤以下のため未点検。

データ記録様式(その10) 損傷写真		1		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID			
フリガナ		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00					
フルカワハン 橋梁名 古川橋		路線名		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード			
備考															
写真番号	1	径間番号	1	写真番号	1	径間番号	1	写真番号	3	径間番号	1	写真番号	1		
部材名	防護柵	要素番号	0101	部材名	防護柵	要素番号	0201	部材名	地覆	要素番号	0101	部材名	0101		
損傷の種類	腐食	損傷程度	b	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	a		
															
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-	
メモ		⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		脱落 1/1本		メモ		メモ		メモ		計測状況	
写真番号	4	径間番号	1	写真番号	5	径間番号	1	写真番号	6	径間番号	1	写真番号	1		
部材名	伸縮装置	要素番号	0101	部材名	伸縮装置	要素番号	0102	部材名	伸縮装置	要素番号	0102	部材名	0102		
損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	損傷の種類	c		
															
前回損傷程度		-		前回損傷程度		メモ H=10mm 関連損傷 写真29~32 の直上		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-	
メモ				メモ				メモ		メモ		メモ		計測状況	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		1		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
--------------------	--	---	--	-----	--	--------------------------------	--	-----	--	--------------------------------	--	------	--

フリガナ	フルカワハン	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00	
橋梁名	古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00

備考	
----	--

写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号
7	1	8	1	9	1	10	1	11	1	12	1	13	1
舗装	0201	排水ます	0201	主桁	0201	主桁	0201	主桁	0102	主桁	0204	主桁	0204
その他	e	NON	a	腐食	a	腐食	d	腐食	d	腐食	d	腐食	d
													
前回損傷程度 - メモ 分類6(植生) ②土砂詰まり-e		前回損傷程度 - メモ 土砂撤去済み		前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e		前回損傷程度 - メモ 板厚計測 減肉部 t=24.4mm 健全部 t=28.0mm		前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e		前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e		前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		1		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名 フルカワハン 古川橋		路線名 町道古川川尻線		管理者 吉田町役場建設課		橋梁コード 0005-0252-00		備考					

写真番号	13	径間番号	1	写真番号	14	径間番号	1	写真番号	15	径間番号	1	前回損傷程度
部材名	主桁	要素番号	0301	部材名	主桁	要素番号	0301	部材名	主桁	要素番号	0301	
損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	

写真番号	16	径間番号	1	写真番号	17	径間番号	1	写真番号	18	径間番号	1	前回損傷程度
部材名	主桁	要素番号	0302	部材名	主桁	要素番号	0305	部材名	主桁	要素番号	0305	
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	

写真		写真		写真	
					
前回損傷程度 - メモ 接触		前回損傷程度 - メモ W(上)=0mm		前回損傷程度 - メモ W(下)=3mm	

写真		写真		写真	
					
前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e		前回損傷程度 - メモ 接触		前回損傷程度 - メモ W(上)=16mm	

写真		写真		写真	
					
前回損傷程度 - メモ 接触		前回損傷程度 - メモ W(上)=0mm		前回損傷程度 - メモ W(下)=3mm	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		1		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ		フルカワハン 古川橋		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
備考													

写真番号	19	径間番号	1	写真番号	20	径間番号	1	写真番号	21	径間番号	1	写真番号	24	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0305	部材名	横桁	要素番号	0202	部材名	横桁	要素番号	0202	部材名	支承本体	要素番号	0101
損傷の種類	遊間の異常	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	d

























前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-
メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ
W(下)=0mm	⑤防食機能の劣化-1-e	⑤防食機能の劣化-1-e	⑤防食機能の劣化-1-e	板厚計測 減肉部 t=9.7mm 健全部 t=12.6mm	⑤防食機能の劣化-1-e	⑤防食機能の劣化-1-e	⑤防食機能の劣化-1-e



写真番号	22	径間番号	1	写真番号	23	径間番号	1	写真番号	24	径間番号	1
部材名	床版	要素番号	0201	部材名	上部構造その他	要素番号	0601	部材名	支承本体	要素番号	0101
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	b	損傷の種類	その他	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d



損傷写真


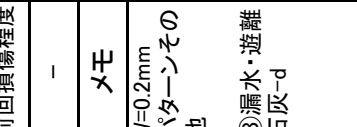
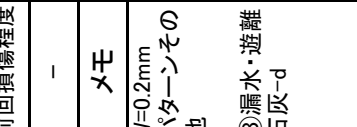





データ記録様式(その10) 損傷写真		径間番号		1		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID							
フリガナ	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00																		
備考																									
写真番号	25	径間番号	1	写真番号	26	径間番号	1	写真番号	27	径間番号	1	写真番号	30	径間番号	1	写真番号	30	径間番号	1	写真番号	0102	径間番号	0102		
部材名	支承本体	要素番号	0201	部材名	支承本体	要素番号	0301	部材名	支承本体	要素番号	0301	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302		
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d		
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-			
メモ		⑤防食機能の劣化-1-e Ba0201に同損傷あり。		メモ		⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		⑤防食機能の劣化-1-e			
																									
写真番号	28	径間番号	1	写真番号	29	径間番号	1	写真番号	30	径間番号	1	写真番号	30	径間番号	1	写真番号	30	径間番号	1	写真番号	0302	径間番号	0302		
部材名	支承本体	要素番号	0202	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	支承本体	要素番号	0302		
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	e		
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-			
メモ		⑤防食機能の劣化-1-e Ba0202 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e Be0202 ⑦うき-e 150×70mm		メモ		分類1 パターン 1,2,9(破断, 沈下20mm) ①腐食-e ⑤防食機能の劣化-1-e		メモ		写真29の別 アングル Be0302 ②変形・欠損 -e(欠損) 300×150× 70mm		メモ		写真29の別 アングル Be0302 ②変形・欠損 -e(欠損) 300×150× 70mm		メモ		写真29の別 アングル Be0302 ②変形・欠損 -e(欠損) 300×150× 70mm		メモ		写真29の別 アングル Be0302 ②変形・欠損 -e(欠損) 300×150× 70mm			
																									

データ記録様式(その10) 損傷写真		1		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID			
フリガナ		径間番号		路線名		管理者		町道古川川尻線		吉田町役場建設課		橋梁コード			
フルカワハン 古川橋												0005-0252-00			
備考															
写真番号	31	径間番号	1	写真番号	32	径間番号	1	写真番号	33	径間番号	1	写真番号	36	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0302	部材名	アンカーボルト	要素番号	0302	部材名	アンカーボルト	要素番号	0301	部材名	台座コンクリート	要素番号	0301
損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	損傷の種類	うき	損傷程度	e
		前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度					
		-				-				-				-	
		メモ				メモ								メモ	
		写真29の別 アングル 沈下20mm 写真5,6の 直下												⑤防食機能 の劣化-1-e	
写真番号	34	径間番号	1	写真番号	35	径間番号	1	写真番号	0101	径間番号	1	写真番号	0101	径間番号	1
部材名	台座コンクリート	要素番号	0101	部材名	台座コンクリート	要素番号	0101	部材名	剥離・鉄筋露出	要素番号	0101	部材名	台座コンクリート	要素番号	0301
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	損傷の種類	うき	損傷程度	e
		前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度					
		-				-				-				-	
		メモ				メモ								メモ	
		W=0.5mm L=100mm												①-e 250x150	




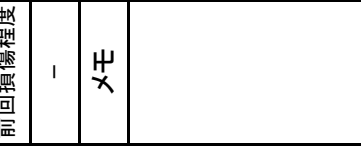



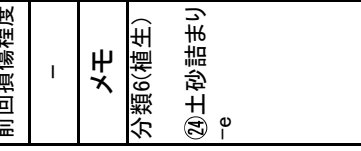








損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		径間番号		1		起点側		緯度 34° 45' 22"		経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22"		経度 138° 16' 03"		橋梁ID													
フリガナ フルカワハン 古川橋		路線名 町道古川川尻線		管理者 吉田町役場建設課		橋梁コード 0005-0252-00																									
備考																															
写真番号	37	径間番号	1	写真番号	38	径間番号	1	写真番号	39	径間番号	1	写真番号	40	径間番号	1	写真番号	41	径間番号	1	写真番号	42	径間番号	1	写真番号	43	径間番号	1	写真番号	44	径間番号	1
部材名	台座コンクリート	要素番号	0301	部材名	排水管	要素番号	0101	部材名	添架物	要素番号	0101	部材名	橋台胸壁	要素番号	0101	部材名	橋台縦壁	要素番号	0101	部材名	うき	要素番号	0101	部材名	うき	要素番号	0101	部材名	うき	要素番号	0101
損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	うき	損傷程度	e
																															
前回損傷程度			前回損傷程度			前回損傷程度			前回損傷程度			前回損傷程度			前回損傷程度			前回損傷程度													
-			-			-			-			-			-			-			-										
メモ			メモ			メモ			メモ			メモ			メモ			メモ			メモ										
欠損 250×150× 100mm			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e										
取付金具			⑤防食機能 の劣化-2-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e										
200×200mm			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e			⑤防食機能 の劣化-1-e										

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		径間番号		1		起点側		34° 45' 22" 緯度 135° 16' 03" 経度		34° 45' 22" 緯度 138° 16' 03" 経度		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名 フルカワハン 古川橋		路線名 町道古川川尻線		管理者 吉田町役場建設課		橋梁コード 0005-0252-00							
備考													
写真番号	43	径間番号	1	写真番号	44	径間番号	1	写真番号	45	径間番号	1	写真番号	0102
部材名	橋脚柱部・壁部	要素番号	0102	部材名	橋脚梁部	要素番号	0102	部材名	橋脚梁部	要素番号	0102	部材名	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	損傷の種類	c
													
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度	
メモ		W=0.2mm パターンその他		メモ		W=0.4mm パターンその他		メモ		W=0.2mm パターンその他		メモ	
⑧漏水・遊離 石灰-d				⑧漏水・遊離 石灰-d				⑧漏水・遊離 石灰-d				⑧漏水・遊離 石灰-d	
写真番号	46	径間番号	1	写真番号	46	径間番号	1	写真番号	46	径間番号	1	写真番号	0102
部材名	橋脚梁部	要素番号	0102	部材名	橋脚梁部	要素番号	0102	部材名	橋脚梁部	要素番号	0102	部材名	0102
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	損傷の種類	e
													
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度	
メモ		-		メモ		-		メモ		-		メモ	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		径間番号		2		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID													
フリガナ 橋梁名		フルカワハン 古川橋		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00																			
備考																															
写真番号	47	径間番号	2	写真番号	48	径間番号	2	写真番号	49	径間番号	2	写真番号	50	径間番号	2	写真番号	51	径間番号	2	写真番号	52	径間番号	2	写真番号	0201	要素番号	0101	損傷程度	a		
部材名	防護柵	部材名	0101	部材名	防護柵	部材名	0101	部材名	0101	部材名	0101	部材名	伸縮装置	部材名	0102	部材名	舗装	部材名	0101	部材名	舗装	部材名	その他	部材名	0201	要素番号	0101	損傷程度	e		
損傷の種類	腐食	損傷程度	b	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷の種類	e	損傷の種類	e	損傷の種類	e	損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	損傷の種類	舗装の異常	損傷の種類	e	損傷の種類	その他	損傷の種類	e	損傷の種類	0201	要素番号	0101	損傷程度	e		
																															
前回損傷程度		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-			
メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ		メモ			
⑤防食機能の劣化-1-e						脱落 1/1本																				分類6(植生) ④土砂詰まり -e					

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
備考										

写真番号	53	径間番号	2	写真番号	54	径間番号	2	写真番号	55	径間番号	2
部材名	排水ます	要素番号	0101	部材名	排水ます	要素番号	0201	部材名	主桁	要素番号	0104
損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d

写真		写真		写真	
					

前回損傷程度
-
メモ
土砂撤去済
み

前回損傷程度
-
メモ
ます内は土
砂撤去不可

前回損傷程度
-
メモ
⑤防食機能
の劣化-1-e

前回損傷程度
-
メモ
桁厚計測
減肉部
t=23.9mm
健全部
t=28.0mm







前回損傷程度
-
メモ
接触

前回損傷程度
-
メモ
W(上)=1mm

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ		径間番号		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フルカワハン 古川橋		2		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フルカワハン 古川橋		2		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	

フリガナ	路線名	管理者	橋梁コード
フルカワハン 古川橋	町道古川川尻線	吉田町役場建設課	0005-0252-00
備考			

写真番号	径間番号	要素番号	損傷の種類	損傷の程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷の種類	損傷の程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷の種類	損傷の程度
59	2	0105	遊間の異常	e	60	2	0203	d		61	2	0205	遊間の異常	e
 <p>前回損傷程度 - メモ W(下)=0mm</p>					 <p>前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e</p>					 <p>前回損傷程度 - メモ 接触</p>				
62	2	0205	遊間の異常	e	63	2	0205	e		64	2	0302	腐食	d
 <p>前回損傷程度 - メモ W(上)=20mm</p>					 <p>前回損傷程度 - メモ W(下)=0mm</p>					 <p>前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e</p>				

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ		径間番号		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フルカワハン 橋梁名 古川橋		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
備考		路線名		損傷の種類		損傷の程度		損傷の種類		損傷の程度	

写真番号	65	径間番号	2	写真番号	66	径間番号	2	写真番号	67	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0305	部材名	主桁	要素番号	0305	部材名	主桁	要素番号	0305
損傷の種類	遊間の異常	損傷の程度	e	損傷の種類	遊間の異常	損傷の程度	e	損傷の種類	遊間の異常	損傷の程度	e

写真		写真		写真	
					
前回損傷程度		前回損傷程度		前回損傷程度	
-		-		-	
メモ		メモ		メモ	
接触		W(上)=5mm		W(下)=0mm	









写真番号	68	径間番号	2	写真番号	69	径間番号	2	写真番号	70	径間番号	2
部材名	横桁	要素番号	0204	部材名	横桁	要素番号	0204	部材名	床版	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷の程度	d	損傷の種類	腐食	損傷の程度	d	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷の程度	c

写真		写真		写真	
					
前回損傷程度		前回損傷程度		前回損傷程度	
-		-		-	
メモ		メモ		メモ	
⑤防食機能の劣化-I-e		板厚計測 減肉部 t=8.9mm 健全部 t=12.6mm		300 x 100 x 20mm ⑦うき-e 400 x 100mm	


損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側		緯度 34° 45' 22"		緯度 34° 45' 22"		橋梁ID	
				終点側		経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"			

フリガナ	フルカワハン	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋	路線名	町道古川川尻線		
備考					

写真番号	径間番号	2	写真番号	径間番号	2	写真番号	径間番号	2	写真番号	径間番号	2
71	床版	0304	72	上部構造その他	0101	73	支承本体	0101	74	支承本体	0102
漏水・遊離石灰	損傷の種類	d	腐食	損傷の種類	c	腐食	損傷の種類	d	腐食	損傷の種類	d
											
前回損傷程度 - メモ ⑩床版ひびわれ-d W=0.05mm パターン1			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e Ba0101 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e Ba0102 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e		
74	支承本体	0201	75	支承本体	0301	76	支承本体	0102			
腐食	損傷の種類	d	腐食	損傷の種類	d	腐食	損傷の種類	d			
											
前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e Ba0201 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e Ba0301 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e Bc0301 ⑫うき-e 400 x 100mm			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e			前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e		

損 傷 写 真

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		34° 45' 22" 緯度 135° 16' 03" 経度		34° 45' 22" 緯度 138° 16' 03" 経度		橋梁ID	
フリガナ		路線名		管理者		橋梁コード		0005-0252-00	
フルカワハン 古川橋		町道古川川尻線		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
備考									
写真番号	77	径間番号	2	写真番号	78	径間番号	2	写真番号	79
部材名	支承本体	要素番号	0202	部材名	台座コンクリート	要素番号	0202	部材名	支承本体
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	腐食
		前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e Ba0202 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-1-e Gc0202 ⑥ひびわれ-d W=0.8mm				前回損傷程度 - メモ			
写真番号	80	径間番号	2	写真番号	81	径間番号	2	写真番号	82
部材名	台座コンクリート	要素番号	0302	部材名	排水管	要素番号	0101	部材名	排水管
損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	腐食
		前回損傷程度 - メモ 270 x 120mm 250 x 100mm				前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e			
								前回損傷程度 - メモ ③ゆるみ・脱落-e(ナット脱落) 4/4本 ⑤防食機能の劣化-1-e	

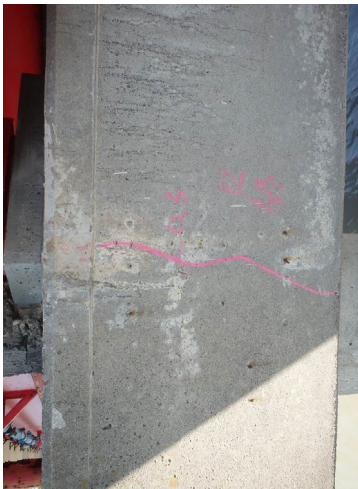









損傷写真






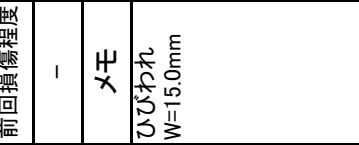
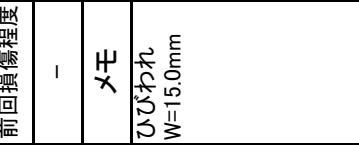
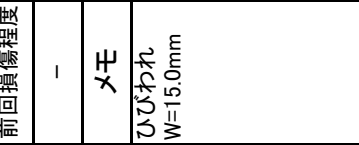
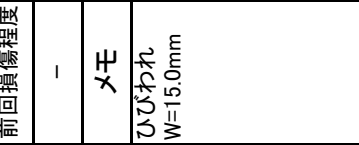
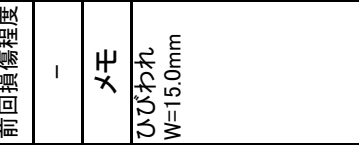
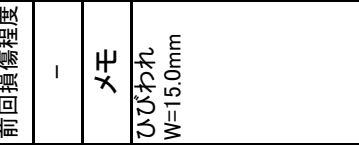
データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側		緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ		フルカワハン		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
橋梁名		古川橋		路線名		古川川尻線		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
備考													

フリガナ		フルカワハン		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
橋梁名		古川橋		路線名		古川川尻線		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
備考													

写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度
83	2	0202	d	84	2	0101	d	85	2	0201	c	86	2	0102	b
部材名	排水管	排水管	腐食	部材名	添架物	添架物	腐食	部材名	添架物	添架物	腐食	部材名	橋脚柱部・壁部	橋脚柱部・壁部	ひびわれ
損傷の種類	腐食	腐食	腐食	損傷の種類	腐食	腐食	腐食	損傷の種類	腐食	損傷の種類	腐食	損傷の種類	ひびわれ	ひびわれ	ひびわれ
															
前回損傷程度 - メモ 写真82の接写				前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-1-e				前回損傷程度 - メモ ⑤防食機能の劣化-2-e				前回損傷程度 - メモ W=0.4mm L=1000mm パターンその他			
写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度	写真番号	径間番号	要素番号	損傷程度
86	2	0102	b	87	2	0102	b	88	2	0102	d	89	2	0102	d
部材名	橋脚柱部・壁部	橋脚柱部・壁部	ひびわれ	部材名	橋脚柱部・壁部	橋脚柱部・壁部	ひびわれ	部材名	橋脚柱部・壁部	橋脚柱部	ひびわれ	部材名	橋脚柱部	橋脚柱部	ひびわれ
損傷の種類	ひびわれ	ひびわれ	ひびわれ	損傷の種類	ひびわれ	ひびわれ	ひびわれ	損傷の種類	ひびわれ	損傷の種類	ひびわれ	損傷の種類	ひびわれ	ひびわれ	ひびわれ
															
前回損傷程度 - メモ W=0.1mm パターンその他 ⑧漏水・遊離石灰-d				前回損傷程度 - メモ W=0.1mm L=800mm パターン2 ⑧漏水・遊離石灰-d				前回損傷程度 - メモ W=0.1mm L=800mm パターン2 ⑧漏水・遊離石灰-d				前回損傷程度 - メモ W=0.4mm L=1000mm パターンその他			

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		2		起点側		緯度 34° 45' 22"		経度 135° 16' 03"		終点側		緯度 34° 45' 22"		経度 138° 16' 03"		橋梁ID			
フリガナ 橋梁名 備考		フルカワハン 古川橋		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00							
径間番号		2		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00					
写真番号		89		径間番号		2		写真番号		91		径間番号		2		前回損傷程度			
部材名		橋脚梁部		要素番号		0102		部材名		橋脚梁部		要素番号		0102		前回損傷程度			
損傷の種類		ひびわれ		損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷の種類		うき		損傷の種類		e		前回損傷程度			
写真				写真				写真				写真				写真			
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-	
メモ		W=0.3mm L=700mm パターンそ の他		メモ		600×300× 25mm 純かぶり25		メモ				メモ				メモ			
写真番号		92		径間番号		2		写真番号				径間番号				写真番号			
部材名		橋脚梁部		要素番号		0102		部材名				部材名				部材名			
損傷の種類		その他		損傷の種類		e		損傷の種類				損傷の種類				損傷の種類			
写真				写真				写真				写真				写真			
前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-		前回損傷程度		-	
メモ		分類6(木片 混入)		メモ				メモ				メモ				メモ			

データ記録様式(その10) 損傷写真		径間番号		3		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID			
フリガナ 橋梁名 備考		フルカワハン 古川橋		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00									
写真番号	93	径間番号	3	写真番号	94	径間番号	3	写真番号	95	径間番号	3	写真番号	98	径間番号	3	写真番号	98	径間番号	3	写真番号	98
部材名	防護柵	要素番号	0201	部材名	防護柵	要素番号	0201	部材名	地覆	要素番号	0101	部材名	舗装	要素番号	0101	部材名	舗装	要素番号	0101	部材名	舗装
損傷の種類	腐食	損傷程度	d	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	e	損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	e	損傷の種類	舗装の異常
																					
前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-	前回損傷程度	-
メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ
⑤防食機能の劣化-1-e		②変形・欠損-e(孔食)																			
ひびわれ W=15.0mm																					

損 傷 写 真

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		3	
フリガナ	フルカワハン	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋	起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"
備考							
写真番号	99	径間番号	3	写真番号	100	径間番号	3
部材名	舗装	要素番号	0201	部材名	舗装	要素番号	0201
損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c
		前回損傷程度 -				前回損傷程度 -	
		メモ				メモ	
		⑮舗装の異常-e W=10.0mm				写真番号99の接写	
写真番号	102	径間番号	3	写真番号	103	径間番号	3
部材名	舗装	要素番号	0201	部材名	排水ます	要素番号	0102
損傷の種類	その他	損傷程度	e	損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e
		前回損傷程度 -				前回損傷程度 -	
		メモ				メモ	
		分類6(植生)				⑳土砂詰まり-e	
写真番号	104	径間番号	3	写真番号	104	径間番号	3
部材名	排水ます	要素番号	0202	部材名	排水ます	要素番号	0202
損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	NON	損傷程度	a
		前回損傷程度 -				前回損傷程度 -	
		メモ				メモ	
		土砂撤去済み				土砂撤去済み	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真	3
--------------------	---

起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID
	経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"	

フリガナ 橋梁名 備考	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	写真番号	径間番号	前回損傷程度
105	3	106	3	107	3	108	3	109	3	-
主桁	0104	主桁	0202	主桁	0202	主桁	0305	主桁	0305	メ厚計測 減肉部 t=22.5mm 健全部 t=28.0mm
腐食	d	腐食	d	腐食	d	遊間の異常	e	遊間の異常	e	メ厚
										
										
										
108	3	109	3	110	3					
主桁	0305	主桁	0305	主桁	0305					
腐食	d	遊間の異常	e	遊間の異常	e					
										
										
										
										
										

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真	3
--------------------	---





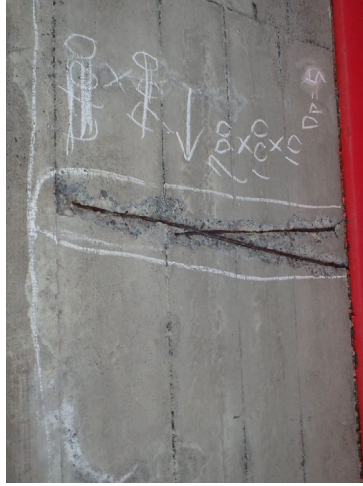

起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID
-----	----------	-----------------------------	-----	----------	-----------------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

備考	
----	--

写真番号	径間番号	要素番号	径間番号	要素番号	写真番号	径間番号	要素番号	写真番号	径間番号	要素番号	損傷の種類	損傷程度	前回損傷程度				
111	3	0103	112	0103	112	3	0103	112	3	0103	腐食	d	d				
																	
<table border="1"> <tr> <td>前回損傷程度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>メモ</td> <td>⑤防食機能の劣化-1-e</td> </tr> </table>														前回損傷程度	-	メモ	⑤防食機能の劣化-1-e
前回損傷程度	-																
メモ	⑤防食機能の劣化-1-e																
																	
<table border="1"> <tr> <td>前回損傷程度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>メモ</td> <td>板厚計測 減肉部 t=10.7mm 健全部 t=12.6mm</td> </tr> </table>														前回損傷程度	-	メモ	板厚計測 減肉部 t=10.7mm 健全部 t=12.6mm
前回損傷程度	-																
メモ	板厚計測 減肉部 t=10.7mm 健全部 t=12.6mm																
114	3	0101	115	0101	115	3	0101	115	3	0101	床版ひびわれ	d	d				
																	
<table border="1"> <tr> <td>前回損傷程度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>メモ</td> <td>9000 x 150 x 20mm 純かぶり 20mm</td> </tr> </table>														前回損傷程度	-	メモ	9000 x 150 x 20mm 純かぶり 20mm
前回損傷程度	-																
メモ	9000 x 150 x 20mm 純かぶり 20mm																
																	
<table border="1"> <tr> <td>前回損傷程度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>メモ</td> <td>W=0.1~ 0.2mm パターン1 ⑥漏水・遊離石灰-d</td> </tr> </table>														前回損傷程度	-	メモ	W=0.1~ 0.2mm パターン1 ⑥漏水・遊離石灰-d
前回損傷程度	-																
メモ	W=0.1~ 0.2mm パターン1 ⑥漏水・遊離石灰-d																
																	
<table border="1"> <tr> <td>前回損傷程度</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>メモ</td> <td>W=0.1~ 0.2mm パターン2</td> </tr> </table>														前回損傷程度	-	メモ	W=0.1~ 0.2mm パターン2
前回損傷程度	-																
メモ	W=0.1~ 0.2mm パターン2																
																	

損傷写真

データ記録様式(その10) 損傷写真		3		起点側		緯度 34° 45' 22"		緯度 34° 45' 22"		橋梁ID	
		3		終点側		経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"			
フリガナ	フルカワハン	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00					
橋梁名	古川橋	路線名									
備考											
写真番号	117	径間番号	3	写真番号	118	径間番号	3	写真番号	119	径間番号	3
部材名	床版	要素番号	0204	部材名	床版	要素番号	0303	部材名	床版	要素番号	0303
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d
		<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p> <p>W=0.1~ 0.2mm パターン2 ⑧漏水・遊離 石灰-d</p>				<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p> <p>400 x 300mm</p>				<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p> <p>W=0.1~ 0.2mm パターン2 ⑧漏水・遊離 石灰-d ①その他-6- e(豆板) 2200 x 1300mm</p>	
写真番号	120	径間番号	3	写真番号	121	径間番号	3	写真番号	122	径間番号	3
部材名	床版	要素番号	0401	部材名	床版	要素番号	0401	部材名	床版	要素番号	0401
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d
		<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p> <p>14000 x 150 x 20mm 純かぶり 20mm</p>				<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p>				<p>前回損傷程度</p> <p>-</p> <p>メモ</p> <p>W=0.2mm パターン1 ⑧漏水・遊離 石灰-d</p>	

損傷写真

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
工種	材料	部材種別			損傷程度		損傷 パターン	損傷の種類	分類	
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値				単位
S	S	主桁	Mg	0101	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0101	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0102	d	t=24.4	mm	腐食		
S	S	主桁	Mg	0102	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0103	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0103	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0104	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0104	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0105	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0105	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0201	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0201	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0202	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0202	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0203	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0203	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0204	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0204	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0205	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0205	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	主桁	Mg	0301	d			腐食		
S	S	主桁	Mg	0301	e			防食機能の劣化	(1)	

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		経間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
------------------------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類		分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価		定量的に取得した値	単位	
S	S	主桁	Mg	0301	e	接触:W(上)=0,W(下)=3	mm	遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0302	d			腐食	
S	S	主桁	Mg	0302	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0303	d			腐食	
S	S	主桁	Mg	0303	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0304	d			腐食	
S	S	主桁	Mg	0304	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0305	d			腐食	
S	S	主桁	Mg	0305	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0305	e	接触:W(上)=16,W(下)=0	mm	遊間の異常	
S	S	横桁	Cr	0101	b			腐食	
S	S	横桁	Cr	0101	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0102	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0102	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0103	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0103	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0104	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0104	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0105	b			腐食	
S	S	横桁	Cr	0105	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0106	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0106	e			防食機能の劣化	(1)

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
工種	材料	部材種別		損傷程度			損傷 パターン	損傷の種類	分類	
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値				単位
S	S	横桁	Cr	0201	b			腐食		
S	S	横桁	Cr	0201	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	横桁	Cr	0202	d	t=9.7	mm	腐食		
S	S	横桁	Cr	0202	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	横桁	Cr	0203	d			腐食		
S	S	横桁	Cr	0203	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	横桁	Cr	0204	d			腐食		
S	S	横桁	Cr	0204	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	横桁	Cr	0205	d			腐食		
S	S	横桁	Cr	0205	e			防食機能の劣化	(1)	
S	S	横桁	Cr	0206	b			腐食		
S	S	横桁	Cr	0206	e			防食機能の劣化	(1)	
S	C	床版	Ds	0201	b	W=0.1	mm	床版ひびわれ		
S	C	床版	Ds	0301	b	W=0.1	mm	床版ひびわれ		
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	c	W=0.2	mm	ひびわれ		
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d			漏水・遊離石灰		
P	C	梁部	Pb	0102	d	W=0.4	mm	ひびわれ		
P	C	梁部	Pb	0102	e	300×200×20	mm	剥離・鉄筋露出		
P	C	梁部	Pb	0102	d			漏水・遊離石灰		
A	C	縦壁	Ac	0101	e	200×200	mm	うき		
F	C	フーチング	Ff	0101	-					
F	C	フーチング	Ff	0102	-					

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷 パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	Mg	0101	b				腐食	
S	S	主桁	Mg	0101	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0102	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0102	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0103	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0103	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0104	d	t=23.9	mm		腐食	
S	S	主桁	Mg	0104	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0105	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0105	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0105	e	接触:W(上)=1,W(下)=0	mm		遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0201	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0201	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0202	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0202	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0203	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0203	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0204	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0204	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0205	d				腐食	
S	S	主桁	Mg	0205	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0205	e	接触:W(上)=20,W(下)=0	mm		遊間の異常	

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		経間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード	0005-0252-00		
工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷 パターン	損傷の種類	分類		
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価				定量的に取得した値	単位
S	S	主桁	Mg	0301	d		腐食			
S	S	主桁	Mg	0301	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	主桁	Mg	0302	d		腐食			
S	S	主桁	Mg	0302	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	主桁	Mg	0303	d		腐食			
S	S	主桁	Mg	0303	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	主桁	Mg	0304	d		腐食			
S	S	主桁	Mg	0304	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	主桁	Mg	0305	d		腐食			
S	S	主桁	Mg	0305	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	主桁	Mg	0305	e	接触: W(上)=5, W(下)=0	遊間の異常			
S	S	横桁	Cr	0101	d		腐食			
S	S	横桁	Cr	0101	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	横桁	Cr	0102	d		腐食			
S	S	横桁	Cr	0102	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	横桁	Cr	0103	d		腐食			
S	S	横桁	Cr	0103	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	横桁	Cr	0104	d		腐食			
S	S	横桁	Cr	0104	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	横桁	Cr	0105	d		腐食			
S	S	横桁	Cr	0105	e		防食機能の劣化	(1)		
S	S	横桁	Cr	0106	d		腐食			

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	2
------------------------------------	--	------	---

起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

工種	材料	部材種別			損傷程度		損傷 パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値			
S	S	横桁	Cr	0106	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0201	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0201	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0202	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0202	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0203	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0203	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0204	d	t=8.9	mm	腐食	
S	S	横桁	Cr	0204	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0205	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0205	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0206	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0206	e			防食機能の劣化	(1)
S	C	床版	Ds	0101	c	350 × 100 × 20	mm	剥離・鉄筋露出	
S	C	床版	Ds	0101	e	350 × 100	mm	うき	
S	C	床版	Ds	0202	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0202	d	W=0.05	mm	床版ひびわれ	(1)
S	C	床版	Ds	0205	c	W=0.1	mm	床版ひびわれ	(1)
S	C	床版	Ds	0302	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0302	d	W=0.05	mm	床版ひびわれ	(1)
S	C	床版	Ds	0304	d			漏水・遊離石灰	

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
------------------------------------	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷 パターン	損傷の種類	分類	
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価				定量的に取得した値
S	C	床版	Ds	0304	d	W=0.05	mm	(1) 床版ひびわれ	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	b	W=0.1,L=800	mm	(2)その他 ひびわれ	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d			漏水・遊離石灰	
P	C	梁部	Pb	0102	d	W=0.4,L=1000	mm	その他 ひびわれ	
P	C	梁部	Pb	0102	e	600×300×25	mm	剥離・鉄筋露出	
P	C	梁部	Pb	0102	e	100×100	mm	うき	
P	C	梁部	Pb	0102	e	木片混入		その他	(6)
F	C	フーチング	Ff	0102	-				

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"	経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
S	S	主桁	Mg	0101	b		腐食	
S	S	主桁	Mg	0101	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0102	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0102	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0103	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0103	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0104	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0104	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0105	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0105	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0201	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0201	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0202	d	t=22.5	腐食	
S	S	主桁	Mg	0202	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0203	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0203	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0204	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0204	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0205	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0205	e		防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0301	d		腐食	
S	S	主桁	Mg	0301	e		防食機能の劣化	(1)

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)				経間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00					
工種	材料	部材種別		損傷程度			損傷 パターン	損傷の種類	分類			
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値				単位		
S	S	主桁	Mg	0302	d			腐食				
S	S	主桁	Mg	0302	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	主桁	Mg	0303	d			腐食				
S	S	主桁	Mg	0303	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	主桁	Mg	0304	d			腐食				
S	S	主桁	Mg	0304	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	主桁	Mg	0305	d			腐食				
S	S	主桁	Mg	0305	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	主桁	Mg	0305	e		接触:W(上)=0,W(下)=0	遊間の異常				
S	S	横桁	Cr	0101	d			腐食				
S	S	横桁	Cr	0101	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0102	d			腐食				
S	S	横桁	Cr	0102	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0103	d		t=10.7	腐食				
S	S	横桁	Cr	0103	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0104	d			腐食				
S	S	横桁	Cr	0104	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0105	d			腐食				
S	S	横桁	Cr	0105	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0106	d			腐食				
S	S	横桁	Cr	0106	e			防食機能の劣化	(1)			
S	S	横桁	Cr	0201	d			腐食				

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	3	起点側 緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"	終点側 緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"	橋梁ID			
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード			
						0005-0252-00			
工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷の種類	分類		
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			定量的に取得した値	単位
S	S	横桁	Cr	0201	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0202	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0202	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0203	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0203	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0204	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0204	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0205	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0205	e			防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0206	d			腐食	
S	S	横桁	Cr	0206	e			防食機能の劣化	(1)
S	C	床版	Ds	0101	d	9000 × 150 × 20	mm	剥離・鉄筋露出	
S	C	床版	Ds	0101	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0101	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(1)
S	C	床版	Ds	0101	e	250 × 100	mm	うき	
S	C	床版	Ds	0201	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(2)
S	C	床版	Ds	0202	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(2)
S	C	床版	Ds	0203	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(2)
S	C	床版	Ds	0204	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0204	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(2)
S	C	床版	Ds	0205	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0205	d	W=0.1~0.2	mm	床版ひびわれ	(2)

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	0005-0252-00
					経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川尻川線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別			損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値			
S	C	床版	Ds	0301	d	W=0.1~0.2	(2)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0302	d	W=0.1~0.2	(2)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0303	e	200×150×15		剥離・鉄筋露出	
S	C	床版	Ds	0303	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0303	d	W=0.1~0.2	(2)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0303	e	400×300		うき	
S	C	床版	Ds	0303	e	豆板:2200×1300		その他	(6)
S	C	床版	Ds	0304	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0304	d	W=0.1~0.2	(2)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0305	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0305	d	W=0.1~0.2	(2)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0401	e	14000×150×20		剥離・鉄筋露出	
S	C	床版	Ds	0401	d			漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0401	d	W=0.2	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0401	e	100×100		うき	
A	C	胸壁	Ap	0102	d	W=0.3,L=800	(1)	ひびわれ	
A	C	胸壁	Ap	0102	d	700×150×20		剥離・鉄筋露出	
A	C	胸壁	Ap	0102	e	200×150		うき	
A	C	縦壁	Ac	0102	e	土砂堆積		その他	(6)
F	C	フーチング	Ff	0102	-				

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
工種	材料	部材種別		損傷程度			損傷 パターン	損傷の種類	分類	
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値				単位
S	C	上部構造その他	Sx	0601	e	間詰めモルタル剥離		その他	(6)	
B	S	支承本体	Bh	0101	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0101	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0102	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0102	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0201	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0201	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0202	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0202	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0301	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0301	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0302	e			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0302	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	支承本体	Bh	0302	e		(1),(2),(9)	支承部の機能障害	(1)	
B	S	アンカーボルト	Ba	0101	d			腐食		
B	S	アンカーボルト	Ba	0101	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	アンカーボルト	Ba	0201	d			腐食		
B	S	アンカーボルト	Ba	0201	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	b			腐食		
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	e			防食機能の劣化	(1)	
B	S	アンカーボルト	Ba	0301	b			腐食		
B	S	アンカーボルト	Ba	0301	e			防食機能の劣化	(1)	

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	1	起点側 緯度 34° 45' 22" 経度 135° 16' 03"	終点側 緯度 34° 45' 22" 経度 138° 16' 03"	橋梁ID
---	--	------	---	--	--	------

フリガナ 橋梁名	フルカハッ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	--------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
B	S	アンカーボルト	Ba	0302	d		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0302	e		防食機能の劣化	(1)
B	C	台座コンクリート	Bc	0101	d	W=0.5,L=100	ひびわれ	
B	C	台座コンクリート	Bc	0101	c	100×50×10	剥離・鉄筋露出	
B	C	台座コンクリート	Bc	0202	e	150×70	うき	
B	C	台座コンクリート	Bc	0301	e	250×150	うき	
B	C	台座コンクリート	Bc	0301	e	欠損:250×150×100	変形・欠損	
B	C	台座コンクリート	Bc	0302	e	欠損:300×150×70	変形・欠損	
R	S	防護柵	Gf	0101	b		腐食	
R	S	防護柵	Gf	0101	e	脱落:1/1	ゆるみ・脱落	
R	S	防護柵	Gf	0101	e		防食機能の劣化	(1)
R	S	防護柵	Gf	0201	b		腐食	
R	S	防護柵	Gf	0201	e	脱落:1/1	ゆるみ・脱落	
R	S	防護柵	Gf	0201	e		防食機能の劣化	(1)
R	S	伸縮装置	Ej	0101	e		土砂詰まり	
R	S	伸縮装置	Ej	0102	c	H=10	路面の凹凸	
R	A	舗装	Pm	0101	e	植生	その他	(6)
R	A	舗装	Pm	0101	e		土砂詰まり	
R	A	舗装	Pm	0201	e	植生	その他	(6)
R	A	舗装	Pm	0201	e		土砂詰まり	
D	S	排水管	Dp	0101	b		腐食	
D	S	排水管	Dp	0101	e		防食機能の劣化	(1)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	1	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
---	--	------	---	-----	-------------------	--------------------	-----	-------------------	--------------------	------

フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
-------------	---------------	-----	---------	-----	----------	-------	--------------

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷 パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
U	S	添架物	Ut	0101	d		腐食	
U	S	添架物	Ut	0101	e		防食機能の劣化	(1)
U	S	添架物	Ut	0201	c		腐食	
U	S	添架物	Ut	0201	e		防食機能の劣化	(2)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	経度 135° 16' 03"	終点側	緯度 34° 45' 22"	経度 138° 16' 03"	橋梁ID
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷 パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	上部構造その他	Sx	0101	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0101	e			防食機能の劣化		(1)
S	S	上部構造その他	Sx	0201	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0201	e			防食機能の劣化		(1)
S	S	上部構造その他	Sx	0301	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0301	e			防食機能の劣化		(1)
S	S	上部構造その他	Sx	0401	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0401	e			防食機能の劣化		(1)
S	S	上部構造その他	Sx	0501	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0501	e			防食機能の劣化		(1)
S	S	上部構造その他	Sx	0601	c			腐食		
S	S	上部構造その他	Sx	0601	e			防食機能の劣化		(1)
B	S	支承本体	Bh	0101	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0101	e			防食機能の劣化		(1)
B	S	支承本体	Bh	0102	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0102	e			防食機能の劣化		(1)
B	S	支承本体	Bh	0201	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0201	e			防食機能の劣化		(1)
B	S	支承本体	Bh	0202	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0202	e			防食機能の劣化		(1)
B	S	支承本体	Bh	0301	d			腐食		
B	S	支承本体	Bh	0301	e			防食機能の劣化		(1)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"	経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
B	S	支承本体	Bh	0302	b		腐食	
B	S	支承本体	Bh	0302	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0101	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0101	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0201	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0201	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0301	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0301	e		防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0302	b		腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0302	e		防食機能の劣化	(1)
B	C	台座コンクリート	Bc	0202	d	W=0.8	ひびわれ	
B	C	台座コンクリート	Bc	0202	e	270×100	うき	
B	C	台座コンクリート	Bc	0301	e	400×100	うき	
B	C	台座コンクリート	Bc	0302	e	270×120,250×100	うき	
R	S	防護柵	Gf	0101	b		腐食	
R	S	防護柵	Gf	0101	e	脱落:1/1	ゆるみ・脱落	
R	S	防護柵	Gf	0101	e		防食機能の劣化	(1)
R	S	防護柵	Gf	0201	b		腐食	

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	2	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"	経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
R	S	防護柵	Gf	0201	e		防食機能の劣化	(1)
R	S	伸縮装置	Ej	0102	e		土砂詰まり	
R	A	舗装	Pm	0101	e	ひびわれ: W=5.0	舗装の異常	
R	A	舗装	Pm	0101	e	植生	その他	(6)
R	A	舗装	Pm	0101	e		土砂詰まり	
R	A	舗装	Pm	0201	e	ひびわれ: W=5.0	舗装の異常	
R	A	舗装	Pm	0201	e	植生	その他	(6)
R	A	舗装	Pm	0201	e		土砂詰まり	
D	S	排水ます	Dr	0201	e		土砂詰まり	
D	S	排水管	Dp	0101	d		腐食	
D	S	排水管	Dp	0101	e		防食機能の劣化	(1)
D	S	排水管	Dp	0102	d		腐食	
D	S	排水管	Dp	0102	e		防食機能の劣化	(1)
D	S	排水管	Dp	0201	d		腐食	
D	S	排水管	Dp	0201	e		防食機能の劣化	(1)
D	S	排水管	Dp	0202	d		腐食	
D	S	排水管	Dp	0202	e	ナット脱落: 4/4	ゆるみ・脱落	
D	S	排水管	Dp	0202	e		防食機能の劣化	(1)
U	S	添架物	Ut	0101	d		腐食	
U	S	添架物	Ut	0101	e		防食機能の劣化	(1)
U	S	添架物	Ut	0201	c		腐食	
U	S	添架物	Ut	0201	e		防食機能の劣化	(2)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"	経度 138° 16' 03"	経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別			損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値			
B	S	支承本体	Bh	0101	d			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0101	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0102	d			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0102	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0201	b			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0201	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0202	d			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0202	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0301	d			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0301	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0302	d			腐食	
B	S	支承本体	Bh	0302	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	d			腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	e			防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	d			腐食	
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	e			防食機能の劣化	(1)
B	C	台座コンクリート	Bc	0102	c		欠損:350×120×40	変形・欠損	
R	S	防護柵	Gf	0101	d			腐食	
R	S	防護柵	Gf	0101	e			防食機能の劣化	(1)
R	S	防護柵	Gf	0101	e		孔食	変形・欠損	
R	S	防護柵	Gf	0201	d			腐食	
R	S	防護柵	Gf	0201	e			防食機能の劣化	(1)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)		径間番号	3	起点側	緯度 34° 45' 22"	終点側	緯度 34° 45' 22"	橋梁ID	
				経度 135° 16' 03"	経度 135° 16' 03"		経度 138° 16' 03"		

フリガナ	フルカハシ	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
橋梁名	古川橋						

工種	材料	部材種別		損傷程度		損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価			
R	S	防護柵	Gf	0201	e	孔食		変形・欠損
R	S	伸縮装置	Ej	0102	e			土砂詰まり
R	A	舗装	Pm	0101	c	700×200×10	mm	路面の凹凸
R	A	舗装	Pm	0101	e	ひびわれ:W=15.0	mm	舗装の異常
R	A	舗装	Pm	0201	c	600×600×10	mm	路面の凹凸
R	A	舗装	Pm	0201	e	ひびわれ:W=15.0	mm	舗装の異常
R	A	舗装	Pm	0201	e	植生		その他
R	A	舗装	Pm	0201	e			土砂詰まり
D	S	排水ます	Dr	0102	e			土砂詰まり
D	S	排水管	Dp	0102	d			腐食
D	S	排水管	Dp	0102	e			防食機能の劣化
D	S	排水管	Dp	0102	e	孔食		変形・欠損
D	S	排水管	Dp	0202	d			腐食
D	S	排水管	Dp	0202	e			防食機能の劣化
D	S	排水管	Dp	0202	e	孔食		変形・欠損
U	S	添架物	Ut	0101	d			腐食
U	S	添架物	Ut	0101	e			防食機能の劣化
U	S	添架物	Ut	0201	c			腐食
U	S	添架物	Ut	0201	e			防食機能の劣化

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		1		起点側		34° 45' 22" 緯度 135° 16' 03" 経度		34° 45' 22" 緯度 138° 16' 03" 経度		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00	
工種	材料	部材種別		今回定期点検		点検日		2019年5月23日		前回定期点検		点検日	
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)		損傷の種類(程度)						
S	S	主桁	Mg	01	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	主桁	Mg	02	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	主桁	Mg	03	腐食(d),防食機能の劣化(e),遊間の異常(e)								
S	S	横桁	Cr	01	腐食(b),防食機能の劣化(e)								
S	S	横桁	Cr	02	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	横桁	Cr	03	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	横桁	Cr	04	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	横桁	Cr	05	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	S	横桁	Cr	06	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
S	C	床版	Ds	00	床版ひびわれ(b)								
S	C	上部構造その他	Sx	00	その他(e)								
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(c),漏水・遊離石灰(d)								
P	C	梁部	Pb	02	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d)								
A	C	縦壁	Ac	01	うき(e)								
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(d),防食機能の劣化(e),支承部の機能障害(e)								
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)								
B	C	台座コンクリート	Bc	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(c),うき(e),変形・欠損(e)								
R	S	防護柵	Gf	00	腐食(b),ゆるみ・脱落(e),防食機能の劣化(e)								
R	S	伸縮装置	Ej	00	路面の凹凸(c),土砂詰まり(e)								

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		1			
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名	町道古川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID	
工種	材料	部材種別	今定期点検	点検日	2019年5月23日	前回定期点検	点検日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)	損傷の種類(程度)	
R	A	舗装	Pm	00	その他(e),土砂詰まり(e)		
D	S	排水管	Dp	00	腐食(b),防食機能の劣化(e)		
U	S	添架物	Ut	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)		

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		2		起点側		緯度		34° 45' 22"		緯度		34° 45' 22"		橋梁ID	
フリガナ		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		終点側		緯度		138° 16' 03"		橋梁コード	
橋梁名		路線名		古川橋		管理者		吉田町役場建設課		緯度		経度		135° 16' 03"		0005-0252-00	
工種	材料	部材種別		今回定期点検		点検日		2019年5月23日		前回定期点検		点検日		損傷の種類(程度)			
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)												
S	S	主桁	Mg	01	腐食(d),防食機能の劣化(e),遊間の異常(e)												
S	S	主桁	Mg	02	腐食(d),防食機能の劣化(e),遊間の異常(e)												
S	S	主桁	Mg	03	腐食(d),防食機能の劣化(e),遊間の異常(e)												
S	S	横桁	Cr	01	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	S	横桁	Cr	02	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	S	横桁	Cr	03	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	S	横桁	Cr	04	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	S	横桁	Cr	05	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	S	横桁	Cr	06	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(c),うき(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d)												
S	S	上部構造その他	Sx	00	腐食(c),防食機能の劣化(e)												
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(b),漏水・遊離石灰(d)												
P	C	梁部	Pb	02	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(e),うき(e),その他(e)												
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)												
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(b),防食機能の劣化(e)												
B	C	台座コンクリート	Bc	00	ひびわれ(d),うき(e)												
R	S	防護柵	Gf	00	腐食(b),ゆるみ・脱落(e),防食機能の劣化(e)												
R	S	伸縮装置	Ej	00	土砂詰まり(e)												
R	A	舗装	Pm	00	舗装の異常(e),その他(e),土砂詰まり(e)												

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		2		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名	フルカハシ 古川橋	路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00							
工種	材料	部材種別		今定期点検	点検日	2019年5月23日		前回定期点検	点検日	損傷の種類(程度)		損傷の種類(程度)							
		名称	記号	部材番号															
		排水ます	Dr	00	土砂詰まり(e)														
		排水管	Dp	00	腐食(d),ゆるみ・脱落(e),防食機能の劣化(e)														
U	S	添架物	Ut	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)														

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		3		起点側		緯度 経度		34° 45' 22" 135° 16' 03"		終点側		緯度 経度		34° 45' 22" 138° 16' 03"		橋梁ID	
フリガナ 橋梁名		路線名		町道古川川尻線		管理者		吉田町役場建設課		橋梁コード		0005-0252-00							
工種	材料	部材種別		今回定期点検		点検日		2019年5月23日		前回定期点検		点検日							
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)		損傷の種類(程度)												
S	C	主桁	Mg	01	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	C	主桁	Mg	02	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	C	主桁	Mg	03	腐食(d),防食機能の劣化(e),遊間の異常(e)														
S	S	横桁	Cr	01	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁	Cr	02	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁	Cr	03	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁	Cr	04	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁	Cr	05	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁	Cr	06	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d),うき(e),その他(e)														
A	C	胸壁	Ap	02	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e)														
A	C	縦壁	Ac	02	その他(e)														
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)														
B	C	台座コンクリート	Bc	00	変形・欠損(c)														
R	S	防護柵	Gf	00	腐食(d),防食機能の劣化(e),変形・欠損(e)														
R	S	伸縮装置	Ej	00	土砂詰まり(e)														
R	A	舗装	Pm	00	路面の凹凸(c),舗装の異常(e),その他(e),土砂詰まり(e)														
D	S	排水ます	Dr	00	土砂詰まり(e)														

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括		径間番号		3			
フリガナ 橋梁名	フルカワハン 古川橋	路線名	町道古川川尻線	管理者	吉田町役場建設課	橋梁コード	0005-0252-00
起点側	緯度 経度	34° 45' 22" 135° 16' 03"	終点側	緯度 経度	34° 45' 22" 138° 16' 03"	橋梁ID	
工種	材料	部材種別		今回定期点検	点検日	2019年5月23日	前回定期点検
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)		
D	S	排水管	Dp	00	腐食(d),防食機能の劣化(e),変形・欠損(e)		
U	S	添架物	Ut	00	腐食(d),防食機能の劣化(e)		
					損傷の種類(程度)		